

2025

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾学科

3年次（2023年度生）

【整理番号】

■ 専門科目 ■

- 【1】 モードクリエーションⅢ
- 【2】 モードクリエーションⅣ
- 【3】 トレーピング&パターンメイキングⅢ
- 【4】 トレーピング&パターンメイキングⅣ
- 【5】 モードデザインⅡ
- 【6】 モードデザインⅢ
- 【7】 アパレルCADⅠ
- 【8】 アパレルCADⅡ
- 【9】 テキスタイルデザインⅢ
- 【10】 テキスタイルデザインⅣ
- 【11】 ダイニングテクニックⅢ
- 【12】 ダイニングテクニックⅣ
- 【13】 ニッティングⅠ
- 【14】 ニッティングⅡ
- 【15】 プリントデザイン演習Ⅰ
- 【16】 プリントデザイン演習Ⅱ
- 【17】 素材分析実験
- 【18】 画像表現演習Ⅰ
- 【19】 画像表現演習Ⅱ
- 【20】 ファッションプロダクトデザインⅢ
- 【21】 ファッションプロダクトデザインⅣ
- 【22】 ファッションプロダクトデザインゼミ
- 【23】 マテリアル実習Ⅰ(金属)
- 【24】 マテリアル実習Ⅱ(金属)
- 【25】 プロダクトデザイン演習Ⅱ
- 【26】 デジタルデザインワークⅢ
- 【27】 ブランド・マネジメント論
- 【28】 トレンド分析とディレクション制作
- 【29】 P.R.マネジメント論
- 【30】 新製品(商品)開発論
- 【31】 生産管理論
- 【32】 バイヤーの実践学
- 【33】 リテールマーチャндаイジング
- 【34】 「産学連携」プロジェクト演習Ⅰ
- 【35】 「産学連携」プロジェクト演習Ⅱ
- 【36】 消費者行動論Ⅱ
- 【37】 現代流通論
- 【38】 ファッションエディトリアルⅡ
- 【39】 流通イノベーション特講
- 【40】 流通イノベーションゼミⅠ
- 【41】 グローバルマーケティング特講
- 【42】 フィールドリサーチ実践論(国内、海外)
- 【43】 流通イノベーションゼミⅡ

- 【44】 服飾手芸(ニットを含む)
- 【45】 ショップディスプレイ
- 【46】 服飾クラフト
- 【47】 インターンシップ
- 【48】 長期インターンシップ
- 【49】 PRコミュニケーション論
- 【50】 ファッション画(CG)
- 【51】 民族衣裳論
- 【52】 染織史
- 【53】 ファッションプレゼンテーション演習
- 【54】 トレーピング&パターンメイキング(選)
- 【55】 近代日本モード史
- 【56】 リテールビジネスにおけるVMDマネジメント
- 【57】 ファッション3DモデリングⅠ
- 【58】 ファッション3DモデリングⅡ
- 【59】 食物学(食品学)
- 【60】 住居学(製図を含む)
- 【61】 保育学(実習及び家庭看護を含む)
- 【62】 食文化論
- 【63】 食物学(調理実習・実験)Ⅰ
- 【64】 食物学(調理実習・実験)Ⅱ

■ 教養科目 ■

- 【65】 言語と服飾文化
- 【66】 日本語表現Ⅰ
- 【67】 日本語表現Ⅱ
- 【68】 日本語Ⅰ
- 【69】 日本語Ⅱ

■ 教職 ■

- 【70】 特別活動の指導法
- 【71】 教育方法論
- 【72】 家庭科教育法(基礎)
- 【73】 総合的な学習の時間の指導法
- 【74】 家庭科教育法
- 【75】 教科教育法(家庭)
- 【76】 教育法規
- 【77】 教育相談(カウンセリングを含む)

■ 学芸員 ■

- 【78】 博物館展示論
- 【79】 博物館教育論
- 【80】 博物館情報・メディア論

IV.履修科目単位内訳表

(大学2023年度生)

		修得単位数					
		モードテクノロジー系				ファッションビジネス系	
共通専門基礎必修科目	1年次	17					
	2年次	7					
系別専門基礎必修科目	1年次	4				4	
	2年次	3				0	
コース別専門必修科目		モード 37	インダストリアル 37	テキスタイル 38	プロダクト 35	マネジメント 39	イノベーション 37
	2年次	14	16	12	12	13	
	3年次	14	14	17	14	16	16
	4年次	9	7	9	9	10	8
専門選択科目		22	22	21	24	23	25
専門科目合計		90単位					
教養科目	初年次 キャリア	必修	10				
	一般 体育 国際関係	選択	16				
	外国語	選択必修	8				
教養科目合計		34単位					
総合計		124単位					

■【進級条件】

各学年開講必修科目は、原則全て修得すること。

1年次の共通必修(服飾造形基礎Ⅰ・Ⅱ、流通商業入門、ファッションビジネス概論、ファッション・フィールド・リサーチ、衣服材料学、ファッション画Ⅰ・Ⅱ、ドローイングⅠ)17単位とその他の科目で36単位以上修得しない場合には、2年次のコースに原則進めない。

■【卒業制作・論文履修条件】

1・2年次の必修科目を修得していない場合には、原則コースの専門応用・【卒業制作・論文】を履修できない。

モードクリエーション

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエーションコース 3年 前期 必修 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

前期は1、2年次の学修を基に、コースの目標である「服飾造形表現に必要とされる知識・技術・感性を修得し、イメージを的確に造形として表現・判断できる能力を修得する」ための学修を行います。授業は実習を主とするアクティブ・ラーニングで展開し、完成作品は制作プロセスをまとめた資料と共にプレゼンテーションを行い、各自の考えを明確にまとめ、思考を言語化する能力を養います。作品制作は「単に服をつくる」のではなく「服で表現する」ことを考えながら行います。また、各種コンテストやプロジェクトなどに積極的に参加します。

到達目標（学修成果）

服飾造形作品として表現するために必要な、パターンや縫製のより高度な知識と技術を修得することで、各自のイメージを明確に作品としてつくり上げる「創作力」を身につけることが可能となります。また、作品制作プロセスを通して課題解決の考え方を修得することができようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエーションコース専門科目（服飾関係）の必修科目として卒業認定に関わる科目です。デザインとパターン、縫製テクニックや素材の知識など、服飾造形に関わる科目を総合的に考察し具現化する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品、課題、プレゼンテーションに対しては、個別のディスカッションや講評を行いフィードバックします。事前調査やレポート、プレゼン資料などの提出は、学内システムのキャンパスマジック（学生ポータルサイト）を使用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じプリントを配布します。

参考文献

ドレメ原型、 PATTERN MAKING 、 SEWING 、 基礎テキスト、 杉野服飾大学Online text服飾造形編等

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。
研究室：研究棟3F 6032A（中村） 6032B（設水） 6033（安部）

備考

日程および予定は、授業進度などにより、変更することもあります。
準備学修の必要時間はあくまで目安であって、各自課題の進捗状況にあわせ必要な時間を確保してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	オリエンテーション 知的財産権について考える 1,2年次に学修した基礎的なパターンの復習と確認	予習：シラバスを読む 復習：服飾造形の基礎となる知識と技術を再確認する	60分
2回 各自	1,2年次に学修した基礎的なパターンの復習と確認	復習：服飾造形の基礎となる知識と技術を再確認する	90分
3回 各自	1,2年次に学修した基礎的な縫製方法の復習と確認	復習：課題を振り返りまとめる	90分
4回 各自	課題1 造形技法研究1（実習） デTAILの縫製研究	計画にあわせ作品制作を進める	90分
5回 各自	課題1 造形技法研究1（実習） デTAILの縫製研究	計画にあわせ作品制作を進める 復習：課題を完成させる	90分
6回 各自	課題2 パターン研究1（実習） 応用袖のパターン 製図方法の理解と応用	計画にあわせ作品制作を進める 復習：パターンを完成させる	90分
7回 各自	課題2 パターン研究1（実習） 応用袖のパターン サンプル作成 検討・ディスカッション	予習：検討会の準備 復習：課題を振り返りまとめる	90分
8回 各自	課題3 デザイン発想 リサーチを元にデザイン考案	予習：リサーチを行い資料を準備する 復習：考案したデザインをまとめる	90分
9回 各自	課題4 パターン研究2（実習） 応用アイテム・DETAILのパターン	計画にあわせ作品制作を進める	90分
10回 各自	課題4 パターン研究2（実習） 応用アイテム・DETAILのパターン	計画にあわせ作品制作を進める 復習：課題を完成させる	90分
11回 各自	課題5 造形技法研究2（実習） 素材・アイテムによる縫製方法研究A	計画にあわせ作品制作を進める	90分
12回 各自	課題5 造形技法研究2（実習） 素材・アイテムによる縫製方法研究A	計画にあわせ作品制作を進める 復習：課題を完成させる	90分
13回 各自	課題5 造形技法研究2（実習） 素材・アイテムによる縫製方法研究B	計画にあわせ作品制作を進める	90分
14回 各自	課題5 造形技法研究2（実習） 素材・アイテムによる縫製方法研究B	計画にあわせ作品制作を進める 復習：課題を完成させる	90分
15回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 テーマ・デザイン検討 パターン作成	予習：リサーチを行いテーマを考え資料を作成 復習：パターンを完成させる	60分

モードクリエーション

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエーションコース 3年 前期 必修 (4単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 パターン作成 点検 トワル作成	計画にあわせ作品制作を進める	90分
17回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 トワル作成 トワル補正・サンプル作成	計画にあわせ作品制作を進める	90分
18回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 サンプル検討 制作準備 実物補正・個別ディスカッション	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
19回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 実物補正 制作	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
20回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
21回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
22回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
23回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
24回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
25回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 制作 途中経過確認 個別ディスカッション 完成	予習：作品を完成させ、点検の準備をする 復習：プレゼン資料をまとめる	90分
26回 各自	作品1 テーマに沿った作品1 作品制作実習 プレゼンテーション・講評	予習：プレゼンテーションの準備をする 復習：課題を振り返りまとめる	90分
27回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 調査 デザイン考案 パターン作成	予習：調査を行い資料を準備する 復習：制作の予定を確認する	90分
28回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 パターン作成 補正 グループディスカッション	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
29回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 補正 グループディスカッション 制作	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
30回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 前期のまとめ	復習：前期を振り返り、夏季休業中の課題を検討し後期に備える	60分

モードクリエーション

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエーションコース 3年 後期 必修 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

前期に引き続き、授業は実習を主とするアクティブ・ラーニングで展開します。各自の考えをまとめて服飾造形作品として完成させ、制作プロセスをまとめた資料と共にプレゼンテーションを行います。後期は次年度の卒業制作を視野に入れ、各自の研究テーマを意識しながら服飾造形の知識や技術を深めます。単に作品制作をするのではなく「作品を通して何を表現するのか」を考えながら制作を行います。また、大学祭、コンテストやプロジェクトにも積極的に参加します。

到達目標（学修成果）

服飾造形作品として表現するために必要な、パターンや縫製のより高度な知識と技術を修得することで、各自のイメージを明確に作品としてつくり上げる「創作力」を身につけることが可能となります。また、作品制作プロセスを通して課題解決の考え方を修得することができるようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエーションコース専門科目（服飾関係）の必修科目として卒業認定に関わる科目です。デザインとパターン、縫製テクニックや素材の知識など、服飾造形に関わる科目を総合的に考察し具現化する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品、課題、プレゼンテーションに対しては、個別のディスカッションや講評を行いフィードバックします。事前調査やレポート、プレゼン資料などの提出は、学内システムのキャンパスマジック（学生ポータルサイト）を使用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じ資料を適宜配布します。

参考文献

ドレメ原型、PATTERN MAKING、SEWING、基礎テキスト、杉野服飾大学Online text服飾造形編
その他逐次紹介します。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。
研究室：研究棟3F 6032A（中村） 6032B（設水） 6033（安部）

備考

日程および予定は、授業進度などにより、変更することもある。
準備学修の必要時間はあくまで目安であって、各自課題の進捗状況にあわせ必要な時間を確保して欲しい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 夏季課題を確認 グループディスカッション 制作	予習：夏季課題を完成させる 計画にあわせ作品制作を進める	60分
2回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 途中経過確認 グループディスカッション 制作	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
3回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 途中経過確認 グループディスカッション 制作	計画にあわせ作品制作を進める 作品制作を進め完成させる	90分
4回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 途中経過確認 グループディスカッション 制作	計画にあわせ作品制作を進める 作品制作を進め完成させる	90分
5回 各自	作品2 グループワーク作品制作実習 データ作成 プレゼンテーション 大学祭で完成作品を共同展示	予習：プレゼン準備 復習：大学祭の展示プラン検討 大学祭で外部の講評を得る	90分
6回 各自	課題6 人体の採寸 ファンデーションの理解と補正実習 採寸 原型製図作成 補正準備	予習：採寸について確認する 復習：原型製図を作成する	90分
7回 各自	課題6 ファンデーションの理解と補正実習 原型補正	予習：原型を準備する 復習：補正を確認する	90分
8回 各自	課題6 ファンデーションの理解と補正実習 原型補正 原型完成	予習：補正を確認する 復習：原型を完成させる	90分
9回 各自	課題7 造形技法研究3（実習） 素材による縫製方法研究	計画にあわせ作品制作を進める	90分
10回 各自	課題7 造形技法研究3（実習） 素材による縫製方法研究	計画にあわせ作品制作を進め、完成させる	90分
11回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 テーマ・デザイン検討 パターン作成	予習：リサーチを行いテーマを考え資料を作成 復習：パターンを完成させる	90分
12回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 パターン作成 点検 トワル作成	予習：テーマに合わせデザイン考案 復習：パターン作成	90分
13回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 トワル作成 トワル補正・サンプル作成	予習：パターン作成 復習：トワル準備	90分
14回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 トワル作成 トワル補正・サンプル作成	予習：トワル準備 復習：サンプル準備	90分
15回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 サンプル検討 制作準備 実物補正・個別ディスカッション	予習：実物補正準備	90分

モードクリエーション

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエーションコース 3年 後期 必修 (4単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 実物補正 制作準備 制作	予習：実物補正準備 計画にあわせ作品制作を進める	90分
17回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
18回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
19回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
20回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
21回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
22回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
23回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過確認を踏まえ、計画にあわせ作品制作を進める	90分
24回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 制作 途中経過確認(個別ディスカッション) 完成	予習：作品を完成させ、点検の準備をする 復習：プレゼン資料をまとめる	90分
25回 各自	作品3 テーマに沿った作品2 作品制作実習 プレゼンテーション・講評	予習：プレゼンテーションの準備をする 復習：課題を振り返りまとめる	90分
26回 各自	課題8 パターン研究3(グループワーク)既製品からパターンを学ぶ。縫製方法の確認 パターン調査	予習：既製品を検討する 復習：縫製方法をまとめる	90分
27回 各自	課題8 パターン研究3(グループワーク)既製品からパターンを学ぶ。縫製方法の確認 パターン調査	復習：パターンを完成させる	90分
28回 各自	課題8 パターン研究3(グループワーク)既製品からパターンを学ぶ。パターン検討・トワル確認 完成	復習：トワルを完成させる	90分
29回 各自	課題8 パターン研究3(グループワーク)既製品からパターンを学ぶ。プレゼンテーション	予習：プレゼンテーションの準備 復習：課題を振り返りまとめる	90分
30回 各自	後期のまとめ・卒業制作に向けて	復習：3年次の課題を振り返り、4年次の卒業制作についてまとめる	60分

ドレーピング&パターンメイキング

高橋 彩香

服飾学科 モードクリエーションコース 3年 前期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

立体上で形を見る目を養い、自由な発想を形にするための基礎訓練をする。パターンメーカーとしての経験を活かし、立体上でのツールの見方、修正方法を指導する。

二年次で学んだドレーピング(立体裁断)と、平面上で立体を考慮しながら製図を操作するパターンメイキングの兼ね合いを基に、服作りの基礎となる原型からの展開方法・的確な操作・作業を身に付ける。

到達目標(学修成果)

ブラウス原型の作成、そこから応用したブラウスのパターンが作れるようになる。立体と平面の兼ね合いをつかみ、より効率の良い服作り方法の習得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエーションコース・インダストリアルパターンコースの必修で卒業認定に必要な科目であり、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

立体裁断 「基本理論」 小山千暁他著 (有)cfk1991
 立体裁断 「基本理論から応用」 小山千暁他著 (有)cfk1991

参考文献

「ジャケット&コート」 小山千暁他著 (株)アミコファッションズ
 「工業用パターンガイドブック」 小山千暁他著 "

オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 13:00~14:30

【研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室(第3校舎1階3106教室)

備考

授業に必要なテキスト・道具・組立などの準備は必ず時間前に用意すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	【実習・課題】応用スカートのドレーピング	予習(準備):スカート丈天竺の用意 復習:1回目の終了段階までの授業課題内容	30分
2回 高橋	【実習・課題】応用スカートのドレーピング	復習:2回目の終了段階までの授業課題内容の完了	30分
3回 高橋	【実習・課題】応用スカートのパターンメイキング	復習:3回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):SK用天竺・SK原型トレース	40分
4回 高橋	【実習・課題】 ブレンセスライン原型のパターンメイキング	復習:4回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):原型トレース・天竺用意	30分
5回 高橋	【実習・課題】 ブレンセスライン原型のパターンメイキング	復習:5回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):次回の準備	30分
6回 高橋	【実習・課題】 シルエット原型のパターンメイキング	復習:6回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):PR原型トレース・天竺用意	30分
7回 高橋	【実習・課題】 応用ブラウスのパターンメイキング 前後身頃・衿	復習:7回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):BOX原型トレース・天竺用意	30分
8回 高橋	【実習・課題】 応用ブラウスのパターンメイキング 袖	復習:8回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):袖の目トレース・天竺用意	30分
9回 高橋	【実習・課題】 応用ブラウスのドレーピング 前後身頃	復習:9回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):ブラウスの天竺用意	30分
10回 高橋	【実習・課題】 応用ブラウスのドレーピング 袖	復習:12回目の終了段階までの授業課題内容	30分
11回 高橋	【実習・課題】 応用ブラウスのドレーピング 袖	復習:12回目の終了段階までの授業課題内容	30分
12回 高橋	【実習・課題】 応用ブラウスのドレーピング 袖付け	復習:12回目の終了段階までの授業課題内容	30分
13回 高橋	【実習・課題】ワンピースのドレーピング	復習:13回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):ワンピースの天竺用意	30分
14回 高橋	【実習・課題】ワンピースのドレーピング	復習:14回目の終了段階までの授業課題内容	30分
15回 高橋	【実習・課題】ワンピースのパターンメイキング	復習:15回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):PR原型トレース・天竺用意	30分

ドレーピング&パターンメイキング

高橋 彩香

服飾学科 モードクリエーションコース 3年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

将来の目標、デザイナー、パターンメーカー、マーチャンダイザーなどの仕事内容を理解し、ファッション業界に順応できるよう、前期で学んだ基礎からの応用方法・考え方・展開方法・技術を基に、ジャケットという最も大切なアイテムを通して、これまでの経験をさらに発展・応用させる方法を学ぶ。パターンメーカーの実務経験を活かし工業用パターンの展開方法までを学習する。

到達目標(学修成果)

立体上で服のシルエットの良し悪しを判断する目を養うことを目標とする。ジャケット原型の作成、そこからジャケットへの応用ができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエーションコースの卒業認定に必修な科目で、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

「立体裁断 基本理論」小山千暁他著 / 立体裁断 「基本理論から応用」小山千暁他著 /

「立体裁断 ジャケット編 改訂版」小山千暁他著

参考文献

「ジャケット&コート」 小山千暁他著 (株)アミコファッションズ

「工業用パターンガイドブック」 小山千暁他著 (株)アミコファッションズ

オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 13:00~14:30

備考

授業に必要なテキスト・道具・組立などの準備は必ず時間前に用意すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	【実習・課題】ジャケット原型のパターンメイキング 身頃組立	復習:1回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):PR原型・身頃天竺	40分
2回 高橋	【実習・課題】ジャケット原型のパターンメイキング 袖・JK原型トレース	復習:2回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):袖用天竺	30分
3回 高橋	【実習・課題】ジャケット原型の展開 身頃に肩パットを入れる展開方法	復習:3回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):身頃用天竺	30分
4回 高橋	【実習・課題】ジャケット原型の展開 袖に肩パットを入れる展開方法	復習:4回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):袖用天竺	30分
5回 高橋	【実習】ジャケットの応用デザイン展開 身頃の展開	復習:5回目の終了段階までの授業課題内容予習 (準備):肩パット原型・JK用天竺	30分
6回 高橋	【実習・課題】ジャケットの応用デザイン展開 身頃の展開	復習:6回目の終了段階までの授業課題内容	30分
7回 高橋	【実習・課題】ジャケットの応用デザイン展開 二枚袖のパターン作成 袖付け	復習:7回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):袖用天竺	30分
8回 高橋	【実習・課題】ジャケットの応用デザイン展開 衿のパターン作成	復習:8回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):衿用天竺	30分
9回 高橋	【実習】工業用パターン作成 表衿・見返し・裏地・縫い代付け	復習:9回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):JKパターン×2セット	30分
10回 高橋	【実習】テーラードジャケットのドレーピング 前後身頃	復習:10回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):身頃・袖・衿用天竺	30分
11回 高橋	【実習】テーラードジャケットのドレーピング 前後脇身頃	復習:10回目の終了段階までの授業課題内容 予習(準備):身頃・袖・衿用天竺	30分
12回 高橋	【実習】テーラードジャケットのドレーピング パターントレース 組み立て 身頃修正	復習:12回目の終了段階までの授業課題内容の 完了	30分
13回 高橋	【実習】テーラードジャケットのドレーピング 衿ドレーピング パターン作成	復習:13回目の終了段階までの授業課題内容の 完了	30分
14回 高橋	【実習】テーラードジャケットのドレーピング 袖パターン作成 (二枚袖)	復習:14回目の終了段階までの授業課題内容の 完了	30分
15回 高橋	【実習・課題】テーラードジャケットのドレーピング 袖付け・パターン修正	復習:15回目の終了段階までの授業課題内容の 完了	30分

モードデザイン

白木 ゆみ香

服飾学科 モードクリエイションコース 3年 前期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

モードデザインは、モードクリエイションコースにとって必要不可欠な、「デザイン力」や「表現力」を養う授業です。モードデザインで学んだ技術や手法を元に、更なるデザイン力を磨きながら各種コンテストにも積極的に取り組んでいきます。各自のデザインテーマを模索し、そのコンセプトを意識しながらのデザイン構築を学ぶことにより、作品自体に強い説得力が生まれます。そしてそのデザインを表現するための画力を身に付けることも大切です。常にアンテナを張り意識しながら、繰り返しデザインし描くことにより、自分が表現したいデザインを、より魅力的に表現することが可能となるよう学修していきます。

到達目標(学修成果)

各自の研究テーマを設定することにより、コンセプトに沿ったデザイン考案とデザイン展開を身に付けることができるようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、モードクリエイションコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

- ・作品課題の提出は、教室またはデザインCG研究室(研究棟1F)まで、指定された日時までに提出のこと。
- ・作品課題の返却は、採点または手直し後、教室にて返却。期末試験はなし。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

必要に応じてプリント配布。

教材「Fashion Illustration Sheet」「Fashion Ruler」

参考文献

MODE Et MODE、各種専門誌。

オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30~17:00 【後期】木 15:30~17:00

【研究室】デザインCG研究室(研究棟1F)

備考

進捗により、日程および内容の変更あり。必要と思われる展示会や美術展などの見学あり。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 白木	オリエンテーション。YKKファスニングアワードに向けて デザイン発想 (アイデアスケッチ)	予習: シラバスを読む。	30分
2回 白木	デザイン発想 (デザイン画+ハンガーイラスト+説明図や展開図)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
3回 白木	デザイン発想 (プレゼン発表)	予習: プレゼン準備	60分
4回 白木	日暮里デザインコンテストに向けて デザイン発想 (アイデアスケッチ)	予習: 図書館・インターネットにて資料収集。	60分
5回 白木	デザイン発想 (コンセプトシート+デザイン画+ハンガーイラスト)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
6回 白木	デザイン発想 (プレゼン発表)	予習: プレゼン準備	60分
7回 白木	模写 好きなイラストレーターを選定し、模写する	復習: 作品課題を完成させる。	60分
8回 白木	全国ファッションデザインコンテストへ向け デザイン発想 (アイデアスケッチ)	予習: 図書館・インターネットにて資料収集。	60分
9回 白木	デザイン発想 (コンセプトシート+デザイン画+ハンガーイラスト)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
10回 白木	デザイン発想 (コンセプトシート+デザイン画+ハンガーイラスト)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
11回 白木	デザイン発想 (プレゼン発表)	予習: プレゼン準備	60分
12回 白木	パリエーション 好きなブランドから1点+パリエーション2点とアイテム図	復習: 作品課題を完成させる。	60分
13回 白木	パリエーション 好きなブランドから1点+パリエーション2点とアイテム図	復習: 作品課題を完成させる。	60分
14回 白木	自由課題	復習: 作品課題を完成させる。	60分
15回 白木	プレゼン発表	予習: プレゼン準備	60分

モードデザイン

白木 ゆみ香

服飾学科 モードクリエイションコース 3年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

モードデザインでは、モードデザインで学んだデザイン力を元に、CGを駆使して作品をより魅力的に表現する方法を学びます。アパレル業界でもCGは必要不可欠なスキルですが、特に企画書やポートフォリオ制作、プレゼンテーションには欠かせない道具の一つです。この授業では、モードクリエイションコースにとって必要不可欠な、「デザイン力」や「表現力」を、手書きの良さやCGの良さを生かしながら、総合的に学んでいきます。CGの主な使用ソフトは、Photoshop、Illustrator、PowerPointです。就職活動へ向けての企画書や各自の作品集制作なども併せて学修していきます。

到達目標（学修成果）

自分の研究テーマやコンセプトに沿ったデザインを、CGを駆使してイメージ通りに表現出来るようになる。客観的な視点でデザインを見ることが出来るようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、モードクリエイションコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・作品課題の提出は、PC関係はデスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。
- ・PC以外は教室またはデザインCG研究室（研究棟1F）へ、指定された日時までに提出のこと。
- ・作品課題の返却は、採点または手直し後、教室にて返却。期末試験はなし。プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

- ・必要に応じてプリント配布。
- ・教材「Fashion Illustration Sheet」「Fashion Ruler」

参考文献

- ・ファッション色彩能力検定試験2級準拠、2級問題集。
- ・各種専門誌

オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30~17:00 【後期】木 15:30~17:00

【研究室】デザインCG研究室（研究棟1F）

備考

進度により、日程および内容の変更あり。必要と思われる展示会や美術展などの見学あり。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白木	オリエンテーション、Photoshop 基本操作 サンプルデザインにて、着色、カラーバリエーション	予習：シラバスを読む。	30分
2回 白木	Photoshop レイアウト、保存の種類 自分のデザイン画を用意。スキャン、着色。	予習：デザイン画の下絵準備。	60分
3回 白木	Photoshop 自分のデザイン画を着色。カラーバリエーション、レイアウト、作品データ提出。	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
4回 白木	Illustrator パスの練習 ハンガーイラスト 各自オリジナルのハンガーイラストをパスでトレース。	予習：ハンガーイラストの下絵準備	60分
5回 白木	Illustrator パスの練習 ハンガーイラストのバリエーション	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
6回 白木	デザイン画とハンガーイラストをレイアウト。データ提出。	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
7回 白木	就活に向けた企画書制作 希望のブランドからイメージマップ作成。(Power Point)	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
8回 白木	希望のブランドに向けたオリジナルデザイン画3体。 Photoshop 着色。	予習：デザイン画の下絵準備。	80分
9回 白木	希望のブランドに向けたオリジナルデザイン画3体。 Photoshop 着色。レイアウト。	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
10回 白木	希望のブランドに向けたオリジナルデザイン画3体。 Photoshop 着色。レイアウト。背景。	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
11回 白木	Illustrator 希望のブランド向けハンガーイラスト5点。 パスでトレース。	予習：ハンガーイラストの下絵準備	80分
12回 白木	Illustrator 希望のブランド向けハンガーイラスト5点。 パスでトレース。ラインシート作成。	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
13回 白木	Illustrator ブランドロゴとタグの制作。	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
14回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point プレゼン資料作成	復習：自習室PC等で作品課題を完成させる。	60分
15回 白木	Power Pointにて各自の企画書をプレゼンテーション。 合評会。	予習：プレゼン準備。	80分

アパレルCAD

関 雅男

服飾学科 モードクリエーションコース 3年 前期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

コンピュータによるパターンメイキング・グレーディング・マーキングの実践能力を習得する。
主にCAD では、コンピュータパターンメイキングの演習を行います。

到達目標(学修成果)

アパレルCADシステムを使うことにより、パターンメイキングの基本操作と活用法を習得することができます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエーションコースの専門必修科目で卒業要件の単位となります。
「アパレルCAD」は、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

15回目に課題についての解説とテストデータを返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業の進行に合わせて動画の紹介、データの配付

参考文献

パターンメイキングの原理 大野順之助著 (株)アミコファッションズ
立体裁断 基本理論/監修: 小山千暁/小山文子 本間一郎/ CFK

オフィスアワー・研究室

連絡 第三校舎1階 講師控え室 出講日 火曜日

備考

状況により内容変更有り

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 開	原型のユルミ入れ 前後身頃	予習:ユルミ入れ展開方法を確認しておくこと	60分
2回 開	原型のユルミ入れ 前後身頃・前後スカート	復習:ユルミ入れの操作手順、項目、機能を整理する。	30分
3回 開	ダーツ移動・分散	復習:ダーツ移動・分散の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
4回 開	ダーツ移動・分散 アクティブラーニング	復習:ダーツ移動・分散の展開操作をグループで考え、作業する。	30分
5回 開	ギャザー展開 ウエストダーツをウエストギャザー・ネックラインギャザーに展開	復習:ギャザー展開の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
6回 開	ギャザー展開 ウエストダーツをウエストギャザー・ネックラインギャザーに展開	復習:ギャザー展開の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
7回 開	袖の展開 テーパードスリーブ・パフスリーブ 復習:袖の展開操作手順、項目、機能を整理する。	復習:袖の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
8回 開	袖の展開 ギャザースリーブ・他	復習:袖の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
9回 開	プリンセス原型の作成	予習:配布データを振り返り、プリンセス原型の作成展開手順を整理する。	30分
10回 開	プリンセス原型の作成	復習:プリンセス原型作成の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
11回 開	衿の作成 シャツカラー・表衿の展開	復習:衿の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
12回 開	衿の作成 ステンカラー・ピーターパンカラー	復習:衿の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
13回 開	ブラウス原型作成 ストレートなシルエット	予習:配布データを振り返り、ブラウス原型作成の作成展開手順を整理する。	30分
14回 開	ブラウス原型作成 ストレートなシルエット	復習:ブラウス原型作成の展開操作手順、項目、機能を整理する。	30分
15回 開	まとめ 課題のフィードバックを行う	復習:課題提出を振り返る	30分

アパレルCAD

関 雅男

服飾学科 モードクリエイションコース 3年 後期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

前期に続きCAD では、CAD で習得した技術を応用し、より高度なパターンメイキングを学習します。更に関連技術として、グレーディング・マーキングを学習します。

到達目標(学修成果)

アパレルCADシステムを使うことにより、パターンメイキングの応用操作、グレーディング・マーキングの基本操作を習得することができます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエイションコースの専門必修科目で卒業要件の単位となります。
「アパレルCAD」は、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

15回目に課題についての解説とテストデータを返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業の進行に合わせて動画の紹介、データの配付

参考文献

工業用パターンガイドブック 小山千暁他著 (株)アミコファッションズ
パターンメイキングの原理 大野順之助著 (株)アミコファッションズ

オフィスアワー・研究室

連絡 第三校舎1階 講師控え室 出講日 火曜日

備考

状況により内容変更有り

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 開	テーラードジャケットのパターントレース	予習：授業で習った作図を確認しておくこと。	30分
2回 開	テーラードジャケットのパターン、確認・合印/長さ合わせ アクティブラーニング	復習：合印の意味を理解する。工業用パターンについてグループ考察	30分
3回 開	テーラードジャケットのパターン、書き込み	復習：衿、ポケットの展開方法を確認し、ソフトの特性を理解する。	30分
4回 開	テーラードジャケットのパターン、情報の確認	復習：パーツの情報がグレーディング・マーキングに繋がることを理解する。	30分
5回 開	工業用パターンの作成	予習：授業で習った裏地等の展開方法を確認しておくこと。	30分
6回 開	工業用パターンの作成	復習：裏地と見返しの展開方法を確認し、配布資料を整理する。	30分
7回 開	工業用パターンの作成	復習：縫い代の付け方を確認し、配布資料を整理する。	30分
8回 開	グレーディング操作 グレーディング手順・グレーディング情報の設定	復習：グレーディング手順の暗唱項目を整理する。	30分
9回 開	グレーディング操作 補助ルール・シフトバリュー・移動量表の説明	復習：補助ルール・シフトバリューの暗唱項目を整理する。	30分
10回 開	グレーディング ブラウス	復習：グレーディングポイント設定の暗唱項目を整理する。	30分
11回 開	グレーディング スカート・パンツ	復習：基本ルール、補助ルールの暗唱項目を整理する。	30分
12回 12	マーキング操作 マーカー収集・マーキング条件設定	予習：ハンドマーキング実践しておくこと。	30分
13回 開	マーキング スカート・パンツ	復習：マーキング操作、条件設定の暗唱項目を整理する	30分
14回 開	マーキング ブラウス・ジャケット	復習：マーキング操作、条件設定の暗唱項目を整理する。	30分
15回 開	まとめ 課題のフィードバックを行う	復習：課題提出を振り返る	30分

テキスタイルデザイン

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 前期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

テキスタイルデザインの延長上に位置し、織物制作を通して、制作理論を学ぶ。デザインから服になるまでを通して、服ができるまでのプロセスを学ぶ。

到達目標(学修成果)

基本的なテキスタイル制作を踏まえ、応用課題や形状の異なる系のデザイン設計から作品制作までができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・オリジナルテキスト配布

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

水曜日(15:00~17:00) テキスタイルデザイン研究室(3011)

備考

- ・ダイニングテクニックと関連した授業展開である・ダイニングテクニック・テキスタイルデザインの単位を取得していること・パネルキルトを使って「服」の制作を行う。大学祭時に学生自ら考えたショー企画と実際を行う。
- ・産地見学旅行(9月上旬頃予定)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田口	パネルキルトの制作 デザインの比較検討 4Dboxを使用した、手描きデザインとCGデザイン	(予習)チェック柄について調査し、コンセプトを決めデザインを考案する	120分
2回 田口	パネルキルトの制作 デザインの比較検討 4Dboxを使用した、手描きデザインとCGデザイン	(予習)チェック柄について調査し、コンセプトを決めデザインを考案する	120分
3回 田口	パネルキルトの制作 設計・糸準備	(予習)設計の方法について確認する	30分
4回 田口	パネルキルトの制作 設計・糸準備	(予習)設計の方法について確認する	30分
5回 田口	パネルキルトの制作 準備	(予習)テキスタイルデザイン テキスト染色を読み染色方法について確認する	30分
6回 田口	パネルキルトの制作 準備	(予習)テキスタイルデザイン テキスト染色を読み染色方法について確認する	30分
7回 田口	パネルキルトの制作 織布1	(予習)テキスタイルデザイン テキスト準備 工程読み織機準備の手順を確認する	30分
8回 田口	パネルキルトの制作 織布1	(予習)テキスタイルデザイン テキスト準備 工程読み織機準備の手順を確認する	30分
9回 田口	パネルキルトの制作 織布2	(予習)系配列の配色と組織における交錯の関係を確認する	30分
10回 田口	パネルキルトの制作 織布2	(予習)系配列の配色と組織における交錯の関係を確認する	30分
11回 田口	パネルキルトの制作 織布3	(復習)風合いと密度、縫製の際の柄合わせを確認する。織布。	45分
12回 田口	パネルキルトの制作 織布3	(復習)風合いと密度、縫製の際の柄合わせを確認する。織布。	45分
13回 田口	パネルキルトの制作 織布4	(予習)緯糸挿入角度と織物幅の関係を確認する。織布。	60分
14回 田口	パネルキルトの制作 織布4	(予習)緯糸挿入角度と織物幅の関係を確認する。織布。	60分
15回 田口	パネルキルトの制作 織布5	(復習)織物制作上の織幅収縮について意識する	60分

テキスタイルデザイン

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 前期 必修 (2単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 田口	パネルキルトの制作 織布5	(復習)織物制作上の織幅収縮について意識する	60分
17回 田口	パネルキルトの制作 仕上げ、測定、まとめ	(予習)縮絨による風合い変化について考察する。型紙の作成と縫製	30分
18回 田口	パネルキルトの制作 仕上げ、測定、まとめ	(予習)縮絨による風合い変化について考察する。型紙の作成と縫製	30分
19回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 色彩抽出 デザイン	(予習)秋・冬シーズンのウール製品の市場調査する。	120分
20回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 色彩抽出 デザイン	(予習)秋・冬シーズンのウール製品の市場調査する。	120分
21回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 4Dboxを使用した、手描きデザインとCGデザイン	(復習)PCでの織の表現と組織の提案準備 絵画についての調査と色彩表現の確認	30分
22回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 4Dboxを使用した、手描きデザインとCGデザイン	(復習)PCでの織の表現と組織の提案準備 絵画についての調査と色彩表現の確認	30分
23回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 設計・糸準備	(予習)秋・冬シーズンのウール製品の市場調査する	120分
24回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 設計・糸準備	(予習)秋・冬シーズンのウール製品の市場調査する	120分
25回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 織布	(予習)好きなアーティストの絵画をリサーチし色の使い方について考察する	30分
26回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 織布	(予習)好きなアーティストの絵画をリサーチし色の使い方について考察する	30分
27回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 織布、仕上げ	(予習)系の太さと箆密度や組織についてフィードバックしておく	30分
28回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 織布、仕上げ	(予習)系の太さと箆密度や組織についてフィードバックしておく	30分
29回 田口	まとめ	(復習)経糸と緯糸の構造によって表現される形状が異なることを確認する	45分
30回 田口	まとめ	(復習)経糸と緯糸の構造によって表現される形状が異なることを確認する	45分

テキスタイルデザイン

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 後期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

テキスタイルデザイン で学んだスキルを活かし、テキスタイルデザイン・設計(糸・染色・組織・素材など)の条件設定を自らし、イメージを「布」で表現できる能力を育成する。産学連携では生産における制約の中で、ユーザーを意識したデザイン考案を行う。

到達目標(学修成果)

自らテーマを決め、それに適した材料と技法を選択し、設計・計画・制作ができるようになる。そのプロセスを理解し、適切なプレゼンテーションができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・オリジナルテキスト配布

参考文献

適宜配布

オフィスアワー・研究室

水曜日(10:40~12:10) テキスタイルデザイン研究室(3011)

備考

- ・ダイイングテクニック、テキスタイルデザイン の単位を取得していること
- ・ダイイングテクニック と関連した授業展開である
- ・産学連携「スクールユニフォームの提案」プレゼンテーション審査会は2月中旬に実施

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田口	緯絰織物の制作 柄を織物構造で捉える、緯絰織物 デザイン	(予習)「絰」とは。技法の特徴を調査する 防染とズラシの効果について考察する	120分
2回 田口	緯絰織物の制作 柄を織物構造で捉える、緯絰織物 デザイン	(予習)「絰」とは。技法の特徴を調査する 防染とズラシの効果について考察する	120分
3回 田口	緯絰織物の制作 設計	(予習)技法の特徴を理解し、デザインを考案する	60分
4回 田口	緯絰織物の制作 設計	(予習)技法の特徴を理解し、デザインを考案する	60分
5回 田口	緯絰織物の制作 織布準備 種糸について	(復習)適した色彩関係であるか再検討する。	30分
6回 田口	緯絰織物の制作 織布準備 種糸について	(復習)適した色彩関係であるか再検討する。	30分
7回 田口	緯絰織物の制作 織布	(予習)制作工程から緯糸と柄の関係について考える	30分
8回 田口	緯絰織物の制作 織布	(予習)制作工程から緯糸と柄の関係について考える	30分
9回 田口	緯絰織物の制作 織布	(復習)絰を応用したテキスタイル・商品について考察する	30分
10回 田口	緯絰織物の制作 織布	(復習)絰を応用したテキスタイル・商品について考察する	30分
11回 田口	仕上げ・まとめ・作品提出	(予習)プロセスのを振り返りと、テキスタイルの提案ができるよう準備する	60分
12回 田口	仕上げ・まとめ・作品提出	(予習)プロセスのを振り返りと、テキスタイルの提案ができるよう準備する	60分
13回 田口	学内コンクール作品制作 ポートフォリオの作成	(予習)これまでの作品のプロセスを振り返る	30分
14回 田口	学内コンクール作品制作 ポートフォリオの作成	(予習)これまでの作品のプロセスを振り返る	30分
15回 田口	学内コンクール作品制作 ポートフォリオの作成	(復習)作品の狙いと効果について振り返る	60分

テキスタイルデザイン

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 後期 必修 (2単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 田口	学内コンクール作品制作 ポートフォリオの作成	(復習) 作品の狙いと効果について振り返る	60分
17回 田口	学内コンクール作品制作 ポートフォリオの作成	(予習) 適切なプレゼンテーションの方法を考える	30分
18回 田口	学内コンクール作品制作 ポートフォリオの作成	(予習) 適切なプレゼンテーションの方法を考える	30分
19回 田口	学内コンクール作品制作 プレゼン準備	(復習) PC技法の確認を行う	45分
20回 田口	学内コンクール作品制作 プレゼン準備	(復習) PC技法の確認を行う	45分
21回 田口	スクールユニフォーム コンセプトとチェック柄デザインの考案(CG)	(予習) デザインリサーチとコンセプト考案	45分
22回 田口	スクールユニフォーム コンセプトとチェック柄デザインの考案(CG)	(予習) デザインリサーチとコンセプト考案	45分
23回 田口	スクールユニフォーム デザイン検討 テキスタイルCGシミュレーション	(予習) デザインの制約を理解し、デザイン展開を行う	30分
24回 田口	スクールユニフォーム デザイン検討 テキスタイルCGシミュレーション	(予習) デザインの制約を理解し、デザイン展開を行う	30分
25回 田口	スクールユニフォーム デザイン考案 依頼書作成	(予習) 配色の効果と着装シミュレーションを行う	30分
26回 田口	スクールユニフォーム デザイン考案 依頼書作成	(予習) 配色の効果と着装シミュレーションを行う	30分
27回 田口	チェック柄デザインの考案(CG) プレゼンテーション準備	(復習) 効果的なプレゼンテーションのための画像を考える	30分
28回 田口	チェック柄デザインの考案(CG) プレゼンテーション準備	(復習) 効果的なプレゼンテーションのための画像を考える	30分
29回 田口	チェック柄デザインの考案(CG) プレゼンテーション準備	(復習) デザインの要素と作成のプロセスを理解し、考案できたかを振り返る	30分
30回 田口	チェック柄デザインの考案(CG) プレゼンテーション準備	(復習) デザインの要素と作成のプロセスを理解し、考案できたかを振り返る	30分

ダイニングテクニック

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 前期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

ダイニングテクニック の延長上に位置し、様々な染色技法の修得と、テーマからオリジナルのデザインを提案し、イメージを豊かな色彩で表現できる能力を身につける。また、毛刈りされた羊毛が糸になるまでのプロセスを経験することで、改めて、繊維・糸・布の関係性を考察して行く。

到達目標(学修成果)

繊維、糸、布染めの基本的な技法に加え、繊維、糸の性質を考慮した染色、2色以上の混色や濃度による染色表現ができるようになる。それにより、染色プロセス、染色計画書の作成ができ、先染め織物の表現の幅を広げることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・オリジナルテキスト配布

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

水曜日(16:20~17:50) テキスタイルデザイン研究室(3011)

備考

- ・テキスタイルデザインとの関連した授業展開である
- ・テキスタイルデザイン ・ダイニングテクニック の単位を取得していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田口	パネルキルトの制作 ウール糸の染色1	(予習)糸量から染色条件を計算し、正しく設計する方法を考える	60分
2回 田口	パネルキルトの制作 ウール糸の染色1	(予習)糸量から染色条件を計算し、正しく設計する方法を考える	60分
3回 田口	パネルキルトの制作 ウール糸の染色2	(復習)チェックの商品リサーチ	30分
4回 田口	パネルキルトの制作 ウール糸の染色2	(復習)チェックの商品リサーチ	30分
5回 田口	パネルキルトの制作 ウール糸の染色3	(復習)糸量から染色条件を計算し、正しく設計し、その実際をまとめる	45分
6回 田口	パネルキルトの制作 ウール糸の染色3	(復習)糸量から染色条件を計算し、正しく設計し、その実際をまとめる	45分
7回 田口	パネルキルトの制作 経糸準備	(復習)糸量から染色条件を計算し、正しく設計し、その実際をまとめる	45分
8回 田口	パネルキルトの制作 経糸準備	(復習)糸量から染色条件を計算し、正しく設計し、その実際をまとめる	30分
9回 田口	スピニング 準備(原毛の精練と染色)	(予習)ウールとは、羊について調査	30分
10回 田口	スピニング 準備(原毛の精練と染色)	(予習)ウールとは、羊について調査	60分
11回 田口	スピニング 原毛のミキシング	(復習)ミキシングの効果について考える	60分
12回 田口	スピニング 原毛のミキシング	(復習)ミキシングの効果について考える	60分
13回 田口	スピニング 原毛について 羊の種類、部位と製品の解説、ソーティング、洗毛	(予習)羊の種類と毛質について調査 工業用紡績工程の確認	60分
14回 田口	スピニング 原毛について 羊の種類、部位と製品の解説、ソーティング、洗毛	(予習)羊の種類と毛質について調査 工業用紡績工程の確認	60分
15回 田口	カーディング、ローラグ、紡毛と梳毛について	(復習)羊の種類、部位による毛質の相違についてまとめる	60分

ダイニングテクニック

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 前期 必修 (2単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 田口	カーディング、ローラグ、紡毛と梳毛について	(復習) 羊の種類、部位による毛質の相違についてまとめる	60分
17回 田口	スピニング	(復習) 撚り効果について考察する	60分
18回 田口	スピニング	(復習) 撚り効果について考察する	60分
19回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 染色 求める色の再現	(復習) 形状の異なる糸の染法についてまとめる	60分
20回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 染色 求める色の再現	(復習) 形状の異なる糸の染法についてまとめる	60分
21回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 染色 求める色の再現	(復習) 染料の調合方法についてまとめる	60分
22回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 染色 求める色の再現	(復習) 染料の調合方法についてまとめる	60分
23回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 準備 濃度の確認	(復習) 濃度と色彩の関係についてまとめる	30分
24回 田口	ファンシーヤーンを使用したテキスタイルの制作 準備 濃度の確認	(復習) 濃度と色彩の関係についてまとめる	30分
25回 田口	応用課題	(予習) テーマについての調査	45分
26回 田口	応用課題	(予習) テーマについての調査	45分
27回 田口	応用課題	(復習) 調査結果からの提案についてまとめる	45分
28回 田口	応用課題	(復習) 調査結果からの提案についてまとめる	45分
29回 田口	まとめ	(予習) 各課題を振り返り、作品制作に繋げるためのデータのまとめをする	60分
30回 田口	まとめ	(予習) 各課題を振り返り、作品制作に繋げるためのデータのまとめをする	60分

ダイニングテクニック

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 後期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

ダイニングテクニック までで習得した技術を応用し、染色の応用技法の修得と表現力を身につける。伝統技法である緋は効果的な色の使い方を理解した上でデザインをすることが必要であり、設計もこれまでとは異なる。この経験をすることで完成を具体的にイメージする能力と設計力を高め、今後オリジナル作品の考案ができるようになることを目指す。

到達目標(学修成果)

伝統的な緋系の染め技法などを学び広範囲な染色技法を身に付けることで、技術と創作力を持ち自己のイメージを的確に表現できる能力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

コンテスト形式によるプレゼンテーション、および課題返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

オリジナルテキスト配布

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

水曜日(16:20~17:50)テキスタイルデザイン研究室(3011)

備考

- ・テキスタイルデザイン に関連した授業展開である・JFW展示会やアーティスト展示会見学を積極的に行うこと・テキスタイルデザイン、ダイニングテクニック の単位を修得していること・検定試験を受験する
- ・コース内コンクールは外部審査員による審査会を実施

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田口	緯緋織物の制作 染色準備 くくり	(予習)防染法の織物と緯緋織物の制作について調べる	60分
2回 田口	緯緋織物の制作 染色準備 くくり	(予習)防染法の織物と緯緋織物の制作について調べる	60分
3回 田口	緯緋織物の制作 染色準備 くくり	(予習)日本や世界における緋を調査する	30分
4回 田口	緯緋織物の制作 染色準備 くくり	(予習)日本や世界における緋を調査する	30分
5回 田口	緯緋織物の制作 染色	(予習)緋のデザインの仕組み、種系について理解する	30分
6回 田口	緯緋織物の制作 染色	(予習)緋のデザインの仕組み、種系について理解する	30分
7回 田口	緯緋織物の制作 染色	(復習)経糸と緋糸の交錯点や緯糸密度、配色による表現の関係を考える	30分
8回 田口	緯緋織物の制作 染色	(復習)経糸と緋糸の交錯点や緯糸密度、配色による表現の関係を考える	30分
9回 田口	作品課題 学内コンクール作品制作 デザインディスカッション	((予習)テーマの観察を行い、デザインを考案するための準備を行う	60分
10回 田口	作品課題 学内コンクール作品制作 デザインディスカッション	(予習)テーマの観察を行い、デザインを考案するための準備を行う	60分
11回 田口	作品課題 学内コンクール作品制作 デザインディスカッション	(予習)ディスカッションの内容を確認し、改善する	120分
12回 田口	作品課題 学内コンクール作品制作 デザインディスカッション	(予習)ディスカッションの内容を確認し、改善する	120分
13回 田口	学内コンクール作品制作 サンプル制作	(予習)コンセプト、デザインに適した素材、技法について調査する	120分
14回 田口	学内コンクール作品制作 サンプル制作	(予習)コンセプト、デザインに適した素材、技法について調査する	120分
15回 田口	学内コンクール作品制作 サンプル制作	(復習)色彩や形状がどのような効果を生んでいるか観察、確認をする	60分

ダイニングテクニック

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 後期 必修 (2単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 田口	学内コンクール作品制作 サンプル制作	(復習) 色彩や形状がどのような効果を成しているか観察、確認をする	60分
17回 田口	学内コンクール作品制作 サンプル制作	(復習) テキスタイルとの商品への展開を再度確認する	30分
18回 田口	学内コンクール作品制作 サンプル制作	(復習) テキスタイルとの商品への展開を再度確認する	30分
19回 田口	学内コンクール作品制作 サンプル検討のためのディスカッション	(予習) イメージと制作の相違の検討と改善	60分
20回 田口	学内コンクール作品制作 サンプル検討のためのディスカッション	(予習) イメージと制作の相違の検討と改善	60分
21回 田口	学内コンクール作品制作 制作	(予習) 適切な素材、技法のサーチと改善	60分
22回 田口	学内コンクール作品制作 制作	(予習) 適切な素材、技法のサーチと改善	60分
23回 田口	学内コンクール作品制作 制作	(復習) 技法と表面形状について観察と考察	45分
24回 田口	学内コンクール作品制作 制作	(復習) 技法と表面形状について観察と考察	45分
25回 田口	学内コンクール作品制作 制作	(復習) 作品のについて考える	45分
26回 田口	学内コンクール作品制作 制作	(復習) 作品のについて考える	45分
27回 田口	プレゼンテーションのためのCG制作	(予習) プレゼンテーションのシナリオ効果的なプレゼンについて考える	60分
28回 田口	プレゼンテーションのためのCG制作	(予習) プレゼンテーションのシナリオ効果的なプレゼンについて考える	60分
29回 田口	コンクール形式：プレゼンテーション・審査会、外部評価員による講評、まとめ	(復習) 学修した内容をまとめ、卒業制作デザイン考案に繋げる	90分
30回 田口	コンクール形式：プレゼンテーション・審査会、外部評価員による講評、まとめ	(復習) 学修した内容をまとめ、卒業制作デザイン考案に繋げる	90分

ニットینگ

山川 智子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ニットのデザイン・企画を行うは、ニット生地や、コンピュータ制御横編機での編成についての技術的な知識が必要となる。そのため、ニット全般に関わる基本的な知識を学び、コンピュータニットCADシステムやコンピュータ制御横編機の基本操作を学ぶ。また、多種多様な編地に触れ、現場で業務に活かせる知識・技術の習得を目指す。

到達目標(学修成果)

ニットの基本的な知識とコンピュータ制御横編機の基本操作ができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小試験の解答と説明。各学生に課題の評価と指導を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「ニットの基本」織研新聞社 鈴木美和子他 著

参考文献

授業中適宜お知らせします。

オフィスアワー・研究室

水曜日(16:00~17:00)2104教室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 山川	ニットとは、ニットの歴史、編物と織物の違い、ニットの分類、ニットの産地	予習 シラバスを読む 復習:市場のニットを改めて意識して見る	30分
2回 山川	繊維の種類、糸の種類、番手、ゲージ、リンキングについて、編地の種類、ニットの加工	復習:糸の太さを表す単位。製品の品質表示を見て使用されている素材の調査	30分
3回 山川	編み目について・三原組織、手編み三原組織(実習)	復習:表目・裏目、編物の3原組織について構造・特徴を理解する	30分
4回 山川	ニットCADについて、編機について、DSCSについて	復習:ニットCAD操作方をノートにまとめ、操作方法を確認する	30分
5回 山川	編地の種類	復習:基本的な編地について見直し特徴を覚える	30分
6回 山川	編地の種類	復習:基本的な編地について見直し特徴を覚える	60分
7回 山川	ニットCAD三原組織データ作成について ニット機SES操作方法	復習:ニットCAD入力・ニット機SES操作方法の確認	30分
8回 山川	三原組織CAD入力・編立	復習:編み目とCAD色番号、CAD入力の準備をする	30分
9回 山川	三原組織CAD入力・編立	復習:編み目とCAD色番号、CAD入力の準備をする	30分
10回 山川	JIS記号について ニット生地の復元(グループワーク)	復習:編み目とCAD色番号、JIS記号を考え、CAD入力の準備をする	30分
11回 山川	ニット生地の復元	復習:編み目とCAD色番号、JIS記号を考え、CAD入力の準備をする	30分
12回 山川	ニット生地の復元	復習:編み目とCAD色番号、JIS記号を考え、生地の特徴など発表準備をする	30分
13回 山川	ニット生地の復元まとめ 担当した編地について発表する	復習:編出した生地の特徴、CAD入力色番号、JIS記号をまとめる	30分
14回 山川	まとめ、課題の仕上げ・提出	予習:テキスト・ノートを見直す	90分
15回 山川	ニットینگのフィードバック	復習:前期の授業内容は後期にも必要になるので内容を振り返る。	30分

ニットینگ

山川 智子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ニット製品の企画から生産を行うためには、サンプルアップから量産までを全体的に考えられる力が必要である。そのため、ニット製品のプロセスを学び、ニットینگの編地の知識を合わせて企画及び量産するために必要な知識やコンピュータ制御横編機を操作する技術を総合的に習得することを目指す。

到達目標(学修成果)

ニットの基本から製品製造プロセスまでを理解し、ニット製品の企画と制作ができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小試験の解答と説明。各学生に課題の評価と指導を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「ニットの基本」織研新聞社 鈴木美和子他 著

参考文献

適宜、授業中インフォメーションします

オフィスアワー・研究室

水曜日(16:00~17:00) 2104教室

備考

・ニットینگの単位を取得していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 山川	ジャカード編地の種類 ジャカード柄の設計(シングル、ダブル、袋のデザイン)	予習:前期(ニットینگ)の内容を振り返る	30分
2回 山川	ジャカード柄の設計(シングル、ダブル、袋のデザイン) ジャカード柄のCAD入力(実習)・編立	復習:ジャカードのデザインを完成させる(シングル・ダブル・袋)	60分
3回 山川	ジャカード柄のCAD入力(実習)・編立 製品:ジャカード コンセプト・デザイン	復習:CAD入力について教科書とノートを見直す	30分
4回 山川	製品:ジャカード コンセプト・デザイン 製品:ジャカード CAD入力・編立	予習:編み出したダブルジャカードの生地を確認し、柄を考える	60分
5回 山川	製品:ジャカード CAD入力・編立 製品:ジャカード 縫製・仕上げ	予習:CAD入力の方法の確認	30分
6回 山川	ニット製品の種類、ニット製品の制作プロセス 仕様書の書き方	予習:自分の持っているニットの縫製を調査する	60分
7回 山川	プルオーバーセーターの仕様と仕様書の作成	予習:プルオーバーセーターに使用される衿や袖、シルエットなどの調査	30分
8回 山川	無縫製ニットについて 総針と針抜きの違いについて	復習:無縫製ニットについて復習をおこなう	90分
9回 山川	無縫製ニットの糸始末・仕上げ	予習:プルオーバーセーターの市場調査 復習:製品を作るプロセスを再確認する	60分
10回 山川	システムについて、無縫製ニット機について(SWG091N2) ニット帽(SWG091N2)	復習:システムと機械の関係について	60分
11回 山川	ニット帽(SWG091N2)コンセプト・デザイン 寸法の検討	予習:ニット帽の市場調査	60分
12回 山川	ニット帽(SWG091N2) コンセプト・デザイン 寸法の検討 ニット帽(SWG091N2) CAD入力・編立	予習:CAD入力の方法の確認 入力注意項目を確認する	30分
13回 山川	ニット帽(SWG091N2) CAD入力・編立 ニット帽(SWG091N2) 仕上げ・まとめ	復習:ニット帽(SWG091N2)の使用方法、注意事項の復習をおこなう	60分
14回 山川	カットソーについて・特殊ミシンについて まとめ、課題仕上げ・提出	予習:テキストと配布資料に目を通し、小試験に備える	60分
15回 山川	制作作品のプレゼンテーション ニットینگのフィードバック	予習:教科書・ノートを見直し、ニット全般復習する	30分

プリントデザイン演習

土岐 千春

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 前期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

テキスタイル業界におけるプリントの位置づけと各素材との関係性を理解し、オリジナルデザインの作成をする。素材開発の工程や加工の変遷、産地について解説する。商品化を見据えたデザインと提案力を身につける。講師の企業実務に基づき、ファッションの中でのプリントデザインの重要性を紹介する。

到達目標 (学修成果)

プリントテキスタイルのデザイン・商品企画・配色・生産の工程を理解し、自らアイデアを出し、企画立案・柄作成・提案が出来るようになる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

レポート、課題作品について返却時に講評します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

適宜プリント資料配布

参考文献

図書館内資料等

オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室(3011) 前期：火曜日(9:00～12:10)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 土岐	授業内容とスケジュールの説明 服飾業界におけるシーズンとファッションカレンダー作成	プリントデザインについてリサーチする	30分
2回 土岐	生地の種類とプリントの種類、技法の解説 プリントに適した素材や制約について	プリントの加工方法、技法についてリサーチする	30分
3回 土岐	プリントの生産地と加工方法の変遷 ・国内外の主要産地と新しい加工方法の解説	プリントの生産地やメーカーについてリサーチする	60分
4回 土岐	プリント図案の制約と型作成の工程と手順	型の作り方についてまとめる	60分
5回 土岐	著名ブランドのテキスタイルの特色と代表的な柄 ・モリス、リバティ、マリメッコ、ミナベルホネン等	各ブランドの作品を調べる	60分
6回 土岐	時代を超えて多用されるデザインの特徴 ・アールデコ、アールヌーボー、50年代、70年代調、和柄等	各デザインテーマの作品や時代背景を調べる	60分
7回 土岐	・デザイン毎の柄サンプルを収集し特徴を理解する レポート作成	時代と加工方法やそれらのデザインが求められた理由をまとめる	60分
8回 土岐	目的に合わせたデザインを作成する ・相手の意向に合わせたデザインを作成する	身の回りのプリントの使われたものをサンプリングする	60分
9回 土岐	・テーマと用途を指定された場合のデザインの作成と提案	用途、目的に合わせたデザインとはどういったものか考える	60分
10回 土岐	・地塗り、線描き、糸目、ハケタッチなどの描画テクニック	プリント柄の描画方法をリサーチする	60分
11回 土岐	・柄レンジ、カラーバリエーションの作成と提案	プリントのカラーバリエーションをリサーチする	60分
12回 土岐	服飾以外のプリント、テキスタイルの用途について	プリントの使われているものにはどのようなものがあるかリサーチする	60分
13回 土岐	・インテリア用途のテキスタイルとプリントのデザイン	カーテンや壁紙などの柄をリサーチする	60分
14回 土岐	・柄デザイン作成	インテリアにおいてのプリントの活用方法や効果をまとめる	30分
15回 土岐	SDGSの取組と今後の展望 ・アップサイクルのアイデアとデザイン	前期内容のまとめ	60分

プリントデザイン演習

土岐 千春

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 後期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

プリントデザイン演習 で学んだ内容を発展させ、トレンド情報の活用やコーディネート提案が出来るデザインを作成するグラフィックソフトを使用した描画によりデジタルデータの作成を行うファッションの中のプリントデザインの重要性と意味合いを理解しオリジナルのデザイン表現につなげる講師の企業実務に基づき必要とされるデザインについて解説する

到達目標 (学修成果)

プリントテキスタイルのデザイン・商品企画・配色・生産の工程を理解し、自らのアイディアから表現した企画立案・柄作成・提案が出来るようになる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題作品について返却時に講評します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

適宜プリント資料配布

参考文献

図書館内資料等

オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室 (3011) 後期：木曜日 (9:00~12:10)

備考

プリントデザイン演習 を修得していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 土岐	プリントデザイン の確認とまとめ 主な素材の製造方法の特徴のまとめ	前期学習内容を振り返り確認する	30分
2回 土岐	トレンド情報の分析と活用方法 ・主なトレンド情報とコレクション分析の方法	トレンド情報について図書館等でリサーチする	60分
3回 土岐	トレンドを意識した柄の作成とカラー展開、アイテムを提案	昨シーズンと今シーズンの違いや流れを店頭や雑誌等で確認する	60分
4回 土岐	・テーマを設定して柄を作成し図案化する	テーマにする題材を考える	60分
5回 土岐	・カラーバリエーション、提案アイテムデザインを作成する	色と柄のデザイン性を考える	60分
6回 土岐	・型出し、配色依頼(マス見本依頼)等依頼書を作成	相手にどのような情報を伝えなければならないか考える	60分
7回 土岐	CGソフトによる図案の作成	グラフィックソフトの操作方法を確認する	30分
8回 土岐	・デザインのベースとなるスケッチの作成と手順書の作成	デザインに適した作業方法と手順を考える	30分
9回 土岐	・CGによる図案リピート作成	リピートの付け方を確認する	30分
10回 土岐	・CGによるカラーバリエーション作成	グラフィックソフトによる描画方法のポイントをもとめる	60分
11回 土岐	トータルコーディネートシーズンマップを作成しプレゼンテーションする グループワーク	店頭における色や柄、素材の組合せをリサーチする	60分
12回 土岐	・コンセプト、テーマの設定 ・担当、分担 ミッションの明確化	コーディネートに必要な素材とアイテムを考える	60分
13回 土岐	・コンセプトに合わせた柄、先染め等素材のデザインを考えコーディネートマップにまとめる	プレゼンテーションの方法とシナリオを作成する	60分
14回 土岐	・プレゼンテーション(相互評価を行う)	コーディネートして提案することによる効果をまとめる	60分
15回 土岐	まとめ	プリントデザインのポイントと用途、効果についてまとめる	60分

素材分析実験

山川 智子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

アパレル素材を構成している繊維、糸、布などの基本的な材料の構造を理解するためにアパレル製品の解体を行う。繊維、糸、布の物理特性の測定や形状観察によって、測定値と布、布と製品の関係を捉え、分析結果をレポートにまとめる。その過程で素材についての理解と観察力、判断力、まとめる力を修得する。

到達目標（学修成果）

アパレル製品を繊維まで解体（分析）するプロセスと測定機器の使い方を習得する。測定値、形状観察を通して素材特性とアパレル製品との関係を考察し、素材特性を踏まえたアパレル製品のデザイン・設計が再考できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

レポート返却時に講評する

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

テキスト配布

参考文献

アパレル素材の基本(織研新聞社)、被服材料要論(コロナ社)など

オフィスアワー・研究室

水曜日(16:00~17:00) 2104教室

備考

・研究所見学：「カケンテストセンター」化学繊維製品検査協会

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 山川	素材分析の重要性を説明する、測定機器の説明と測定方法	(予習) 着装している衣服の品質タグを多数リサーチする	45分
2回 山川	グループワーク : アイテム1点担当する。代表的な素材が使われているアパレル商品アイテムを観察、衣服解体をする	(予習) 着装している衣服のパーツについて観察する	30分
3回 山川	衣服解体によって、部位と衣服のパーツについて観察する 布系 繊維各工程で試料の作成をする	(復習) 商品アイテムによって部位と異なるパーツがあり、役割について思考する	30分
4回 山川	天然繊維：綿、ウール、絹繊維の側面、形状の観察し、特徴を考察する	(予習) 顕微鏡操作についてのプリントを確認する。天然繊維の顕微鏡写真を提示する	30分
5回 山川	麻、合成繊維ポリエステル異形断面糸の側面、断面の観察 形状の特徴から考察する	(予習) 「アパレル素材の基本」テキストの繊維について読む	45分
6回 山川	グループワーク : アイテム1点担当する 混紡・合成繊維：商品アイテムの選出 衣服解体	(予習) シーズンごとの身近な衣類についてリサーチする	60分
7回 山川	衣服解体 布系 繊維 試料の作成	(予習) 衣服材料学テキストの繊維・糸・布について読む	60分
8回 山川	混紡糸の分解、各繊維の側面、断面の観察 形状の特徴から考察する	(予習) 合成繊維の顕微鏡写真を提示、繊維断面・側面画像の確認をする	45分
9回 山川	糸の太さの表示と実際 算出方法：番手とデニール(デシテックス)	(予習) 身の回りの製品に焦点を当て、糸の太さと布の厚さについて観察する	30分
10回 山川	撚り方向と撚り数、合系数、撚り構造と糸の特徴	(予習) 「アパレル素材の基本」テキストの撚りについて読む	30分
11回 山川	布の強伸度、剛軟度測定	(予習) 被服材料学関係図書の物理特性(強伸度、剛軟度)について読む	30分
12回 山川	布のドレープ性、防しわ性の測定	(予習) 被服材料学関係図書の物理特性(ドレープ性、防しわ性)について読む	30分
13回 山川	グループワーク：測定値を比較、類似や相違などについてディスカッションし、布の特徴とアイテムの関係を考察	(復習) 風合いとはどのような事から作られるか具体的に測定値を確認しながら考察する	30分
14回 山川	分析のまとめ方、プレゼンテーション用パワポの作成、レポート作成のためのシナリオの作成	(復習) 実験結果をまとめる	45分
15回 山川	プレゼンテーション、講評、まとめ	(復習) プレゼン方法が適切かを考える 実験結果について考察・まとめをする	45分

画像表現演習

水越 綾

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 前期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

イメージをカタチにしてゆく上で大切な事は、自身が考えているイメージをまず明確にする事です。そのためには、コンセプトやイメージなどの言葉を丁寧に紡ぎ、その言葉から連想されるイメージをカタチにしてゆくことです。本授業では、テキスタイルデザインや、ポートフォリオ等に生かすことができるような表現力・実践力をAdobe Illustratorを使いながら涵養してゆきます。また、なるべく客観的な視点をもって、自身の作品と対峙し、課題や問題に気づき、改良できる力を養うべく、課題毎にプレゼンテーションやディスカッション等をおこないます

到達目標 (学修成果)

これまでの教育課程において培ってきた知識・技術・経験を活かし、よりの確に自身のイメージを可視化する為に、それらを深め・探求することができる力。そして、そのためのアプリケーションスキルや配色・構成力の向上に自ら務めることができる。また、客観的な視点を常に持ち、自身の作品と対峙する力を身に付けることを目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー (学位授与) については、テキスタイルデザインコース必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題の提出及びインフォメーション及び課題に対するフィードバックは対面・キャンパスマジックを通じておこなう。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

幾何学パターンづくりのすべて (ポール・ジャクソン著、BNN出版)、新しい模様・柄・パターンのデザイン (BNN出版)

オフィスアワー・研究室

研究棟1階6012B 情報基礎研究室

manaからいつでも相談可

備考

授業内容は進行具合により前後する可能性あり。その際は事前にアナウンスする。テキスタイルデザインコースの他の授業で学んだことを活かして頂きたいので、ご自分が今まで作成した素材を集めておいてください。積極的に展覧会・展示会、産地に足を運び、知見を広げ・深めて下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 水越	初回オリエンテーション/プロフィールカードの作成を通してイラストレーター機能の確認	予習: Illustratorの基礎的な操作確認 課題: 課題を進めておく。コンペに向けた準備	30分
2回 水越	初回オリエンテーション/プロフィールカードの作成を通してイラストレーター機能の確認	課題: 課題を完成・修正して提出する。コンペに向けた準備 (リサーチ)	45分
3回 水越	ハンガーイラストの作成を通してイラストレーター機能の確認	課題: 課題を進めておく。コンペに向けた準備 (リサーチ)	45分
4回 水越	ハンガーイラストの作成を通してイラストレーター機能の確認 コンペ応募作品の為にディスカッション	課題: 課題を完成・修正して提出する。	45分
5回 水越	イラストレーターの基本的操作の確認 簡単な柄作成 (ドット柄・チェック柄・ストライプ柄・波型・うろこ柄)	予習: 単純な形で構成されているパターンを探してみる。課題: 課題を完成させる。	90分
6回 水越	幾何学形態を応用した柄 (ヘリンボーン柄・ブロック柄・アール柄・千鳥格子)	予習: 幾何学形態で構成されているパターンを探してみる。課題: 課題を完成させる。	90分
7回 水越	曲線が美しい柄をつくる (ペイズリー柄・植物柄等) ペンツール	予習: 美しい曲線で構成されているパターンを探してみる。課題: 次課題準備/課題完成。	90分
8回 水越	配色効果を考えた柄作成 準備学習で作成した素材をモチーフに柄を作成し、配色展開する	予習: 様々なテキスタイルデザインを見る。課題: 課題を進めておく。	90分
9回 水越	配色効果を考えた柄作成 コンペ応募作品の為にディスカッション	予習: 課題を進めておく/様々なテキスタイルデザインを見る。課題: 発表の準備	90分
10回 水越	配色効果を考えた柄作成 発表と振り返り/よりイメージに合わせてゆかためのブラッシュアップ	課題: 発表の振り返り・次課題の準備 (リサーチ)	90分
11回 水越	テキスタイルデザインコンペ作品の制作 (デザイン案発表、ディスカッション/個別コメント/ブラッシュアップ)	予習: 制作に向けて必要な素材を作成、収集しておく。課題: 制作を進めておく	90分
12回 水越	テキスタイルデザインコンペ作品の制作 ブラッシュアップ版確認・個別コメント/本制作	課題: 課題を進める	90分
13回 水越	テキスタイルデザインコンペ作品の制作/進捗確認	課題: 課題を進める	90分
14回 水越	テキスタイルデザインコンペ作品の制作/進捗確認	課題: 課題を進める	90分
15回 水越	発表・振り返り・修正の後提出/講評	課題: 発表の振り返り/他者の作品から学んだ事、気付いた事をmanaに提出。	90分

画像表現演習

江野 晋平

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 後期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

本演習は、業界標準のAdobeソフトウェアを用いて、テキスタイルデザインとその商品化プロセスを体系的に学ぶことを目的とします。

講師は、アパレルを中心としたグラフィックデザイン事務所の運営実績を活かし、実務に根ざした実践型授業を展開します。理論と実習を融合したカリキュラムにより、学生が現場で即戦力となるデザインスキルとプロジェクトマネジメント能力を身につけることを目指します。

到達目標（学修成果）

企画デザインから商品化に至る一連のプロセスを体系的に理解するとともに、画像表現演習 で培った基礎知識を活かし、Adobeソフトウェアを駆使してテキスタイルデザインを自律的に制作できる実践力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

メール、クラウドを使用

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

無し

参考文献

無し

オフィスアワー・研究室

木曜日（12：30～15：00）テキスタイルデザイン研究室（3011）

備考

画像表現演習 の単位を取得していること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 江野	Photoshop、Illustratorを用いたテキスタイルデザインを用いたテクニック習得 トレース	（予習）与えられたテーマについてweb、にて調査する	30分
2回 江野	Photoshop、Illustratorを用いたテキスタイルデザインを用いたテクニック習得 スキャニングからモチーフを制作	（復習）習得したテクニックについて理解する。解像度・DPIについての理解	30分
3回 江野	Photoshop、Illustratorを用いたテキスタイルデザインを用いたテクニック習得 リピート	（復習）習得したテクニックについて理解する。リピートの仕組み、ハーフステップ、正送り	30分
4回 江野	Photoshop、Illustratorを用いたテキスタイルデザインを用いたテクニック習得 平絵へのマッピング	（復習）習得したテクニックについて理解する。平絵への展開についての意味を理解する	30分
5回 江野	Photoshop、Illustratorを用いたテキスタイルデザイン制作1 対象のターゲットを絞り込んだテキスタイルデザイン制作	ターゲットへ向けての制作コンセプトが出来ているか見直す	30分
6回 江野	Photoshop、Illustratorを用いたテキスタイルデザイン制作2 対象のターゲットを絞り込んだテキスタイルデザイン制作	4回目までの授業で習得した技術+作品によって必要な技術を個別に指導した内容を予習する。	30分
7回 江野	Photoshop、Illustratorを用いたテキスタイルデザイン制作2 対象のターゲットを絞り込んだテキスタイルデザイン制作	復習 制作した作品を俯瞰し問題点や修正点を見出す。	30分
8回 江野	プレゼンテーション用ポートフォリオの制作1 クライアントに対してプレゼンテーションのデモ	（予習）ポートフォリオのデザインについて情報収集する	30分
9回 江野	プレゼンテーションシミュレーション 対クライアントにプレゼンテーションのデモ	提案するターゲットに合わせた内容となっているか	30分
10回 江野	テキスタイルデザインのプロダクト制作 テーマ、ムードボードの考案	予習 ムードボードを考案しデザインソースを収集。	30分
11回 江野	テキスタイルデザインのプロダクト制作 テーマ、ムードボードからからのラフの考案	復習 テーマ、ムードボードからのラフを考案する。コンセプトを作った上での作品への展開	30分
12回 江野	テキスタイルデザインのプロダクト制作 スカーフデザインの制作	（予習）制作中のコンペ作品について知見を深める（市場調査や情報収集）	30分
13回 江野	テキスタイルデザインのプロダクト制作 スカーフデザインの制作	11回目までの授業で習得した技術+作品によって必要な技術を個別に指導した内容を予習する	30分
14回 江野	テキスタイルデザインのプロダクト制作 デザインの制作	（復習）制作した作品を俯瞰し問題点や修正点を見出す。	30分
15回 江野	講評 授業内作品についてポートフォリオ制作	（予習）ポートフォリオのデザイン（見せ方）についてWEBで情報収集する	30分

ファッションプロダクトデザイン

野口 和美、大場 有希子、高橋 大夢

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 前期 必修 (4単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションプロダクト製品の中からバッグと帽子を中心にデザインと制作を行う。企画から最終モデル完成までのデザインプロセスを通し段階的に学修する。さまざまな手法により可能性を探求すると共に素材の特性を知りその組立技術に関する基礎的な知識について学ぶ。以上の内容をより効果的なものとするために、担当者として、日常的に、バッグ、帽子、シューズの製品開発・制作を行っている実務経験者による指導を行っている。

到達目標（学修成果）

リサーチ結果の分析、アイデアの創出、造形表現としてのデザイン画、伝達手段としての製図、携帯と昨日の確認のためのモックアップ、最終的な試作として実物制作を通し、全体的なプロセスを正確に理解する。実社会におけるデザインの現場やモノ作りの現場に対応できる能力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法
プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- 『鞆・ハンドバッグ・小物』（社団法人日本皮革産業連合会）・ファッション工芸講座 帽子基礎編（文化出版局）
- 『レザーソムリエ資格試験公式テキスト』（日本革類卸売事業協同組合）

参考文献

工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス(STUDIO TAC CREATIVE) ・繊維の種類と加工が一番わかる（技術評論社）

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00～14:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

備考

ファッションプロダクトデザイン の授業は月曜日（担当：高橋、大場）と水曜日（担当：高橋、野口）の週2回行っている。このシラバスは水曜日の内容である。月曜日は、8回は帽子の授業 7回についてはYKKのコンテストやトートバッグの制作を行う。東京レザーフェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする。月曜日のシラバスは最初の授業時に掲示する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 高橋	[バッグのデザインと制作] ガイダンス 課題、スケジュール説明	予習：A4ファイルの準備(20ポケット以上)縫製サンプル、テキスト持参	60分
2回 高橋	トートバッグの制作 デザイン考案	復習：遅れた作業は次回までに進めておく(デザイン画)	60分
3回 高橋	デザインチェック、紙モックアップ 面談(ディスカッション)	予習：遅れた作業は次回までに進めておく 紙モックアップ準備をする	60分
4回 高橋	デザイン修正 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく 紙モックアップを完成させる	60分
5回 高橋	紙モックアップ修正版完成 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく 紙モックアップの修正をする	60分
6回 高橋	製図、個別チェック 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく(製図)	60分
7回 高橋	型紙 個別チェック 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく(型紙)	60分
8回 高橋	不織布モックアップ 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく	60分
9回 高橋	不織布モックアップ完成 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく	60分
10回 高橋	実物制作 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく(実物制作)	60分
11回 高橋	実物制作 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく(実物制作)	60分
12回 高橋	実物制作 面談(ディスカッション)	復習：遅れた作業は次回までに進めておく(実物制作)	60分
13回 高橋	実物制作、完成	復習：遅れた作業は次回までに進めておく(実物制作)	60分
14回 高橋	完成作品の写真を撮影し、プレゼンテーションの準備	予習：ポスター案を考える	60分
15回 高橋	プレゼンテーション(フィードバック) 課題作品における講評を行う	予習：プレゼンテーションの準備 パワーポイントで制作する	60分

ファッションプロダクトデザイン

野口 和美、大場 有希子、高橋 大夢

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 後期 必修 (4単位 演習)

授業の方針・概要

「ファッションプロダクトデザイン」を更に発展させる。実素材を使ったプロットタイプは学生自身による制作の他、外部工場や職人に依頼します。高度な技術を持った技術スタッフと綿密な打ち合わせやチェックを繰り返しながら完成させる。その際、自身の考えやイメージを的確に伝えるためにデザイン画、正確な図面、立体モデル等を作成する。以上の内容をより効果的なものとするために、担当者として、日常的に、バッグ、帽子、シューズの製品開発・制作を行っている実務経験者による指導を行っている。

到達目標（学修成果）

デザインをスタートからプロットタイプ完成までのプロセスを通して、実践的な技術・ノウハウを身につけ、社会に対し斬新であり、独創的なデザインを提案できる能力を身に付けることを目指す。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。

ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法
プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

- 『鞆・ハンドバッグ・小物』（社団法人日本皮革産業連合会）・ファッション工芸講座 帽子基礎編（文化出版局）
- 『レザーソムリエ資格試験公式テキスト』（日本革類卸売事業協同組合）

参考文献

工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス(STUDIO TAC CREATIVE) ・繊維の種類と加工が一番わかる（技術評論社）

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日13:00～14:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

備考

ファッションプロダクトデザイン の授業は月曜日（担当：大場、高橋）と水曜日（担当：野口、高橋）の週2回行っている。このシラバスは水曜日の内容である。月曜日は、8回は帽子の授業7回についてはレザーソムリエBasic 検定試験対策講座や卒業制作に向けての授業を行う。各種展示会については授業の中で紹介をする。月曜日のシラバスは最初の授業時に掲示する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 高橋	[バッグのデザインと制作] ガイダンス 課題、スクジュール説明	[バッグのデザインと制作] ガイダンス 課題、スクジュール説明	30分
2回 高橋	研究テーマのプレゼンテーション (コンセプト含む)	予習：リサーチを行う 復習： デザイン画を描く	60分
3回 高橋	個人面談（ディスカッション） デザイン画、紙モックアップ制作	復習：紙モックアップを完成させる	60分
4回 高橋	プレゼンテーション (講評とフィードバック)	予習：プレゼンテーションの準備	60分
5回 高橋	個人面談（デザインの方向性を決定する）	予習：デザイン画10枚を描く	60分
6回 高橋	デザイン画決定	予習：紙モックアップ準備	60分
7回 高橋	紙モックアップ、修正	予習：不織布モックアップ準備	60分
8回 高橋	不織布モックアップ、修正	復習：発注に向けての準備	60分
9回 高橋	発注前最終チェック デザイン画、製図、モックアップ、 材料、サンプル、仕様書を完成させる	復習：発注に向けての準備	60分
10回 高橋	外部工場へ発注のための打ち合わせ	復習：発注に向けての最終確認	60分
11回 高橋	後期課題の講評と卒業制作への心構え	予習：卒制に向けての構想を練る	60分
12回 高橋	卒業制作への個人面談	予習：コンセプトの確認	60分
13回 高橋	卒業制作への個人面談	予習：コンセプトの確認	60分
14回 高橋	卒業制作への個人面談	予習：コンセプトの確認	60分
15回 高橋	卒業制作への個人面談	予習：デザインの確認	60分

ファッションプロダクトデザインゼミ

肉丸 美香子、高橋 大夢

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 前期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

産学協同プロジェクトを通し、製品化を目指しデザインを行う。商品開発・製品化・商品販売などの各領域に携わる専門家との交流の場を充実させる。連携している企業に向けてのプレゼンテーションの体験。実社会に於けるプレゼン能力の重要性をより深く理解出来るのではないかと考えられる。リサーチに基づく資料の充実、デザイン案を正確に伝えるデザイン画、試作モデルの完成度のアップなどいずれもプレゼンには欠くことのできない力である。又、ディスカッションを重ねることにより、商品開発に関わる市場調査の役割、市場においてのデザインとマーチャンダイジングの関係をより現実的なこととし捉える訓練にも繋がる。

到達目標 (学修成果)

大手ファッションブランドから、アパレル関連企業に至るまでファッション雑貨を扱う企業において、極めて重要である企画力、商品開発力、制作に関する様々な知識を身につけることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。

ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。

ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

適宜プリントを配布

参考文献

適宜紹介

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日11:00～12:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室 (第三校舎4階 3409)

備考

担当教員は肉丸、高橋である。

授業の中で東京レザーフェア、YKKファスニングアワード、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会やコンテストの紹介をする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 肉丸	ガイダンス (産学共同プロジェクト) グループ制作 ・授業計画・ファッションプロダクト デザインゼミの概要	予習：シラバスを理解する。 (復習) 産学共同プロジェクト	60分
2回 肉丸	「注染による手ぬぐいのデザイン」 テーマ、コンセプト立案、市場リサーチ グループ面談	予習：テーマ、コンセプトを考える、マーケットリサーチを行う	60分
3回 肉丸	テーマ、コンセプト立案、市場リサーチ グループ面談	予習：テーマ、コンセプトを考える、マーケットリサーチを行う	60分
4回 高橋	プレゼンテーション テーマ、コンセプトについて	予習：プレゼンテーションの準備、パワーポイントで作成	60分
5回 高橋	テーマ、コンセプトに基づいてデザイン考案 グループ面談	予習：デザイン考案を行う	60分
6回 高橋	テーマ、コンセプトに基づいてデザイン考案 グループ面談	予習：デザイン考案を行う	60分
7回 肉丸	テーマ、コンセプトに基づいてデザイン考案 グループ面談	予習：デザイン考案を行う	60分
8回 肉丸	プレゼンテーション デザイン案(10点)	予習：プレゼンテーションの準備、パワーポイントで作成	60分
9回 肉丸	デザイン修正、アイテム考案 (バッグ、帽子) グループ面談	予習：アイテムのリサーチ、デザイン修正を行う	60分
10回 高橋	デザイン修正、アイテム考案 (バッグ、帽子) グループ面談	予習：アイテムのリサーチ、デザイン修正を行う	60分
11回 高橋	プレゼンテーション アイテムについてのプレゼンテーション	予習：プレゼンテーションの準備、パワーポイントで作成	60分
12回 高橋	デザイン修正、紙モックアップ (プロトタイプ) の制作 (バッグ、帽子) グループ面談	予習：紙モックの準備、デザイン修正を行う	60分
13回 肉丸	デザイン修正、紙モックアップ (プロトタイプ) の制作 (バッグ、帽子) グループ面談	予習：デザイン修正を行う	60分
14回 肉丸	最終プレゼンテーション 外部評価員による講評	予習：プレゼンテーションの準備	60分
15回 肉丸	最終プレゼンテーションにおけるフィードバック	復習：修正・確認	60分

マテリアル実習 (金属)

桐山 征士

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 前期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

金属を用いたアクセサリーをデザインし、制作する。ただし、金属を加工してアクセサリーをつくるのが目的ではない。「思考の密度を上げる」、「独自の視点とその体現」、デザインのプロセスの理解とコンセプトの構築法の学習が目的である。かっこいい(かわいい)カタチを考えるのがデザイン行為ではない。コンセプトとカタチが合致する根拠を導き出すトレーニングを行う。その思考プロセスをプレゼンテーションできるように、随時ディスカッションのトレーニングを行う。技術は重要ではない。技術は後からついてくるものだ。それが造形的な思考である。足りない技術は教員がカバーする。

到達目標(学修成果)

デザインの思考(「思考の密度」を上げる・「独自の視点とその体現」)を育てる。コンセプトから素材・カタチの根拠を導き、造形する能力を身に付ける。

デザイン(コンセプト・カタチ・素材etc)には根拠が必要であるという意識が身に付く。そのための情報収集や分析、プレゼンテーション能力が養える。A1では身につかない、デザインの本質を体験する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業外でも随時相談に乗る。3003工芸室を開放する。制作補助も行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

3003工芸室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
2回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
3回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
4回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
5回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
6回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
7回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
12回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
13回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
14回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
15回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分

マテリアル実習 (金属)

桐山 征士

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 前期 必修 (1単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分
17回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分
18回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
19回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
20回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
21回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
22回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
23回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
24回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
25回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
26回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
27回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して 3003で制作 コンセプトの確認	30分
28回 桐山	制作 色上げ	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	30分
29回 桐山	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	30分
30回 桐山	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	30分

マテリアル実習 (金属)

桐山 征士

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

金属を用いたアクセサリーをデザインし、制作する。ただし、金属を加工してアクセサリーをつくるのが目的ではない。「思考の密度を上げる」、「独自の視点とその体現」、デザインのプロセスの理解とコンセプトの構築法の学習が目的である。かっこいい(かわいい)カタチを考えるのがデザイン行為ではない。コンセプトとカタチが合致する根拠を導き出すトレーニングを行う。その思考プロセスをプレゼンテーションできるように、随時ディスカッションのトレーニングを行う。技術は重要ではない。技術は後からついてくるものだ。それが造形的な思考である。足りない技術は教員がカバーする。

到達目標 (学修成果)

デザインの思考(「思考の密度」を上げる・「独自の視点とその体現」)を育てる。コンセプトから素材・カタチの根拠を導き、造形する能力を身に付ける。

デザイン(コンセプト・カタチ・素材etc)には根拠が必要であるという意識が身に付く。そのための情報収集や分析、プレゼンテーション能力が養える。A1では身につかない、デザインの本質を体験する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業外でも随時相談に乗る。3003工芸室を開放する。制作補助も行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

無し

参考文献

無し

オフィスアワー・研究室

3003工芸室

備考

3コマ 15回の授業。

初回から10回までの授業はPC教室にて。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
2回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
3回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
4回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
5回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
6回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
7回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
12回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
13回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
14回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
15回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分

マテリアル実習 (金属)

桐山 征士

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分
17回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分
18回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
19回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
20回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
21回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
22回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
23回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
24回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
25回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
26回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
27回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
28回 桐山	制作 色上げ	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	30分
29回 桐山	制作 色上げ	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	30分
30回 桐山	制作 色上げ	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	30分

プロダクトデザイン演習

大塚 武司

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコース専門課程につながるデザイン基礎科目です。プロダクトデザイン演習を下地として、立体デザイン作品の制作演習を行います。この授業では企業でのプロダクトデザイン、商品企画、店頭展示企画、自身の作品制作・発表などの業務実績のある担当教員の経験を活かし、デザインの方法（発想・展開・定着・表現・伝達）を演習を通じて習得し、必要に応じて講義を行います。

到達目標（学修成果）

学生はプロダクトデザイン演習から通じ、この科目を履修し目標を達成することにより、発想の柔軟性、オリジナル性高いデザイン力を身に付けることができ、プレゼンテーション力、コミュニケーション力も鍛えられ、プロダクトデザインにおいて必要な知識が身につきます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目です。プロダクトデザインコースの必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題ごとに作品を採点・講評会を実施。

講評会にて各自のコンセプトを発表してもらい学生間でディスカッション、講師のコメントをフィードバックします。

授業時間外の質問は、Eメールにて受け付けます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布

参考文献

適宜紹介

オフィスアワー・研究室

授業前後は3 4 1 3または講師控室。それ以外は教務課まで連絡してください。

備考

制作に必要な画材、制作用具、筆記用具などはガイダンスにて指示しますので、各自で準備してください。

進捗により課題内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大塚	授業ガイダンス。デザイン実践プログラム - パッケージデザイン。考察と基礎演習。	予習：本授業内容の確認 復習：パッケージデザインのための資料準備	30分
2回 大塚	デザイン実践プログラム - アイデア検討。この授業はデジタルデザインワークとの授業間連携があります。	予習：オリジナルデザイン展開の予習 復習：パッケージデザインについての再考	30分
3回 大塚	デザイン実践プログラム - 試作模型を作成しそれをもとに手書きの展開図を作成。デジタル化（授業間連携）	予習：試作するデザインの確定 復習：データ化のための準備	60分
4回 大塚	デザイン実践プログラム - デジタル化された展開図の組み立て。ブラッシュアップ。	予習：データ化についての問題点の考察 復習：制作作品についての再考	60分
5回 大塚	デザイン実践プログラム - 作品提出。教員による講評。 デザイン実践プログラム - パッケージのパリエーション	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
6回 大塚	デザイン実践プログラム - 作品の提出。プレゼンテーションとディスカッション。教員による講評。商標に関する講義	予習：形のパリエーションについての考察 復習：講評内容・商標についての再考	30分
7回 大塚	デザイン実践プログラム - 装着可能なオリジナルな眼鏡のデザイン。アイデア検討。	予習：制作中のアイデアの見直し 復習：制作作品の構造とデザインの確認	60分
8回 大塚	デザイン実践プログラム - 装着可能な構造を考慮した実物大模型の作成。装着イメージの撮影。	予習：撮影イメージの検討 復習：制作作品についての再考	30分
9回 大塚	デザイン実践プログラム - 作品の提出。プレゼンテーションとディスカッション。教員による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
10回 大塚	デザイン実践プログラム - パーツ量産の学習。UVレジンを用いたペンダントヘッドの原型作成。金型についての講義。	予習：課題内容の確認 復習：講義についての再考	30分
11回 大塚	デザイン実践プログラム - ペンダントヘッドの型取り。UVレジンの流し込みによる量産。仕上げ。	予習：作品アイデアの再考 復習：制作作品の構造とデザインの確認	60分
12回 大塚	デザイン実践プログラム - 作品の提出。プレゼンテーションとディスカッション。教員による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
13回 大塚	デザイン総括プログラム 水粘土を用いたオリジナルの立体造形物の制作。	予習：課題内容の確認 復習：制作作品のデザインの確認	30分
14回 大塚	デザイン総括プログラム 中間チェックとブラッシュアップ。	予習：制作中の作品のブラッシュアップ 復習：制作作品について再考	30分
15回 大塚	デザイン総括プログラム 作品提出とプレゼン。講評。 プロダクトデザイン演習の総評。	復習：講評内容の復習と、今期提出作品の振り返り。今後の活かし方の考察を行う。	30分

デジタルデザインワーク

高橋 大夢

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 3年 前期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

クリエイターとしての自己表現ツールとして、最も活用されているデザインソフト「イラストレーター」「フォトショップ」を使用し、エディトリアルスキル及びデザイン感覚を高める。

3年の授業では2年生時に1年間学んだスキルを活かした「自由な発想で個性を出す作品制作」を目指します。

到達目標(学修成果)

イラストレーター及びフォトショップを使用した個々の作品に対するプレゼンテーション表現スキルを体得し、自己のプロダクト作品にデジタルデザインを活かす能力を身につけることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門教育課程に於いて、ファッションプロダクトデザインコースの、専門必修科目です。卒業要件科目です。作品制作の科目に関連します。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

常時質問を受け付けし、課題提出後にコメントをする。15回目に課題作品に対する講評を行い、返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じてプリント配布

参考文献

適宜紹介する

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00～14:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第3校舎4階 3409)

備考

特殊機械やデジタルデザイン工房について紹介する

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	授業ガイダンス、前期課題の説明。 イラストレーター、フォトショップ練習課題の制作	予習：DDW2で行ったPCスキルの確認。	30分
2回 高橋	デザイン画 ペンツールを使用し、トレース 個人面談(ディスカッション)	予習：レイアウトを考えておく。	60分
3回 高橋	デザイン画 フォトショップを使用し、色付け、陰影付け 個人面談(ディスカッション)	予習：遅れている作業を進めておく。	60分
4回 高橋	プロダクトデザイン演習 との合同授業(立体フォルムとグラフィックデザインの関連性を追求する授業) 個人面談	予習：プロダクトデザイン演習 での制作物を持ってくる。	60分
5回 高橋	プロダクトデザイン演習 との合同授業(立体フォルムとグラフィックデザインの関連性を追求する授業) 個人面談	予習：遅れている作業を進めておく。	60分
6回 高橋	ポスターデザイン 入稿用データの制作課題、各フォーマットサイズでのレイアウト制作 個人面談	予習・復習：ポスターデザインを考えておく。	60分
7回 高橋	ポスターデザイン 写真とロゴの組み合わせ 個人面談(ディスカッション)	予習・復習：遅れている作業を進めておく。	60分
8回 高橋	レイアウト ラフデザイン、グリッドシステムを応用しアナログでラフ制作 個人面談(ディスカッション)	復習：遅れている作業を進めておく。	60分
9回 高橋	レイアウト グリッドシステムでのデータ制作 個人面談(ディスカッション)	復習：遅れている作業を進めておく。	60分
10回 高橋	レイアウト グリッドシステムでのデータ制作、完成 個人面談(ディスカッション)	復習：遅れている作業を進めておく。	60分
11回 高橋	シルクスクリーンプリントデザイン リサーチ、サンプル制作 個人面談(ディスカッション)	予習：シルクスクリーンとはどのような事かを予習しておく。	60分
12回 高橋	シルクスクリーンプリントデザイン リサーチ、サンプル制作 個人面談(ディスカッション)	予習・復習：遅れている作業を進めておく。	60分
13回 高橋	シルクスクリーンプリントデザイン データ提出 個人面談(ディスカッション)	予習・復習：遅れている作業を進めておく。	60分
14回 高橋	シルクスクリーンプリントデザイン プリント実習	予習：プリントする対象のものを準備する。	60分
15回 高橋	レイアウト (シルクスクリーン作品における内容でのレイアウト)個人面談(ディスカッション)	予習：シルクスクリーン作品を記録しておく	60分

ブランド・マネジメント論

鈴木 康久

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 3年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

生活の中に溶け込むブランドとその機能やブランドを通じた戦略やファッション・ローなど多面的に学習していきます。本科目はコース専門課程科目であり「産学連携プロジェクト」で取組むブランド創造のフローを理解する相互補完関係にある科目です。特にファッションビジネスを基軸としたブランド戦略に対する総合的な理解浸透を目指しています。毎回グループワークやディベート、プレゼン等のアクティブラーニングの時間を設け、体験的な学習アプローチにより実践的な学習を目指しています。一部、企業に就く実務者を招聘し、現場感と臨場感のある授業運営を実施します。

到達目標（学修成果）

- ・現代的なブランド戦略の体系的な学習を通じて実践的な知識習得及び戦略立案が出来るようになります。
- ・アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。
- ・コンプライアンスが重視される社会環境下でブランドに関連する法律（ファッション・ロー）について知識習得が行えます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

- ・本科目は担当教員の長年の実務経験や知見（戦略立案・ストアプラン・アパレル協業）を活かした授業運営を行っています。
- ・この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回提示される課題の次回授業時に行う回答と考え方のレクチャーを通じて学習状況の確認を随時行っていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定教科書は無く、毎回、学習資料を配布します。

授業形態は主に、配布資料を基にパワーポイントで解説、個人ワーク、グループワーク、プレゼンとなります。

参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

授業時間前後 1 時間 3402教室

備考

- ・毎回、配布する学習資料を持参してください。
- ・授業の進行状況や一部ゲスト講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	現代のブランド新概念 生活の中のブランド、デジタル時代のブランド	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 鈴木	ブランドとマーケティング ブランディング、カスタマージャーニー	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
3回 鈴木	ブランドとマーケティング エクイティ、ロイヤリティ、地域ブランド	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
4回 鈴木	ブランド戦略 インサイト、ターゲット、顧客との関係性	予習：ターゲット調査の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	40分
5回 鈴木	ブランド戦略 エビデンス、ブランドアイデンティティ	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
6回 鈴木	PBとNBの研究 PB、NB、ダブルブランド、差別化戦略	予習：PB、NBの事前調査を指示 復習：配布資料の振り返り	40分
7回 鈴木	デジタル時代のブランド戦略 아이폰、SNS、メディア	予習：デジタル時代のブランド調査 復習：配布資料の振り返り	40分
8回 鈴木	ブランド・マネジメント 4Pから4C、競争優位の原理	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
9回 鈴木	ブランド・マネジメント リブランディング、リポジショニング	予習：リブランディング事例調査 復習：配布資料の振り返り	40分
10回 鈴木	新ブランド創造 新ブランド創造	予習：新ブランド創造のアイデア考察 復習：配布資料の振り返り	40分
11回 鈴木	新ブランド創造 ケーススタディ	予習：新ブランド計画を考察 復習：配布資料の振り返り	40分
12回 鈴木	ブランドと法律 商標登録、意匠権、ブランド訴訟事例研究など	予習：訴訟事例について事前学習 復習：配布資料の振り返り	40分
13回 鈴木	ケーススタディ ラグジュアリーブランド・グループ企業戦略	予習：ブランド調査の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	40分
14回 鈴木	ケーススタディ ブランド研究、新ブランド創造	予習：新ブランド計画の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	60分
15回 鈴木	学習成果の発表、総合的なまとめ、全体振り返り	予習：新ブランド計画の発表準備 復習：全体の配布資料の総合振り返り	60分

トレンド分析とディレクション制作

鈴木 康久

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本科目は毎季登場するファッショントレンドの分析手法やMDディレクション計画の制作スキームを通して戦略的なマーチャンダイジングを実践的に学習します。授業運営については専門課程としての講義以外にもグループワークやプレゼン等アクティブラーニングを取り入れながらシーズン毎に創出されるトレンドを多角的に議論及び考察していく事で学習の深化をはかります。担当教員の長年の実務専門分野（ファッショントレンド分析及び実行計画となるディレクション制作を担った実務経験）を活かした授業内容及び運営となります。また業界で活躍する実務経験者を数回招聘し、専門的、実践的な学習を進めて行きます。

到達目標（学修成果）

- ・情報化社会の中でファッションビジネスに必要な情報へのアクセス手法を体系的に学習・知識を修得できます。
- ・トレンド情報、マーケット情報の分析手法・ポイントを実践的に学習する事により分析能力が向上でき、またバイヤー・MDディレクションプランとなるMDディレクションの制作手法や意義を学習する事でマーチャンダイジングの理解が深まります。
- ・アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

- ・この科目は卒業要件科目で、ビジネス系コースの選択必修科目です。また他コースの選択科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回提示される課題の次回授業時に行う回答と考え方のレクチャーを通じて学習状況の確認を随時行っていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定教科書無し、毎回、学習資料を配布します。一部、実務に就くゲスト講師を迎え、臨場感のある授業運営を実施します。授業形態は、配布資料を基にパワーポイントで解説、個人ワーク、グループワークとなります。

参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

授業前後 1時間 3402教室

備考

- ・シーズン毎に変化・変容していくファッショントレンドを的確に捉え、その傾向を分析し、アクションプランとなるMD計画に落とし込んでいく流れを学習していきます。
- ・授業の進行状況や招聘する外部講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション マーチャンダイジングの基本、顧客分類と戦略	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 鈴木	ファッションマーケットの把握 トレンドの位置付けとシーズンの流れを理解し、情報とMDディレクションの関係性	予習：該当シーズンのトレンドを調査 復習：配布資料の振り返り	40分
3回 鈴木	ファッションマーケットの把握 生活者変化、市場構造変化を捉える 国内外ランウェイからトレンド分析	予習：コレクション分析の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	40分
4回 鈴木	ファッショントレンドからMD計画へ トレンド分析ポイントの学習、MD計画への応用	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
5回 鈴木	ファッショントレンドからMD計画へ トレンド研究、個別演習・グループ演習	予習：個別演習に向けた課題を指示 復習：演習内容の振り返り	30分
6回 鈴木	ファッショントレンドからMD計画へ 情報収集のポイント	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
7回 鈴木	MDディレクション制作 マーケットトレンド編	予習：社会的命題について事前調査 復習：配布資料の振り返り	40分
8回 鈴木	MDディレクション制作 カラートレンド編	予習：店頭からカラートレンドの調査 復習：配布資料の振り返り	40分
9回 鈴木	MDディレクション制作 テキスタイルトレンド編	予習：店頭からテキスタイルトレンド調査 復習：配布資料の振り返り	40分
10回 鈴木	MDディレクション制作 テーマ編、スタイリング編	予習：店頭からスタイルトレンド調査 復習：配布資料の振り返り	40分
11回 鈴木	MDディレクション制作 キーアイテム編、横串MD、プロモーション計画	予習：店頭からキーアイテム調査 復習：配布資料の振り返り	40分
12回 鈴木	MD戦略 広告戦略、情報発信、販促手法 戦略的な商品展開計画、個別演習・グループ演習	予習：SNSからトレンド調査の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	40分
13回 鈴木	MD戦略 ウィークリーMD、マンスリーMD、シーズンモチベーション	予習：歳時記の調査の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	40分
14回 鈴木	MD戦略 プロモーション計画、個別演習・グループ演習	予習：個別演習に向けた課題を指示 復習：演習内容の振り返り	40分
15回 鈴木	現代トレンド考察 個別演習・グループ演習、総合的なまとめと振り返り	予習：個別演習に向けた課題を指示 復習：全体の振り返り	40分

P.R.マネジメント論

山田 晶子

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 3年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、P.R. (Public Relations) 業務が、単に媒体掲載を推進・実施する業務ではなく、ファッションビジネスにおける、ブランド伸長・拡大や顧客満足創造への重要な役割と捉え、P.R.マネジメントの成り立ちからファッションビジネス・マネジメントの一業務として、社会潮流との関係性や手法の有効性に焦点を当てて学びます。担当講師の実務経験や知見を活かした時代性ある事例提供と、実感値の醸成を主眼とした、アクティブラーニングによる授業運営を実施します。さらに、現役P.R.担当責任者を外部講師として招聘し、実践的習得のフォローも行なっていきます。

到達目標(学修成果)

本授業を履修し、学修の目標を達成できた結果として、企業やブランドイメージを向上させ、ブランドや商品の魅力を生活者に届け、顧客満足創造の結果としての売上伸長へ繋げる、P.R.業務の考え方、着眼点、実施手法が修得できます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目であり、ファッションビジネス・マネジメントコースのディプロマポリシーに即した必修専門科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

プレゼンテーション(演習発表)と、レポート実施(期中・期末)に関して、第7回(期中)、第15回(期末)にて、確認と講評を行ないます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

指定教科書はなし。毎回、学習資料を配布します。

参考文献

授業時に、適宜紹介します。

オフィスアワー・研究室

授業終了後・開講教室もしくはファッションビジネスマネジメント研究室(第3校舎4階)。

備考

毎回、配布する学習資料を持参してください。

授業の進行状況やゲスト講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

出席を重視します。毎回の積み重ねが、学修成果に繋がります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 山田	「イントロダクション」 ファッションビジネスにおけるP.R.業務とは	予習: 学習内容の確認 復習: 配布資料の振り返り	30分
2回 山田	「ブランド～顧客～メディアの関係性」 P.R.業務の(Public Relations)の定義と種類	予習: メディア特性とターゲット、その手法 に関してを学習	30分
3回 山田	「P.R.業務とメディアの歴史と歩み」 社会潮流と国内外の足跡を資料により共有。成り立ちの掌握	復習: 社会潮流とメディアの歩みを掌握	30分
4回 山田	「情報収集とP.R.マネジメント」 <事例研究>直近のP.R.手法	予習: テクノロジーの進化、生活者の日常の 変化に関して学習	30分
5回 山田	実習「レポート作成」演習へのベースを整理確認するため、 テーマに沿って着眼点の整理	予習: 演習へのベースとしての内容整理確認	50分
6回 山田	「P.R.マネジメントにおける時代性」 ゲスト講師による事例研究と現場への質問	予習: 外部講師の企業研究・質問整理 復習: 外部講師の事例整理と確認	40分
7回 山田	「P.R.マネジメントにおける時代性②」第5回フィード バック、持続可能と企業のミッションの事例共有	予習: 社会潮流における持続可能と企業のミ ッションを確認	30分
8回 山田	P.R.マネジメント演習(1) テーマブランドのP.R.活動 グループワーク「社会潮流共有～ブランド&商品情報収集」	復習: 演習へのベース確認と内容整理	30分
9回 山田	P.R.マネジメント演習(2) テーマブランドのP.R.活動 Gワーク「マーケティング～ターゲット分析顧客情報収集」	予習: テーマブランドの周辺情報収集と進め 方確認	30分
10回 山田	P.R.マネジメント演習(3) テーマブランドのP.R.活動 Gワーク「媒体選定・プランニング・スケジュール管理」	予習: 媒体選定、手法案と進め方確認	30分
11回 山田	P.R.マネジメント演習(4) テーマブランドのP.R.活動 Gワーク「媒体選定・プランニング・スケジュール管理②」	予習: 全体観およびスケジュール策定と進め 方確認	30分
12回 山田	P.R.マネジメント演習(5) テーマブランドのP.R.活動 Gワーク「SDGsと企業のミッションの関係性」	予習: プレゼンテーション準備	60分
13回 山田	P.R.マネジメント発表(1) プレゼンテーション第1回 発表～生活者視点で他グループ内容に関するレポート作成	予習: プレゼンテーション準備 復習: 他グループの内容確認	60分
14回 山田	P.R.マネジメント発表(2) プレゼンテーション第2回 発表～生活者視点で他グループ内容に関するレポート作成	予習: プレゼンテーション準備 復習: 他グループの内容確認	60分
15回 山田	P.R.マネジメント発表(3) プレゼンテーション第3回 発表～プレゼンテーション内容のフィードバック	復習: 全体とポイントの整理	30分

新製品（商品）開発論

松澤 宏、鈴木 康久

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 3年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションを中心とした新商品開発のスキームをビジネス現場の実践的なポイントを基に体系的に学習していきます。本科目はコース基幹科目の「産学連携プロジェクト」で取組む商品企画のフローを理解する相互補完関係となる科目です。学習範囲はファッション衣料だけではなく、ファッション領域にあるライフスタイル雑貨や生活関連の商品類等広範囲についても学習していきます。課題に対して数回のグループワークやディベート、プレゼン等のアクティブラーニングの時間を設け、体験的な学習アプローチにより実践的な学習を目指しています。

到達目標（学修成果）

- ・現代的な商品企画の体系的な学習を通じて実践的な関連知識習得及び企画立案が出来るようになります。
- ・アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。
- ・環境問題等の社会的命題とアパレル製品開発の関連性に対する知識習得が行えます。
- ・本科目ではファッションビジネスを基軸とした商品企画や商品戦略に対する総合的な理解浸透を目指していきます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

- ・本科目は担当教員の実務経験や知見（商品戦略立案・商品企画・アパレル協業）を活かした授業運営を行っています。
- ・この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・グループワーク・ディスカッション、ショートスピーチへの講評および、提出した企画発表へフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じて学習資料を配布します。

参考文献

適宜紹介して参ります。

オフィスアワー・研究室

授業前後1時間 第三校舎3402教室

備考

本科目は現代社会が希求する社会的命題に対する解決策を勘案した商品企画についても学習していきます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション/今後の授業の流れ/授業の進行・成績評価方法/ファッション業界の変化/サプライチェーン	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 鈴木	商品企画について 良い商品とは何か 商品が店頭に並ぶまで	予習：次回の課題指示 復習：配布資料の振り返り	30分
3回 鈴木	社会的命題と商品開発の関係性 グループワーク・ディスカッション<ショートスピーチ>	予習：次回の課題指示 復習：配布資料の振り返り	30分
4回 松澤	商品へのこだわり <アパレル衣料>	予習：スケジュールの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
5回 松澤	商品へのこだわり <雑貨類>	予習：次回の課題指示 復習：配布資料の振り返り	30分
6回 松澤	商品へのこだわり <食・住>	予習：次回の課題指示 復習：配布資料の振り返り	30分
7回 松澤	モノづくりを考える 背景を考える 製品開発をグループワーク・ディスカッション	予習：グループワーク準備 復習：グループワークの振り返り	40分
8回 松澤	モノづくりを考える 背景を考える 製品開発をグループワーク・プレゼン	予習：グループワーク準備 復習：グループワークの振り返り	40分
9回 松澤	商品企画の実践編 ファッション業界の今 ライフスタイルの中で「衣」を考える	予習：次回の課題指示 復習：配布資料の振り返り	30分
10回 松澤	商品企画の実践編 デジタルと製品の関係性	予習：次回の課題指示 復習：配布資料の振り返り	30分
11回 松澤	商品企画の実践編 地球環境と製品の関係性	予習：次回の課題指示 復習：配布資料の振り返り	30分
12回 松澤	製品を伝える力 売る事、宣伝する事 価値を伝える事の意義	予習：次回の課題指示 復習：配布資料の振り返り	30分
13回 松澤	個人ワーク <商品計画実践 > 商品企画創造・個人ワーク・プレゼン	予習：企画制作準備 復習：個人ワーク	60分
14回 松澤	個人ワーク <商品計画実践 > 商品企画創造・個人ワーク・プレゼン	予習：企画制作準備 復習：個人ワーク	60分
15回 鈴木/松	総合的なまとめ、学習成果の発表、個人ワーク発表 ファッション業界の商品開発の今後について	予習：プレゼン準備 復習：総合的な振り返り	60分

生産管理論

大極 勝

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 3年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

私たちの生活環境はあらゆるものであふれています。着るものだけでも数々のアイテムで囲まれ、さらにそれらは数々の工場で行くつもの製造工程を経て私たちにもとへ届きます。その複雑な過程には経営・販売計画から生産計画、調達・購買計画をもとに需要と供給のバランスを最適化しながら、適切な製造コントロールが要求されます。他業界の生産管理を学び、比較しながら、ファッション業界の利益確保の課題を理解する授業です。

到達目標(学修成果)

国内と世界の工場間の競争激化の現状をはじめ、IoTやAIを駆使した21世紀の新しい生産管理論について、その現場感を理解していきます。今後さらにファッションビジネス戦略上の全ての基盤となる生産管理を認識することができるようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目であり、また卒業要件科目でもあります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目になります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

各回講義内で課題設定をして、次回の講義で評価、考え方等を発表します。期末にまとめ試験を実施。後日キャンパスマジックにて総評等をフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

各回とも、当日使用資料、関連情報等を授業前後に資料として配布。またはキャンパスマジックにてデータ配信します。

参考文献

授業時間に指示します。

オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・マネジメントコース〔3402教室〕または講師控室にて授業前30分程度待機しています。

備考

全15回とも、授業用レジュメ・課題等を配布またはキャンパスマジックにて配信します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大極	生産管理とはなにか? 生産管理全般について理解する	復習:キャンパスマジック(以下CM)にて生産管理の全容レジュメを配信	30分
2回 大極	生産計画、購買計画、調達計画を理解する QCD向上とPDCAサイクルの関係性を理解する	復習:CMにて各計画の重要性を理解	30分
3回 大極	「基本機能」設計管理、資材購買管理、作業管理を理解する	復習:CMにて実務例を理解	30分
4回 大極	「構成要素」作業管理、在庫管理、設備管理を理解する	復習:CMにて生産管理の実行の困難さを理解	30分
5回 大極	外注管理と生産形態3分類を理解する	復習:CMにて実務例を理解	30分
6回 大極	製番管理とMRPのメリット・デメリットを理解する	復習:CMにて実務例を理解	30分
7回 大極	トヨタ生産方式:「カンバン方式」を理解する	復習:CMにて実務例を理解	30分
8回 大極	トヨタ生産方式:「JIT」と「自働化」を理解する	復習:CMにて実務例を理解	30分
9回 大極	多品種少量生産と少品種多量生産を理解する トレーサビリティ管理の理解	復習:CMにて実務例を理解	30分
10回 大極	生産管理で業績UPする手法を理解する	復習:CMにて実務例を理解	30分
11回 大極	JIS規格、GB基準、OEKO-TEX基準 ISO9000シリーズ、ISO14000シリーズを理解する	復習:CMにて各基準の違いを理解	30分
12回 大極	アパレル生産管理を理解する	復習:CMにて実務例を理解	30分
13回 大極	アパレル生産管理を理解する	復習:CMにて実務例を理解	30分
14回 大極	アパレル生産管理を理解する グローバルブランド・ユニクロの生産管理を理解	復習:CMにてグローバルブランド実務例を理解	30分
15回 大極	授業内容の総合的な「まとめ」としてペーパー試験実施 自身の理解度を確認する	復習:「生産管理」=「人」対「ひと」であることを理解	60分

バイヤーの実践学

鈴木 康久

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 3年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本科目はファッションビジネスをバイヤー視点及びマーチャンドライザー視点で捉え、バイニングの基礎的な知識から戦略的なバイヤースキルまでの広範な分野を体系的に学習する事でマーチャンドライジングの総合的な理解を深めていきます。授業運営については専門課程としての講義以外にグループワークやディベート等アクティブラーニングを取り入れます。担当教員の長年の実務専門分野(バイヤー、国内外買付け、ストアプラン策定、MD計画策定等の実務経験)であり、また業界で活躍するMD関連の実務経験者を数回招聘し、それらの知見を活かした専門的、実践的な学習を進めて行きます。

到達目標(学修成果)

- 科学的なアプローチによりバイヤーの理解を深める事で現代的なプロフェッショナル・バイニングスキルを修得できます。
- 現代のバイヤーの実務は広範に渡ります。それらの広範な知識や業務遂行時のテクニカルポイントを修得できます。
- バイヤーを基点としたMD計数や仕入計画など、マーチャンドライジングを体系的に捉えていく事により専門性の高い学習効果を得られ、アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。また、他コースの選択科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

- 毎回提示される課題の次回授業時に行う回答と考え方のレクチャーを通じて学習状況の確認を随時行っています。
- 発注演習やMD計数計算など演習形式の要素も取り入れた多角的な学習アプローチを行い理解の深化をはかります。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定教科書無し、毎回、学習資料を配布します。一部、実務に就くゲスト講師を迎え、臨場感のある授業運営を実施します。授業形態は、配布資料を基にパワーポイントで解説、個人ワーク、グループワークとなります。

参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。またMD計算や発注演習時に電卓が必要です

オフィスアワー・研究室

授業前後 1時間 3402教室

授業の進行状況や招聘する外部講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

備考

バイヤーに求められる仕入計画や展開計画のフロー、トレンドや市場変化等の各種情報収集、MD計数を捉えたプロフェッショナル・バイニングスキル、マーケティングで注目されるRMF分析やリモデル計画やそれらの実践編等、広範に渡る現代のバイニングについて科学的なアプローチで理解を深めていきます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	バイヤーの基本概念 バイヤーの役割と責任、現代のバイヤーの分類	予習: シラバスの確認 復習: 配布資料の振り返り	30分
2回 鈴木	バイニングの基本 ファッションマーケットの把握、ディレクションから仮説作り	予習: 現代の市場注目点考察の課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
3回 鈴木	バイニングの基本 マーチャンドライジング、商品分類	予習: 商品分類の考察課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
4回 鈴木	バイヤーのMD計数 商品サイクル、仕入形態、プライスMD	予習: 次回の課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
5回 鈴木	バイヤーのMD計数 SSP、在庫計数、季節指数、仕入計画表	予習: 季節関連の事前調査の課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
6回 鈴木	バイヤーのMD戦略 クラスター・RMF分析、顧客分類	予習: 顧客分類に関する課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
7回 鈴木	バイヤーのMD戦略 発注演習、ポイント解説・理解	予習: 次回の課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
8回 鈴木	バイヤーのMD戦略 売場展開プラン、ブロックアウトプラン、売場展開計画	予習: 店舗調査、ゾーニング調査課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
9回 鈴木	プロフェッショナル・スキル 海外から仕入れ(海外買付)、売価設定、業務フロー	予習: インポートブランド調査課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
10回 鈴木	プロフェッショナル・スキル VMDコントロール、ウオントスリップ	予習: VMD調査の課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
11回 鈴木	プロフェッショナル・スキル MD関連の法律(下請法、製造物責任法、不当表示防止法など)	予習: ファッションローの事前課題を提示 復習: 配布資料の振り返り	30分
12回 鈴木	リモデル計画・ストアプラン バイヤーの広告媒体戦略	予習: SNSにおける広告課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
13回 鈴木	リモデル計画・ストアプラン リモデル計画、ストアプラン策定、トラフィックプラン	予習: 店舗調査・まとめ課題を指示 復習: 配布資料の振り返り	30分
14回 鈴木	リモデル計画・ストアプラン リモデル計画演習、ポイント解説・理解	予習: 企画・発表準備 復習: 配布資料の振り返り	30分
15回 鈴木	現代のバイヤーとこれからのバイヤー考察 個別演習・グループ演習、全体振り返り	予習: 次回の課題を指示 復習: 全体的な配布資料の振り返り	30分

リテールマーチャンダイジング

松澤 宏

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース

3年

前期

必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

- ・全てのリテールビジネスの基本であるマーチャンダイジングの概要理解を軸に、担当講師自身の27年の百貨店実務と商社勤務5年での経験に基づく知見を活かし具体例に触れながら、「販売計画」を構成する要素を体系的に学びます。
- ・通して受講することで、自身が考えるショップコンセプトや品揃え、ビジネスとしての捉え方を具体的にイメージ出来るようになり、様々な切り口からリテールビジネスの企画立案・計画実務に活かすことが出来るようになります。

到達目標(学修成果)

- ・リテールビジネスの基礎を習得し、あらゆる職種で自主的なショップ計画が出来る体系的な理解を目指す。
- ・マーチャンダイジング基礎理論の習得と、自身の自由な発想と独自性の発露。その双方をバランスよく学び、実践できるようになる「実学」を目指す。
- ・本科目ではグループワークを含むアクティブラーニングを実施する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、あらゆるファッションビジネスで活躍出来る専門力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で発する課題について作成いただいた成果物を、授業終了後提出していただき、希望者に返却いたします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

指定教科書無し。毎回学習資料を配布いたします。授業は講師作成のパワーポイント教材による講義と各種演習となります。

参考文献

無し

オフィスアワー・研究室

月曜日 午前中 第 校舎 階(教室)にて10:40~12:10まで

備考

無し

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 松澤	マーチャンダイジングとは ～リテールマーチャンダイジングの意味と目的	予習: シラバスの確認 復習: あなたがFBを通してやりたいこと	45分
2回 松澤	リテールの歴史とマーチャンダイジングの変遷 ～発展の歴史・市場を取り巻く環境変化・トレンドと未来	予習: マーケティングトレンドの想像 復習: 好きなファッションとその理由	30分
3回 松澤	グループディスカッション ～私の好きなお店・やってみたいお店・その理由	予習: 課題指示に従い事前構想記述 復習: 演習成果物の振り返り	75分
4回 松澤	グループ発表 ～私の好きなお店・やってみたいお店・その理由	予習: 発表内容の確認 復習: 演習成果物の振り返り	45分
5回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「誰に」 ～マーケティング戦略・顧客戦略・顧客分類・顧客満足	予習: 自分が狙いたい顧客像の想像 復習: 顧客設定項目の振り返り	45分
6回 松澤	顧客設定演習 ～ペルソナを決める	予習: 顧客設定項目の予習 復習: 演習の振り返り	30分
7回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「何を」 ～商品計画・商品分類と展開分類・商品量・価格	予習: 自分が商売したい商品の想像 復習: 基本設定項目の振り返り	45分
8回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「いつ」 ～期間区分・季節区分・シーズンMD計画	予習: 季節の区分を想像 復習: あなたが好きな季節とアイテム	30分
9回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どこで」 ～チャネル・立地・場所・「どこで」の変化	予習: 馴染みの街の立地特性を想像 復習: 出店したい場所の立地を想像	30分
10回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どのように-I」 ～購買意欲を高める場づくり・商空間特性・VMD	予習: 好きな店の空間特性を考察 復習: 作ってみたい商空間を想像	45分
11回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どのように-II」 ～購買意欲を高める仕掛け・販売促進・メディア	予習: 好きな店の仕掛けを考察 復習: あなたがやってみたい媒体戦略	45分
12回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「なぜ」 ～自分の店の存在意義とその理由・現状分析・理念	予習: 好きな店の理念を考察 復習: 自分自身の理念を考察	45分
13回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「販売サービス」 ～販売サービスの構成・販売管理・販売行動・しくみの変化	予習: 自分が印象に残る接客を考察 復習: 実践したい販売サービスを想像	30分
14回 松澤	ストアプラン演習-I ～私のマーチャンダイジングコンセプト計画(個人ワーク)	予習: 課題指示に従い課題の事前構想 復習: 演習成果物の振り返り	75分
15回 松澤	ストアプラン演習-II ～私のマーチャンダイジングコンセプト計画(発表)	予習: 課題の事前構想 復習: 将来の自身の仕事の具体的想像	75分

「産学連携」プロジェクト演習

鈴木 康久

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 3年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

本科目はファッションにおける実企業「産」と大学「学」による産学連携によるプロジェクト推進を通してビジネスの実践的な理解を深めていきます。前期の演習のプログラムでは、現代社会に存在する社会的命題への対応を勘案したバーチャルブランド創造という最終到達目標を目指します。企業データ等を活用し定量データから定性分析を行い、また連携先企業を交えたディベート、グループワーク、提案力のあるプレゼン等のアクティブラーニングを主体的に進めていきます。担当教員の長年の実務専門分野（市場分析、生活者変化予測、新生活創造、新規MD創造等）による実務経験や知見を活かした授業となります。

到達目標（学修成果）

・アパレル系企業「産」と大学「学」の連携を通じた実践的な企画創造力・ディベート力・コミュニケーション能力等の醸成が図れます。

- ・学生一人一人の「個」とチーム「組織」による関わりでチームワークで推進するミッション遂行力が向上出来ます。
- ・企画作りによる創造力や発想力、能動的に取り組む自主性や行動力、発表体験を通じ提案力やプレゼン力が向上出来ます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・中間発表・最終発表結果をフィードバック、あるいは個人面接を通じて組織内個人力など、総合確認を行っていきます。
- ・授業内では、市場研究、ブランドコンセプト策定、ターゲット戦略、商品構成、出店戦略など、実践的な計画立案のフレームワークを通じて学習していきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・指定教科書無し、毎回、学習資料を配布します。
- ・毎回配布する学習資料を持参してください。

参考文献

- ・授業に関連した参考文献を随時紹介します。
- ・毎回、配布する学習資料を持参してください。

オフィスアワー・研究室

- ・授業前後1時間第三校舎 3402教室
- ・授業の進行状況や連携先企業等の都合により、スケジュール及び授業内容が一部変更される場合があります。

備考

- ・運営については、学生一人一人の「個」の力とチームワーク「組織」によりプロジェクトを推進させていきます。
- ・様々な実データを活用し、定量データから定性分析を行い実社会との関連性の追求を目指して行きます。
- ・連携企業の現役実務者による講義やディベート等を通じて専門的かつ実践的な学習を追求しています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	産学連携オリエンテーション 過去から現在の産学連携、本年度概要確認、チーム編成	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 鈴木	産学連携プロジェクト連携企業研究 連携先企業概要について講義、企業訪問	予習：取組先の企業研究 復習：配布資料の振り返り	30分
3回 鈴木	流通市場全体について考察・研究 店舗環境・デジタル環境	予習：店舗視察及び個人の意見をまとめる 復習：課題の取組み、配布資料の振り返り	30分
4回 鈴木	流通市場全体について考察・研究 ファッション市場・日本の商業環境	予習：国内の流通環境についてをまとめる 復習：配布資料の振り返り	40分
5回 鈴木	産学連携プロジェクト提携企業研究 市場分析、マーケット予測、環境問題研究	予習：SDG'sについて考えをまとめる 復習：課題の取組み、配布資料の振り返り	40分
6回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 ターゲット、コンセプト、ブランド名、	予習：社会環境の変化についてまとめる 復習：課題の取組み、配布資料の振り返り	30分
7回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 ポジショニング、コンパニオン研究	予習：マーケットトレンドを個人でまとめる 復習：配布資料の振り返り	40分
8回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 計数計画、展開計画学習	予習：前回策定した内容の市場調査 復習：配布資料の振り返り	60分
9回 鈴木	産学連携プロジェクト提携企業研究 品質管理、企業の環境対策、広報PR研究	予習：品質×ファッションを検索 復習：課題の取組み、配布資料の振り返り	40分
10回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 商品構成、価格帯、コンテクスト、シーズン特性	予習：コンベジターブランドの調査示 復習：配布資料の振り返り	30分
11回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 中間発表プレゼン、フィードバック	予習：プレゼン準備 復習：フィードバックの内容に基づき企画修正	30分
12回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 ゾーニングプラン（出店場所、エリア）	予習：出店場所の事前調査 復習：配布資料の振り返り	60分
13回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 プロモーション計画、人員計画	予習：年間の販促計画（歳時記）を考える 復習：配布資料の振り返り	40分
14回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 営業収支、年間売上予算策定、アイテム別予算	予習：提示の課題の取組み 復習：配布資料の振り返り	40分
15回 鈴木	バーチャルブランド創造研究 ブランド提案プレゼン、フィードバック	予習：プレゼン準備 復習：フィードバックの内容に基づき企画修正	40分

「産学連携」プロジェクト演習

鈴木 康久、田原 美津子

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 3年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

この科目はファッションビジネス企業の「産」と大学の「学」による相互連携によりプロジェクトを推進していくカリキュラムとなります。担当教員の長年の実務専門分野（市場分析、ターゲット設定、エリア研究等）を踏まえた授業進行となり、取組先企業の現役実務者による講義やグループワーク・ディベート・プレゼン等アクティブラーニングを通して高い学習効果が見込めます。後期の演習のプログラムでは、サステナブル、SDG's等の環境問題を主題にファッションビジネスとの関連性を主テーマに多面的な学習を進行していきます。また授業内でICT技術を活用した双方向型を担保した授業を複数回実施します。

到達目標（学修成果）

- ・アパレル系企業「産」と大学「学」の連携を通じて実践的な思考力・展開力・ディベート力等の能力の醸成を目指す。
- ・学生一人一人の「個」とチーム「組織」による関わりを通じてチームワークで推進する組織連帯力を向上させます。
- ・企画作りによる創造力や発想力、能動的に取り組む自主性や行動力、発表を目標に提案力やプレゼン力を向上させます。
- ・体験型プログラム(アップサイクル、販売演習、VMD演習、店舗運営演習)を通じてアパレル企業の総合理解が出来ます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

全15回の中に中間発表、最終発表結果をフィードバックし、総合確認を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・指定教科書無し、毎回、学習資料を配布します。
- ・毎回配布する学習資料を持参してください。

参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

- ・授業前後1時間 3402教室
- ・授業の進行状況や連携先企業等の都合により、スケジュール及び授業内容が一部変更される場合があります。

備考

- ・連携企業との体験的なプログラム(アップサイクル、販売演習、VMD演習、店舗運営演習)等の体験を通じて実践的、かつ高い学習効果が見込めます。具体的な取組み事例の研究、産業面における意義や課題について学習していきます。
- ・学生一人一人の「個」の力とチームワーク「組織」によりプロジェクトを推進させていきます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	産学連携 オリエンテーション 後期計画概要、スケジュール、サステナビリティ、SDG's	予習：SDG's 考察事前課題への取組み 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 鈴木	商品企画 商品企画・テーマ設定・ストロングポイント考察	予習：テーマ・ブランド特性個人考察 復習：配布資料の振り返り	30分
3回 鈴木/田	商品企画 商品スタイル画、商品デザイン考察	予習：商品デザインを考える 復習：修正プランの作成	40分
4回 鈴木	企業体験学習 仕分け講義、仕分け実務体験	予習：縫製技術の再確認 復習：作業量とスケジュール確認	30分
5回 鈴木/田	企業体験学習 商品企画体験（ICT含む）	予習：制作段階と作業箇所の再確認 復習：作業量とスケジュール確認	30分
6回 鈴木/田	企業体験学習 商品企画体験（ICT含む）	予習：制作段階と作業箇所の再確認 復習：作業量とスケジュール確認	30分
7回 鈴木/田	企業体験学習 アップサイクル実践（ICT含む）	予習：制作段階と作業箇所の再確認 復習：制作品の点検	30分
8回 鈴木/田	企業体験学習 アップサイクル実践（ICT含む）	予習：ブランドコンセプトのアップデート 復習：配布資料の振り返り	40分
9回 鈴木	販促プラン策定 広告戦略、販促戦略、POP、商品広告	予習：広告企画のアップデート 復習：ブランディングの確認と振り返り	40分
10回 鈴木	店舗運営研究 店舗運営、VMDコントロール、販売演習	予習：販売研修マニュアル確認 復習：反省と今後のレポート	40分
11回 鈴木	店舗運営研究 店舗運営、VMDコントロール、販売演習	予習：販売研修マニュアル確認 復習：反省と今後のレポート	40分
12回 鈴木	店舗運営研究 店舗運営、VMDコントロール、販売演習	予習：販売研修マニュアル確認 復習：反省と今後のレポート	40分
13回 鈴木	社会問題とファッション研究 チームによるグループワーク、ビジネス創造	予習：体験を踏まえてまとめ 復習：チーム課題の確認と対策	40分
14回 鈴木	社会問題とファッション研究 チームによるグループワーク、ビジネス創造	予習：プレゼン資料作成 復習：チーム課題の確認と対策	60分
15回 鈴木/田	総合企画研究 総合発表、まとめ、振り返り、記録	予習：プレゼン準備 復習：総合的な振り返り	60分

消費者行動論

村越 陽平

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 3年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

消費者の視点からUX(ユーザーエクスペリエンス)デザインを学びます。「仮定のEC物販ブランドの立ち上げ」を想定し、そこに対する消費者の購買体験を設計。最終的には個人ワークとして、ECサイトなどのWEBやアプリのデザインに落とし込みます。カリキュラムは世界的に有名なフレームワークである「UX5段階モデル」に基づき「戦略」「要件」「構造」「骨格」「表層」の5つ工程に沿って進行していきます。

到達目標(学修成果)

UXデザインの基本的な考え方や進め方を知ることができます。

ECサイトなどのWEBやアプリがどのように出来上がるのかを実際に手を動かしながら学ぶことができます。

これらを通して「将来自分のブランドを立ち上げたい」「就職先で新商品開発を任された」「ECサイト作成を指揮しないとイケない」といった場面でのスキルの発揮を目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。ファッションビジネス・流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

グループワークや個人ワークの成果物に対して講評などのフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業内で講師が作成したスライドを適宜共有します。

参考文献

The Elements of User Experience ~5段階モデルで考えるUXデザイン

ジェシー・ジェームズ・ギャレット(著)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は授業初回に提示します。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室(3207教室)

備考

本授業では無料のUIデザインツール「figma」を使って演習を行います。授業開始までに下記URLにアクセスし、アカウントを作成しておいてください。<https://www.figma.com/ja-jp/> アドビのillustratorに似た使用感ですが、事前にツールに慣れておくと、より授業内でのスキルの習得がスムーズになります。授業内容は進行状況により変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 村越	イントロダクション	予習: シラバス記載内容を把握し、UIデザインツールfigmaのアカウントを作成しておく	60分
2回 村越	[戦略]3Cの顧客/競合分析WS	復習: 前回講義の内容を再度読み込んで理解を深めておく	60分
3回 村越	[戦略]3Cの自社/市場機会発見/ブランドコンセプト策定	課題: 次回のブランドコンセプト発表会に向けて各自資料を整理しておく	60分
4回 村越	ブランドコンセプト発表会	復習: 他者と自分の発表を見比べた上で修正があれば行う	60分
5回 村越	[戦略]セグメンテーション/ターゲティング策定	復習: 授業内で終わらなかったワークがある場合は次週までに完了させておく	60分
6回 村越	[戦略]ペルソナ策定	復習: 授業内で終わらなかったワークがある場合は次週までに完了させておく	60分
7回 村越	[要件]カスタマージャーニマップ策定	復習: 授業内で終わらなかったワークがある場合は次週までに完了させておく	60分
8回 村越	[要件]4P策定	復習: 授業内で終わらなかったワークがある場合は次週までに完了させておく	60分
9回 村越	[構造]サイトマップ策定	復習: 授業内で終わらなかったワークがある場合は次週までに完了させておく	60分
10回 村越	[骨格]ワイヤーフレーム策定(TOP/商品ページ/その他)	復習: 授業内で終わらなかったワークがある場合は次週までに完了させておく	60分
11回 村越	[表層]スキンデザイン策定(TOP/商品ページ/その他)	復習: 授業内で終わらなかったワークがある場合は次週までに完了させておく	60分
12回 村越	作業&相談日	課題: 発表会に向けて各自資料を整理しておく	60分
13回 村越	最終発表会(Aチーム)	特になし	30分
14回 村越	最終発表会(Bチーム)	特になし	30分
15回 村越	最終発表会(Cチーム)	特になし	30分

現代流通論

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 3年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

欧米や日本の流通の発展過程は店舗の拡大が重要であった。昨今では、無店舗販売であるEC比率を高める方向に転換をする企業が増え新たな段階に入っている。ECと店舗は融合され、新しいビジネスモデルがここ数年で次々と登場してきている。次世代型流通システムは個人顧客データを取り込みながら、パーソナルな提案が重要になってきている。そのためには、サプライチェーン、在庫、物流、販売までを総合的に考えていく必要がある。担当教員は10数年アパレル企業に勤務した実務経験がある教員のため、流通の革新的変化を現場の立場で捉えられる授業とする。

到達目標(学修成果)

現代流通とイノベーションの相関関係を理解し、修得する。ディプロマポリシーで示した変革の進むファッション流通に即応できる感性・思考力と課題解決力などの能力とファッション流通イノベーションを推進する人材の育成を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業後に複数回の課題を提出する。教員からのフィードバックや助言などをしていき、最終的には各学生が考えるファッション業界における流通の未来についてのプレゼンテーションを行い、評価を確認する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

配布資料があります。

参考文献

崔相鐵・岸本徹也 編集「1からの流通システム」、硯学舎
 牧田幸裕「デジタルマーケティングの教科書 データ資本主義時代の流通小売戦略」東洋経済新報社

オフィスアワー・研究室

第3校舎・流通イノベーション実習室(3207)、流通イノベーション研究室(3300)
 オフィスアワーについては授業初日に伝えます。

備考

日程及び内容は授業の進行具合に合わせて変更する事もあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	イントロダクション：現代流通論の昨今の革新的変化と概要と講義に臨むスタンスを説明する	予習：シラバスを読み、自身の関心を整理しておく	30分
2回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - 小売り業の近代化と百貨店の繁栄 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
3回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - 日本の総合スーパーとコンビニエンスストア -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
4回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - SPAブランドとショッピングセンターの成立過程 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
5回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - 無店舗販売とECビジネスの発展(ECモールの登場) -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
6回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - セレクトショップの発展と未来 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
7回 五月女	オムニチャネルの最新動向 - シームレスな購買体験、OMO戦略 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
8回 五月女	サプライチェーンマネジメントDXと物流 - ロジスティクスの最適化 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
9回 五月女	D2C(Direct to Consumer)ビジネスの事例 - FABRIC TOKYO、YUTORIなど -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
10回 五月女	体験型店舗(ショールーム型店舗) ECと実店舗の融合 - B8ta(ベータ)、マルイ、蔭屋書店、ポップアップショップ	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
11回 五月女	無店舗販売：ライブコマース - インフルエンサーマーケティングを活用した販売 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
12回 五月女	シェアリングエコノミー、サブスクリプションモデル - エアークローゼット、ラクサスなど -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
13回 五月女	サーキュラ エコノミー(循環型経済) 二次流通の事例 - メルカリのビジネス -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
14回 五月女	リテールメディア - 顧客購買データ、行動データの活用による広告 -	予習：最終課題レポートを作成する	60分
15回 五月女	まとめ ファッション業界の流通の未来	復習：課題レポートのフィードバックへの振り返り	30分

ファッションエディトリアル

千代崎 寛

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 3年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

2年次「ファッションエディトリアルI」をベースに編集表現とファッションビジネスの関係を学んでいく。プリントメディアの制作と考察を軸に情報伝達デザインの理解と活用を学んでいく。イメージどおりの画像を得るための撮影テクニックから編集を経て最終プロセスまでを段階ごとに確認・検証しながら進めていく。グラフィックデザインの制作と併行し他のメディアへの応用・運用を図りながらコミュニケーションとメッセージ表現のアプローチと方法を探る。思考の広がりや表現力、社会との関係における自身の視点を準備していく。

到達目標(学修成果)

1. ビジュアルイメージを具体化するための基礎的な「表現能力」を身に付けることが可能となる
2. 制作とプレゼンテーションを通して「つたえる・つたわる」関係の重要性について考察や理解ができる
3. デジタル制作環境・ネットワーク環境の基礎的な理解と活用する「術」を身に付けることが可能となる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「ファッションエディトリアルI」はファッションビジネスの企画・提案や流通の場において活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッションとノート、プレゼンテーション時の講評などでフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。先端ファッション表現研究室(目黒校舎研究棟3F)

備考

表れるイメージは過去に観た「もの・こと」からのみ産み出される。イメージをOutputし続けるためには常にInputし続ける必要がある。その円環する環境・システムを自分の中に構築して欲しい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション エディトリアルデザインについて～(メディアリテラシー)	予習:カリキュラム表・プリントの内容を熟読しておく。	30分
2回 千代崎	DTP演習 カラーマッチング、カラーモード、解像度、画像調整	予習:リサーチや進行に必要なリソースの収集・準備など	60分
3回 千代崎	DTP演習 レイヤー、チャンネル、パスのテクニック	予習:画像撮影のための準備、スタイリングとロケーションプランの準備	90分
4回 千代崎	Web演習 データ管理における配慮について サイト作成と運用テスト	予習:Webサイトのリサーチと資料収集	60分
5回 千代崎	テーマIコンテンツ制作 撮影現場における 配慮自然光による撮影・補正・レタッチのワークフロー	予習:撮影後のコンタクトシートによる選定とスタジオ撮影プランの準備	30分
6回 千代崎	テーマIコンテンツ制作 編集における配慮について 人工光による撮影・補正・レタッチのワークフロー	予習:スタジオ撮影後のコンタクトシートによる選定	30分
7回 千代崎	テーマIコンテンツ制作 プライバシー・肖像権 グリッドシステムによるレイアウトのワークフロー	予習:レイアウト資料の作成と準備	60分
8回 千代崎	テーマIコンテンツ制作 知的財産権の考え方 プリント出力から校正までのワークフロー	予習:プリント出力の確認と資料の収集・プレゼンテーションのための準備	60分
9回 千代崎	テーマIコンテンツ制作 著作権の表記について 研究テーマ中間プレゼンテーション	予習:中間プレゼンテーションをもとにプランを練り上げる	30分
10回 千代崎	テーマIコンテンツ制作 レイアウト・出力から校正	予習:プランに沿った制作と確認・検証	30分
11回 千代崎	テーマIコンテンツ制作 完成データ出力と製本	予習:Webサイトのリサーチ	60分
12回 千代崎	テーマIIコンテンツ制作 ラフレイアウトとプレビュー	予習:Webサイトのリサーチと資料収集	60分
13回 千代崎	テーマIIコンテンツ制作 レイアウトとプレビュー	予習:プランに沿ったWebサイトの制作と確認・検証	30分
14回 千代崎	テーマIIコンテンツ制作 レイアウトとプレビュー 表現・公開・出版	予習:テーマI・IIプレゼンテーションのための準備	60分
15回 千代崎	まとめ・展開 テーマI・IIプレゼンテーションと講評	予習:制作ノート提出のための準備	120分

流通イノベーション特講（オムニ、ダイヤモンド）

前川 祐介

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 3年 前期 必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

ファッション業界は、新型コロナウイルスの影響や市場縮小に直面している。また、大量生産・大量消費・大量廃棄の時代からSDGsやサステナビリティ重視へと変化し、情報化社会の進展も相まって産業構造が大きな転換期を迎えている。

本講義では、こうした変化をビジネス視点で捉え、次世代のファッションビジネスの在り方を考える。具体的には、ファッションレンタルサービス「エアークローゼット」のビジネスモデルを題材に、オンラインスタイリングやデータサイエンス活用の仕組みを学び、今後のファッションビジネスへの応用を考察する。

到達目標（学修成果）

ファッション業界を取り巻く変化、それに伴うこれからのビジネス変容を理解することで、ファッション業界の未来に関する様々な視点を習得する。また獲得した新しい視点を用いて「次世代のファッションビジネス」について自身の考えをまとめ、発信できるようになることを目指す。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業冒頭やディスカッションやプレゼンテーション時の講評などでフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「基礎からわかるパーソナルスタイリング」 日本パーソナルスタイリング振興協会 オリジナルテキスト（2200円）。

参考文献

授業の進行に合わせて投影資料などを適宜共有する。

オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 第3校舎3207教室。

備考

授業内容は進行状況により変更することもあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 前川	イントロダクション：この講義の概要説明	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
2回 前川	エアークローゼットの全体像：事業の仕組みやビジネスの裏側など全体像について	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
3回 前川	エアークローゼットの新規性：シェアリング・サステナビリティ・サブスクリプション・パーソナルスタイリングなど	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
4回 前川	エアークローゼットのマーケティング・PR：マーケティングとPRの違いについて、ブランディングの方針など	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
5回 前川	エアークローゼットの物流：エアークローゼットの物流の仕組み	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
6回 前川	エアークローゼットのデータ活用：ファッションビジネスでのデータ活用方法をエアークローゼットの事例について学ぶ	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
7回 前川	エアークローゼットのパーソナルスタイリング：エアークローゼットのパーソナルスタイリングの仕組み	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
8回 前川	パーソナルスタイリストと会ってみる：パーソナルスタイリストから仕事内容や働き方を学ぶ	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
9回 前川	パーソナルスタイリングのスキル：Test of Personal Styling Skillsを基礎にしたスタイリングの実習	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
10回 前川	パーソナルスタイリングスキル：Test of Personal Styling Skillsの内容にしたスタイリングの実習	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
11回 前川	パーソナルスタイリングスキル：お客様に合わせた提案づくりに取り組む(知識編)スタイリングの実習	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
12回 前川	パーソナルスタイリングスキル：お客様に合わせた提案づくりに取り組む(実践編)スタイリングの実習	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
13回 前川	次世代ファッションビジネスの広がりを知る：事例紹介(ゲスト招聘・パネルディスカッション)	復習：講義を振り返り、学びとなったキーポイントについてレポートする。	30分
14回 前川	次世代ファッションビジネスについて考える：本講義内容各論の総覧・総括	予習：次世代ファッションビジネスについてのプレゼンテーション準備。	30分
15回 前川	次世代ファッションビジネスについて考える：次世代ファッションビジネスについて個人別プレゼンテーション	次世代ファッションビジネスについて自分なりに考えを持てるようにする	30分

流通イノベーションゼミ

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 3年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ECサイトプラットフォーム「Futureshop」との産学連携により、オリジナルTシャツの販売を行う授業になります。「スタートアップ起業」型のチーム作りで、学生は数チームに分かれて、Tシャツの商品企画、生産管理、ショップページ作り、ネットショップでの販売、SNSによる誘客、受注、決済機能、商品発送までを戦略的に行います。インターネット上で商品を販売する経験に加えて、販売結果のデータ分析を行い、学生同士で学びあうアクティブラーニングの演習です。また、昨今の技術進化を取り入れ、Tシャツデザインは生成AIサービス「Maison AI」の画像生成AIを活用します。

到達目標（学修成果）

インターネットを駆使して売上目標や利益獲得を達成してゆくプロセスから、ビジネスの現場で求められる即戦力やビジネスでの成功失敗といった実戦での経験値を獲得することができるようにします。

生成AIを活用した実務スキルやネットビジネスの知識を、就職における専門性や卒業論文のテーマ策定に役立てるようにします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

チームごとのワークやプレゼンを都度評価し、シミュレーションの取組結果を発表する。チームの進捗状況はポートフォリオに提出をする。個人の役割貢献度も採点対象とする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

特になし 必要に応じてプリントを配布する。

参考文献

特になし

オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 第3校舎3207教室、オフィスアワーは初回授業時に指示します。

備考

協力企業の事情により、順番は変更になることがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	ネットショップ運営の目標と目的の確認 チームメンバー決定、役割分担の決定	予習：シラバスを読む	30分
2回 五月女	商品企画 開始 －ブランドコンセプト作り－ MaisonAI使用	予習：考察事例について課題を作成	60分
3回 五月女	商品企画 －ブランドコンセプト作り－ MaisonAI使用	予習：考察事例について課題を作成	60分
4回 五月女	Tシャツ発注業者の比較検討 －Tシャツデザイン決定－MaisonAI使用－	予習：考察事例について課題を作成	60分
5回 五月女	Tシャツ発注業者の決定、サンプル発注 －原価計算と利益計算、プライス決定－	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	60分
6回 五月女	Futureshopの機能紹介 －ECサイトで販売をする実務理解－	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	30分
7回 五月女	SNS発信による販売促進 －MaisonAIによる画像生成AI使用－	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	60分
8回 五月女	商品撮影実施（ECショップページ用）	予習：商品の管理、撮影準備までを用意する。	60分
9回 五月女	ショップページ制作（Futureshop） －WEBデザインを考える－	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	60分
10回 五月女	ショップページ制作（Futureshop） －MaisonAIによる原稿作成－	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	30分
11回 五月女	SNS発信の強化により販売促進	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	60分
12回 五月女	Google Analyticsによる売上分析と改善点の発見	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	90分
13回 五月女	ネットショップクローズ後、受注集計 －Tシャツ業者に製品発注、納期と支払い金額の確認－	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	60分
14回 五月女	Google AnalyticsによるSNS分析と売上結果	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する	60分
15回 五月女	5チームによる振り返りと結果のプレゼンテーション お客様へのお礼お手紙の作成、商品発送（レターパック）	予習：考察事例について課題を作成	60分

グローバルマーケティング特講

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 3年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

人口減少で市場が縮小する日本のアパレル業界ではグローバル市場に進出することが必須です。ユニクロのグローバル展開の成功が代表例ですが、そのレベルに達するのは非常に難易度が高いです。韓国のグローバルマーケティングの成功を参考に、成熟市場の中国戦略に加え、成長市場の東南アジア等の国も視野に入れていきます。急拡大した「観光国日本」のインバウンド対応の構築、越境ECも含むグローバルなトッププレイヤー企業のマーケティング戦略をも理解し、日本のアパレル業界の国際的優位性を考えていきます。アパレル企業で10年以上海外取引の実務経験がある教員による科目です。

到達目標(学修成果)

日本のアパレル業界に必要なグローバル市場に挑戦するマーケティング・スキルを身につけ、グローバル・ビジネスを立案し創造できるようになることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマシーに即した必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

テーマ毎に課題を授業内かポートフォリオに提出します。最終発表は個人でプレゼンテーションを行います。フィードバックは可能な限り講義内で行い、ディスカッションしながら、理解を深めていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

配布資料があります。

参考文献

小田部正明、他(2017)『1からのグローバル・マーケティング』碩学舎
森辺一樹(2021)『グローバル・マーケティングの基本』日本実業出版社

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室(第3校舎3207教室)
ファッションビジネス・流通イノベーション研究室(第3校舎3300室)。

備考

日程及び内容は特別講師、授業の進行具合に合わせて変更する事があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	アパレル業界におけるグローバル市場とは 海外市場を把握する	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
2回 五月女	グローバルに成功している企業事例 ユニクロ、ルルレモン、ZARAなど	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
3回 五月女	越境ECの動向について Shein Temu など	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
4回 五月女	台湾、シンガポールの市場リサーチと視察について	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
5回 五月女	中国における日本のアパレル企業の展開 Nico and... Moussy 中国展開とデジタル国家の独自性	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
6回 五月女	中国における日本のアパレル企業の展開 ライブコマースでSNS(小紅書)から直接EC販売	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
7回 五月女	新興国におけるマーケティングミックス ASEANの市場について	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
8回 五月女	韓国 ソウル市場と韓国ブランドの動向 東急株式会社、SHIBUYA109エンタテイメント	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
9回 五月女	ニューヨークの市場動向とビジネスについて Amazonとウォルマート	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
10回 五月女	東南アジアにおける日本のアパレル企業の展開 タイ、シンガポールの事例	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
11回 五月女	日本のインバウンドの消費者動向 アニメ、美容、薬、飲食、旅行	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
12回 五月女	インドの小売展開 伝統小売と近代小売の融合	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
13回 五月女	ラグジュリーブランドのグローバル戦略	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分
14回 五月女	個人あるいはグループで海外戦略を立案する	復習: 講義を振り返り、課題提出する	90分
15回 五月女	最終発表/講評 まとめ	復習: 講義を振り返り、課題提出する	30分

フィールドリサーチ実践論（国内、海外）

山中 健、五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 3年 後期 必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

3年生後期からの履修開始となります。本授業では、ファッション分野におけるフィールドリサーチのマーケティング的重要性に鑑み、そのテーマ設定、調査手法、分析方法などについて事例をもとに伝えます。

到達目標（学修成果）

ファッション分野におけるフィールドリサーチの方法論を理解し、実践経験の蓄積を得られる。国内・海外での実査や店舗観察から流通イノベーションの実際を知見する手法を修得し、卒業論文のテーマ策定への動機を促し、出来るようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

復習については授業冒頭受講生が発表、講師が講評を行う。
講義終わりには、課題レポートの提出が必要。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業時に提示

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

連絡研究室：ファッションビジネス・流通イノベーション研究室

出講日：月曜日

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	オリエンテーション 小テスト 「リサーチに必要なファッション業界の基本用語を学ぶ」	復習：授業中に行った小テストの回答を確認し基本用語を習得する	30分
2回 五月女	外部講師 「ブレ調査対象企業研究」	復習：授業中に作成したレポートを読み返す	30分
3回 五月女	リサーチ演習 ブレ調査「近隣店舗の臨店調査」	復習：演習シートを作成	90分
4回 山中	プレリサーチ プレゼンテーション	なし	30分
5回 山中	ファッションマーケットの捉え方 ビジネスモデルの変化と対応事例	アンケートの記入	30分
6回 山中	小売フィールドリサーチ手法 商圈の見方	復習：授業中に行った演習を完成させる	30分
7回 山中	小売フィールドリサーチ手法 立地とロイヤルティの見方	復習：授業中に行った演習を完成させる	30分
8回 山中	小売フィールドリサーチ手法 商品力（量、数）の見極め方	復習：授業中に行った演習を完成させる	30分
9回 山中	小売フィールドリサーチ手法 演習：商品力（プライス）リサーチの手法	復習：授業中に行った演習を完成させる	30分
10回 山中	小売フィールドリサーチ手法 演習：商品力の分析手法	復習：授業中に行った演習を完成させる	30分
11回 山中	小売フィールドリサーチ手法 販促力・固定客力の見方	復習：授業中に行った演習を完成させる	30分
12回 山中	小売フィールドリサーチ手法 売場力・接客力の見方	復習：リサーチ実施・最終課題の作成	120分
13回 五月女	外部講師 ファッショントレンドの捉え方（中長期トレンド）	復習：最終課題への加筆	30分
14回 五月女	外部講師 ファッショントレンドの捉え方（シーズントレンド）	復習：最終課題への加筆	30分
15回 山中	演習：フィードバック	復習：最終課題の修正・加筆	90分

流通イノベーションゼミ

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 3年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

アパレル業界の店舗とECの融合をテーマとし、EC職の職業体験プログラムを実施する授業である。ECサイト制作で重要業務である「ささげ」(撮影、採寸、原稿)を企業の指導により体験をする。三越伊勢丹オンラインストアグループ、ささげ屋との産学連携を中心に、新宿のISETANスタジオにおいて、学生はチームに分かれて、撮影、レタッチ、採寸、原稿の指導の実務体験をする。実際のECサイトに載せるページ作り、売れるECサイトを学び、EC専門職の育成を目標とする。

到達目標(学修成果)

EC業務の実務をプロから学ぶことで、プロレベルのサイト作りのレギュレーション(規定・ルール)を考え、EC業務のスキルを修得する。その結果、EC専門職への就職や今後の就職活動の方向性確定への促しを目指す。卒業論文のテーマ探索にもつながる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

企業による実務指導をする中で、グループ活動と個人の役割貢献度についてフィードバックする。グループワークであっても、個人採点を基本とする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

特になし

参考文献

特になし 必要に応じて企業よりの資料を渡します。

オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 第3校舎3207教室、オフィスアワーは初回授業時に指示します。

備考

産学連携の企業の事情により順番は変更になる場合があります

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	イントロダクション：ネットビジネスと店舗の関係を考える 授業の説明	復習：今後のスケジュールを確認し整理する。	30分
2回 五月女	アパレルのOMO店舗の事例研究 オンワードクローゼットについて	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
3回 五月女	アパレルのOMO店舗の事例研究 アダストリア(アンド・エスティ)について	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
4回 五月女	ZOZOの顧客・店舗との関係構築	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
5回 五月女	三越伊勢丹オンラインストアグループとささげ屋による 産学連携開始に向けての講義	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
6回 五月女	三越伊勢丹のオンラインストアについてのワーク	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
7回 五月女	ISETANスタジオでのワークショップ 採寸・撮影	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
8回 五月女	ISETANスタジオでのワークショップ 商品撮影と講義	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
9回 五月女	ISETANスタジオでのワークショップ レタッチと講義	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
10回 五月女	ISETANスタジオでのワークショップ レタッチと採寸	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
11回 五月女	ISETANスタジオでのワークショップ 原稿作成	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
12回 五月女	店舗見学 オンラインストアのターゲットを考える	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
13回 五月女	三越伊勢丹のレギュレーションを考える (グループワーク)	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	30分
14回 五月女	スタジオでの実務体験を終えてグループでのまとめ 発表準備	復習：考察事案について振り返り、次回に向けた検証項目を整理する。	60分
15回 五月女	最終グループ発表 フィードバック講評と表彰	復習：発表結果と講評を振り返る	30分

服飾手芸（ニットを含む）

岡本 真希子

服飾学科 3年 前期又は後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

編物の代表的な三つの技法 かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みについて、基礎的な技法を習得します。それぞれの技法に合わせた、作品を作る為に必要な増減法、とじ、はぎ、素材の特徴に合った組み合わせや編み方を学び、作品作りに活かせるように学びます。

到達目標（学修成果）

かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みの基礎技法を学び、編めるようになる。編目記号図（JIS記号）を理解する。かぎ針編みでは、モチーフを編む。棒針編みでは、身に着ける作品の制作を進めながら、制作に必要な知識を得る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題として、かぎ針編みモチーフつなぎ、棒針編みの基礎編みサンプル、アフガン編みの基礎編みサンプル、を提出。添削後、順次返却します。

棒針編みの応用課題作品を提出

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

いちばんよくわかる新・かぎ編みの基礎 / いちばんよくわかる 新・棒針編みの基礎

いちばんよくわかる アフガン編みの本

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課 出講日：金曜日

備考

必要に応じてプリントを配布しますので、ファイリングをして常に授業に携帯して下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 岡本	かぎ針編み：針の持ち方，基礎編み（鎖編み，細編み，長編み，等）	復習：その日に習った技法の復習（長編み，細編みが編めるように）	60分
2回 岡本	かぎ針編み：モチーフを作成	復習：その日に習った技法の復習 モチーフ1枚めを完成させる	60分
3回 岡本	かぎ針編み：モチーフをつなぐ	復習：その日に習った技法の復習 モチーフをつなぎ完成させる	60分
4回 岡本	棒針編み：針の持ち方，基礎編み（作り目，表編み，裏編み，伏せ目）	復習：その日に習った技法の復習（表編み，裏編みを練習する）	60分
5回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（編み込み模様2種類 等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを編み進める	60分
6回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（表目と裏目の模様，透かし模様）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを編み進める	60分
7回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル製作（交差模様，1目ゴム編み，2目ゴム編み 等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる	60分
8回 岡本	棒針編み（応用課題作品）：作品制作に向けての説明 とじ・はぎをパターンで練習する	応用課題作品の制作に向けて何を考えるか考えてくる	60分
9回 岡本	アフガン編み：針の持ち方，基礎編み（ブレーンアフガン）	復習：その日に習った技法の復習 応用課題作品の制作に向けて準備する	60分
10回 岡本	アフガン編み：基礎編みのサンプル作成（かのご模様，ねじり目模様 等）	復習：その日に習った技法の復習 応用課題作品の制作に向けて準備する	60分
11回 岡本	棒針編み（応用課題作品）：作品制作に向けての相談	応用課題作品の制作を始める	90分
12回 岡本	棒針編み：応用課題作品を進めながら，提出した基礎編みサンプルの再確認 等	応用課題作品の制作を進める	90分
13回 岡本	棒針編み：応用課題作品を進めながら，提出した基礎編みサンプルの再確認 等	応用課題作品の制作を進める	90分
14回 岡本	棒針編み：応用課題作品 提出	復習：基礎編みサンプルの復習	60分
15回 岡本	まとめ：課題のフィードバックを行う	復習：基礎編みサンプルの復習，とじはぎ仕上げの復習	30分

ショップディスプレイ

石井 健太

服飾学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

講師の実際の仕事例を紹介しながら、ショップディスプレイ/デザイン/マーケティングの考え方を学んでゆく。

到達目標(学修成果)

ショップディスプレイとは企業戦略を視覚化する仕事。ショップの企画立案から実際の設計までを授業内で完成させる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の単位で卒業要件となります。「ショップディスプレイ」は、空間演出の基礎力とビジネスの基礎知識の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎授業終了時にレポート。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

なし

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1	オリエンテーション	特になし	30分
2回 2	VMDとショップディスプレイ	特になし	30分
3回 3	ショップの原点の確認 モロッコ 明治日本 より	特になし	30分
4回 4	ショップの原点の確認 アメリカ 昭和日本 より	特になし	30分
5回 5	ショップの原点の確認 トルコ より	特になし	30分
6回 6	世界の百貨店の成り立ちの確認 フランスより	特になし	30分
7回 7	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
8回 8	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
9回 9	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
10回 10	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
11回 11	商品ディスプレイプランの作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
12回 12	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
13回 13	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
14回 14	発表	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
15回 15	発表 総評	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分

服飾クラフト

永田 貴恵子

服飾学科 3年 前期又は後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

手芸 (Hand Craft) は、世界各地で古い昔から行われその土地の生活様式に合った特有の色や模様が作り出されて来ました。本授業では様々な刺しゅうの知識を深め、基礎となる刺しゅうの材料 (布・糸・針など) の扱い方や技法を学びます。

到達目標 (学修成果)

フランス刺しゅうやクロスステッチなど様々な刺しゅうを実際に作品を制作しながら基本的な技法が習得出来ます。基礎刺しの名称と刺し方を理解し正しく刺しゅうが出来ることを目標とします。
また、図案を構成し刺しゅう技法を組み合わせる応用力をつけることも目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択科目で卒業要件科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品返却時にその都度講評をします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に適宜プリントを配布します。

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

出講日：金曜日 連絡先：教務課

備考

別途教材費がかかります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 永田	様々な刺しゅうを知る 刺しゅう材料の取り扱い方 図案の写し方 フランス刺しゅう基礎の準備 サンプラーの制作	予習：シラバスを読む 復習：フランス刺しゅう基礎の確認	30分
2回 永田	フランス刺しゅう基礎 アウトラインS バッグS ランニングS チェーンS パリオンS等	復習：アウトラインS バッグS ランニングS チェーンS パリオンS等の確認	30分
3回 永田	フランス刺しゅう基礎 ブランケットS レイジーデージーS フレンチノットS サテンS等	復習：ブランケットS レイジーデージーS フレンチノット サテンS等の確認	30分
4回 永田	ビーズ・スパンコール刺しゅう ビーズ・スパンコール刺しゅうの基礎	復習：ビーズ・スパンコールの確認 予習：自由図案を考える	30分
5回 永田	ミラーワーク、リボン刺しゅう ミラーの留め方 リボン刺しゅうの基礎 自由図案による刺しゅうの制作	復習：ミラーの留め方、リボン刺しゅうの確認	30分
6回 永田	刺しゅうの応用制作 刺しゅうの仕上げ	復習：刺しゅう応用制作のステッチの確認	30分
7回 永田	クロスステッチ ピンクッションの制作 クロスステッチの基礎	復習：フランス刺しゅう基礎の整理 予習：クロスステッチの図案を考える	30分
8回 永田	クロスステッチ クロスステッチの針の動き方 糸の替え方 糸の始末の仕方	復習：クロスステッチの刺し方糸の替え方、糸の始末の仕方の確認	30分
9回 永田	クロスステッチ 仕立て方、とじ方	復習：クロスステッチの仕立て方、とじ方の確認	30分
10回 永田	クロスステッチ 仕上げ	復習：クロスステッチの基礎の整理	30分
11回 永田	スモッキング刺しゅう スモッキングバッグの制作 スモッキング刺しゅうの基礎	復習：スモッキング刺しゅう基礎の確認	30分
12回 永田	スモッキング刺しゅう ダイヤモンドSの刺し方	復習：ダイヤモンドSの確認	30分
13回 永田	スモッキング刺しゅう 糸の替え方、糸の始末の仕方。	復習：糸の替え方、糸の始末の確認	30分
14回 永田	スモッキング刺しゅう 仕上げ方	復習：スモッキング刺しゅうの整理	30分
15回 永田	授業で制作した作品の様々な刺しゅう基礎刺しの確認と刺しゅうの知識を整理する	復習：授業で制作した作品の様々な刺しゅう基礎刺しの確認を行う	30分

インターンシップ

笹部 小百合

服飾学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースを選択したことにより、将来の目標が明確になってきたと思います。卒業後の仕事について確認し、今後の授業の取り組みを見据えるために大切な体験になります。

インターンシップ(就労体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。企業でのインターンシップ生教習実務経験を基に指導し、自ら社会で活躍できる人材になろうとする意識強化を目指します。

到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を行うことで、社会人としての基礎やマナー、ビジネススタンスを身に付けます。さらに、自分の適性を見極め、将来の就職に生かせる理解と能力を養うことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、グループワーク・課題や最終報告書・報告会による講評を授業内やメール、ポータルサイトからフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上～12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

長期インターンシップ

笹部 小百合

服飾学科 3年 前期又は後期 選択 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースを選択したことにより、将来の目標が明確になってきたと思います。卒業後の仕事について確認し、今後の授業の取り組みを見据えるために大切な体験になります。

インターンシップ(就労体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。企業でのインターンシップ生教習実務経験を基に指導し、自ら社会で活躍できる人材になろうとする意識強化を目指します。

到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を行うことで、社会人としての基礎やマナー、ビジネススタンスを身に付けます。さらに、自分の適性を見極め、将来の就職に生かせる理解と能力を養うことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、グループワーク・課題や最終報告書・報告会による講評を授業内やメール、ポータルサイトからフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で20日以上~24日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

PRコミュニケーション論

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本講義を通じて、社会におけるメディアの果たす重要性を理解し、基本的なメディア・リテラシーやビジネスに必要なメディアコミュニケーションについて習得をする。

「ファッション」＝「衣、食、住、遊、知」に必要なとされる今、メディアコミュニケーションの利活用を考察する講義を組み立てる。その為に社会で活躍するファッションビジネスやメディア・アートに関わるプロフェッショナルな専門家を特別講師として招聘し、ビジネスに必要なブランド構築に必要な実践的なノウハウ等を理解せしめる。

到達目標（学修成果）

社会に必要なとされる基本的なメディア・コミュニケーション並びに戦略的なブランド構築の知識を習得する。

さらにファッションビジネス界でメディアやアートを活用した成功例を検証しつつ、メディアデザインの現状とブランディング戦略、それに必要なコミュニケーションスキルを学び、知識を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件科目となり、ファッション業界で必要とされ活躍できる人材になるよう学修する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について解説と講評をします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示しますから、購入するなどの準備をする必要はありません。

参考文献

あらゆる関連書籍や新聞から、メディアやコミュニケーション、ブランド戦略、アートに関する知識を習得してください。

オフィスアワー・研究室

出講日：金曜日（前期） 連絡先：教務課（本校舎1階）

備考

専門外も、質問や相談にのりますから、困ったことがあったら連絡ください。

但しすべて解決できるということではありません。お互いに解決策を見つけていきましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 渡邊	オリエンテーション、講師自己紹介、授業計画の説明	予習：シラバスを熟読し、その重要性に関し、認識する	30分
2回 渡邊	高度情報化社会に必要なとされるメディア・リテラシー	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
3回 渡邊	メディアコミュニケーションの社会に果たす役割	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
4回 渡邊	ブランド戦略	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
5回 渡邊	メディア・コミュニケーションにおけるデジタルメディア	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
6回 渡邊	ファッションビジネスにおけるメディアコミュニケーションの重要性について	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
7回 渡邊	進化し続けるコミュニケーションツール	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
8回 渡邊	ファッションディレクターの視点 ファッションメディアにおけるアートとデザインの融合	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
9回 渡邊	メディアコミュニケーションにおける危険性	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
10回 渡邊	TV業界におけるメディアコミュニケーション	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
11回 渡邊	PRと宣伝	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
12回 渡邊	広告代理店におけるメディアコミュニケーションの実践	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
13回 渡邊	ITビジネスとメディアコミュニケーション	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
14回 渡邊	社会で台頭しつつあるメディアアート&アーティスト	講義中に数度提出した資料を全て読み返す	45分
15回 渡邊	まとめ：これまでの講義のフィード・バックを行う	講義中に数度提出した資料を読み返す	45分

ファッション画 (CG)

数井 靖子、福地 宏子

服飾学科 3年 前期又は後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

Illustrator/Photoshopを使用したPCによる演習を行います。アイデアを図形や画像を使用して形にできる様に、柔軟な発想力を学びます。テキストを意識した素材制作やハンガーイラストの制作、線画への着彩方法、テーマに合わせたオリジナリティのある課題制作を行います。

到達目標 (学修成果)

Illustrator/Photoshopの基本操作を身に付け、ソフトの特徴を活かした作品を制作できる。自身のファッション表現の可能性を広げる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の専門選択科目の単位となります。ディプロマポリシーでは、服飾関係の専門的職業で活かせるような表現力や、豊かな発想力の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

提出した課題には評価やコメント記入をして振り返りが行えるように返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業内で適宜紹介する

オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】ファッション画研究室 研究棟2階 6025

備考

- ・進度により授業計画が変更になる場合もある
- ・学生へのインフォメーションはポータルサイトを利用します

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	【Illustrator/Photoshop】・基本操作・ツールの説明と実践	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
2回 各自	【Illustrator】ペンツールによるパスの操作 ハンガーイラスト (ジャケット、パンツ等)	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
3回 各自	【Illustrator】ペンツールによるパスの操作 ハンガーイラスト (ニットウェア等)	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
4回 各自	【Illustrator】パターン柄の制作 (様々なツールの説明と実践も含む)	【復習】自身の課題を振り返る	30分
5回 各自	【Photoshop】ハンガーイラストへの素材ペースト 画像の加工(フィルター、色調補正等)	【予習】アイテムに合った素材をリサーチ、資料収集	30分
6回 各自	【Photoshop】ハンガーイラストへの素材ペースト	【復習】自身の課題を振り返る	30分
7回 各自	【Illustrator/Photoshop】 個展、展示会を想定したDM制作	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
8回 各自	個展、展示会を想定したDM制作	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
9回 各自	個展、展示会を想定したDM制作	復習】自身の課題を振り返る	30分
10回 各自	【Illustrator/Photoshop】 テーマに合わせたスタイル画表現	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
11回 各自	テーマに合わせたスタイル画表現	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
12回 各自	テーマに合わせたスタイル画表現	【復習】自身の課題を振り返る	30分
13回 各自	【Illustrator/Photoshop】 テーマに合わせたオリジナルの作品制作	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
14回 各自	テーマに合わせたオリジナルの作品制作	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
15回 各自	テーマに合わせたオリジナルの作品制作	【復習】自身の課題を振り返る	30分

民族衣装論

梅谷 知世

服飾学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

世界各地の民族服飾はそれぞれの自然環境や文化環境の中で生まれ、時代とともに変化しながら今日に受け継がれてきました。この授業では、アジアを中心にアメリカやヨーロッパなど世界の民族服飾を取り上げ、人びとの手仕事によってつくられてきた民族服飾の形、素材、織・染め・刺繍などの技法、文様について学びます。また、民族服飾がどのような背景の中で成立し変化してきたのか、民族服飾が民族にとってどのような意味をもつのかという問題について、背景にある気候風土や暮らし、信仰、異文化交流など多様な視点から考えていきます。講義形式ですが、教員からの質問についてグループ内でのディスカッションも行います。

到達目標（学修成果）

- 1、民族服飾の多様なあり方を知り服飾文化に対する視野を広げる。
- 2、民族服飾の成立・変化と自然環境・文化環境との関係性や、民族服飾の意味について理解する。
- 3、民族服飾を通して異文化への関心を深める。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業認定科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内課題や期末レポートについて、授業時またはCampusMagic等でコメントを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

国立民族学博物館編『国立民族学博物館展示案内』（2017）

その他の参考文献は授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

世界各地の民族に関心を持ち、新聞やインターネットの報道に注意するようにしてください。

美術館や博物館に足を運び、民族服飾の実物を見学する機会を持つよう心がけてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	民族服飾とは何か	予習：シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	民族服飾を学ぶ視点	予習：参考文献を図書館で確認する。	90分
3回 梅谷	アメリカの民族服飾（グアテマラ）	予習：グアテマラの気候風土とマヤ民族の歴史について調べる。	90分
4回 梅谷	東アジアの民族服飾（中国・旗袍）	予習：近代中国の歴史について調べる。	90分
5回 梅谷	東アジアの民族服飾（中国・少数民族）	予習：中国の少数民族の居住地域を確認する。	90分
6回 梅谷	博物館見学	復習：博物館見学のレポートを作成する	90分
7回 梅谷	東アジアの民族服飾（アイヌ）	予習：アイヌ民族の歴史について調べる。	90分
8回 梅谷	東アジアの民族服飾（琉球）	予習：琉球王国と近現代沖縄の歴史について調べる。	90分
9回 梅谷	東南アジアの民族服飾（ラオス）	予習：ラオスの気候風土と歴史について調べる。	90分
10回 梅谷	南アジアの民族服飾（インド）	予習：インドの気候風土と歴史・宗教について調べる。	90分
11回 梅谷	南アジアの民族服飾（インド西部）	予習：インド西部の気候風土について調べる	90分
12回 梅谷	西アジアの民族服飾（サウジアラビアなど）	予習：西アジアの気候風土と宗教について調べる。	90分
13回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾（スコットランド）	予習：スコットランドの気候風土と歴史について調べる。	90分
14回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾（東欧）	予習：ブルガリアとルーマニアの気候風土と歴史について調べる。	90分
15回 梅谷	まとめ	復習：これまでの授業内容を振り返り十分理解する。	90分

染織史

大久保 尚子

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本の染織技法の種類と歴史的展開を、意匠との関係、海外との影響関係にも注目して学習します。各時代に特徴的な染織意匠を文化的背景とともに紹介します。映像資料と実物資料を提示し技法、意匠の特色を体験的に学習し、展覧会見学を通し知識に基づく作品理解を深めます。

到達目標(学修成果)

・歴史上にみられる染織技法について、技法による表現効果の違い、意匠との関係に注目して理解し、自ら具体的な作品例をとりあげ技法と意匠の特徴について説明できる。
・意匠と同時代文化との関係について理解を深め、授業で示した資料を活用し説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業時の課題やレポート提出等に学内システムを活用します。博物館見学の連絡等にメールを使用する必要があるため担当者のアドレスを授業時にお知らせします。課題等のフィードバックは基本的に授業の中で行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

参考文献

小笠原小枝『染と織の鑑賞基礎知識』至文堂1998年、河上繁樹、藤井健三『織りと染めの歴史』昭和堂1999年 その他授業の中で示します。

オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎一階教務課 後期 授業のある金曜日(14時～14時30分)第3校舎講師控入室

備考

博物館見学の実施回は、状況により変更する場合があります。詳細は授業時に指示します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大久保	染織(テキスタイル)の歴史と現代の服飾の関係(ディスカッション)/手仕事と機械工業/「織り」の技法「染め」の技法	予習：シラバスを読む。復習：授業時に示す復習課題に取り組む	40分
2回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 天然素材による糸、織機の仕組み 織物の基本組織	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
3回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織りの技法 綾、羅、錦 / 正倉院の染織品にみる唐風の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
4回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 縫い取り織(二陪織物、唐織)、縺子織(緞子、綸子)/有職織物と名物裂	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
5回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 緋、縞、綴 / 近世における外来染織の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
6回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 描絵、摺絵、絞り染め、板締め/天然染料の染色、江戸時代小袖の復元	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
7回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 糊防染 型染(小紋、中形)/ジャポニスムと染色型紙	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
8回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 蠟防染(膺織、更紗)、糊防染 友禅染め/更紗のグローバルな影響	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
9回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
10回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学。質疑応答と見学レポート	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
11回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史まとめ 日本の染織の歴史展開、服飾史との関係/技法と意匠の関係/染織技術の近代化	予習：これまでの資料に再度目を通す。復習：課題に取り組む。	30分
12回 大久保	近世の染織意匠 友禅風意匠と友禅染の成立	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
13回 大久保	近世の染織意匠 光琳文様と琳派の意匠	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
14回 大久保	近世の染織意匠 山東京伝の見立て小紋と江戸の意匠	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
15回 大久保	近代の染織と意匠 染織技術革新と意匠・ジャポニスムとヨーロッパのデザイン運動・日本のデザイン運動 まとめ	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分

ファッションプレゼンテーション演習

児島 やよい

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

授業担当者の約30年に渡る現代美術やデザインをカバーするキュレーター、ライターとしての実務経験を踏まえて、美術館、ギャラリーや多様な展示施設での他ジャンルの展示会の実例を提示、見学、解説します。見学の際には担当学芸員やアーティストなどとも対話する機会を設ける予定です。それに基づきグループワークやディスカッションを行い、創造に活かす視点を学びます。各自で、及びグループワークで展示会企画を構想、プレゼンする演習により、説得力のある企画、プレゼンテーションの方法を身に付けることを目指します。

到達目標(学修成果)

展示会や関連プログラムのリサーチから企画、実施までの過程を知り、展示によっていかに新鮮な主張を発信するかを学ぶ。実務を知り、多様な展示会を見学・考察することで、「展示会を企画」する基本的なプロセスを理解する。キュレーターとしての構想力、研究・分析の成果から新たな視点を活かし具体化する体験を通して、ファッションの分野につながる企画、プレゼンテーションの方法を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程の必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

学内システムによりレポート課題及びプレゼン課題についてポイントを解説する。今後の課題、次回見学、授業の内容を掲示する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

特に指定しない

参考文献

授業時に指示する

オフィスアワー・研究室

欠席・遅刻の連絡、授業についての質問等はメール、学内システムにて随時受け付ける。その他必要な場合は教務部まで。

備考

成績表について 中間及び期末課題提出・プレゼン 展示会見学レポート(全10本程度) 授業姿勢・参加度の順に重要視します。展示会見学への参加が必須となり、学期を通して入館料と交通費がかかります(全部で5~6千円の予定。入館料の負担は極力少なくします)。止むを得ず見学を欠席する場合は代替の課題を出すので必ず相談して下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 児島	オリエンテーション 授業計画 中間、期末課題について 展示会見学について。各自小レポート発表。	予習: これまで鑑賞した展示会について興味のあるテーマについて考えをまとめておく。	30分
2回 児島	「展示会というプレゼンテーション」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
3回 児島	「展示会の企画から実施まで」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
4回 児島	「ファッションの展示会、プレゼンテーションの実例」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
5回 児島	「さまざまな展示の手法、最新の傾向について」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
6回 児島	「企画書を書く」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
7回 児島	中間課題プレゼン(各自で展示会を構想・企画、プレゼン)の準備。	復習: 中間課題プレゼンを仕上げる。	90分
8回 児島	中間課題プレゼンと講評。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
9回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)に向けてディスカッション。	復習: 期末課題プレゼンの準備。	60分
10回 児島	「展示会をめぐる教育・関連イベント、広報などのプログラム」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
11回 児島	「企画の意義、説得力について考える」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く。期末課題プレゼンの中間発表を準備。	60分
12回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)の中間発表。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
13回 児島	「ファッションとプレゼンテーション」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く。期末課題プレゼンを仕上げる。	90分
14回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)。講評、ディスカッション。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
15回 児島	「展示会見学を通して学んだこと、発見、気づきについて」。ディスカッション。学期まとめ。	復習: 各自、学期のまとめ	60分

ドレーピング&パターンメイキング(選)

高橋 彩香

服飾学科 3年 前期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

コースに関係なく、ドレーピング&パターンメイキングを学びたい学生を対象に開講する。基礎の復習をしながらドレーピング・パターンメイキングのどちらかの手法でパターン・トワルを作る。パターンメーカーの実務経験・体験談を織り交ぜた講義実習を行う。受講学生の能力に合わせて内容の変更も有る。

到達目標(学修成果)

基本理論と基本技術の復習と、立体と平面とを兼ね合いをつかんで立体的な服の見方を学び応用へと発展させる。より自由なデザインをドレーピング、またはパターンメイキングで形にしていくことが可能になる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する選択科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

立体裁断 「基本理論」 小山千暁 他著 (有) c f k 1 9 9 1
 立体裁断 「基本理論から応用」 小山千暁 他著 (有) c f k 1 9 9 1

参考文献

『工業用パターンガイドブック』 小山千暁 他著 (株)アミコファッションズ

オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 13:00~14:30

【研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室(第3校舎1階 3106教室)

備考

授業に必要なテキスト・道具・天竺などの準備は必ず時間前に用意すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	【実習】ギャザーを使用したスカートのドレーピング	予習:天竺90cm×2枚用意	30分
2回 高橋	【実習】ギャザーを使用したスカートのドレーピング	予習:天竺90cm×2枚用意	30分
3回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ブラウス	授業進度に合わせて作業進行	30分
4回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ブラウス	授業進度に合わせて作業進行	30分
5回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ブラウス	授業進度に合わせて作業進行	30分
6回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ブラウス	授業進度に合わせて作業進行	30分
7回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
8回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
9回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
10回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
11回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
12回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング デイリーユーズな服	授業進度に合わせて作業進行	30分
13回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング デイリーユーズな服	授業進度に合わせて作業進行	30分
14回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング デイリーユーズな服	授業進度に合わせて作業進行	30分
15回 高橋	【まとめ】デイリーユーズな服の縫製仕様	授業進度に合わせて作業進行	30分

近代日本モード史

梅谷 知世

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

明治時代以降の日本では西洋文化の影響を受けて近代化が進められ、服飾についても同様であったが、洋服はすぐに普及したのではなく、少しずつ段階を踏んで浸透していった。欧米各国との対等な外交関係を目指し、明治初期から男性の公的な装いに洋装が採用される一方、多くの人びとはまず、和装の一部に西洋風を取り入れる和洋折衷形式を作り上げた。大正後期以降は職業婦人の増加等を背景に洋装女性も現われ、この時期に創設された洋裁学校は、第二次世界大戦後の洋装の普及に大きな役割を果たした。このような近代日本の服飾文化について、背景にある社会や文化の状況とともに解説する。

到達目標(学修成果)

- 1、日本人の衣生活に洋服がどのような経緯で取り入れられ浸透していったかを理解する。
- 2、伝統的な美意識と西洋趣味の融合した近代の和装の展開について理解する。
- 3、服飾を通して、近代日本社会のあり様や人々の精神性を理解する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目の卒業認定科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内課題や期末レポートについて、授業時またはCampusMagic等でコメントを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

授業時に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

近代日本の文学作品を読んだり、近代日本の絵画や工芸作品に触れたりする機会を持つよう心がけてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	ガイダンス	シラバスを確認し授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	明治時代の洋装① 幕末・文明開化期の洋風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
3回 梅谷	明治時代の洋装 近代国家建設と洋服導入	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
4回 梅谷	明治時代の洋装③ フロックコートとハイカラ	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
5回 梅谷	明治時代の洋装④ 鹿鳴館時代の女性の洋装	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
6回 梅谷	和装の近代化① 束髪の広がり	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
7回 梅谷	和装の近代化 洋装品をとり入れた和装	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
8回 梅谷	和装の近代化③ 女学生の袴姿	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
9回 梅谷	和装の近代化④ 明治・大正・昭和の着物文様	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
10回 梅谷	和装の近代化 百貨店による流行の創出	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
11回 梅谷	大正時代の洋装 女性の洋装の広がり	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
12回 梅谷	モダン都市文化とモダンガールの装い	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
13回 梅谷	戦時中の衣生活と戦後の洋裁文化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
14回 梅谷	1960年代以降のファッションと社会	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、理解を深める。	120分

リテールビジネスにおけるVMDマネジメント

寺井 孝夫

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

- ・VMDをリテールビジネスにおける必須の一領域と捉え、基礎知識から実践まで体系的に学びます。百貨店で実務経験のある担当講師の経験談や実践事例に触れながら、より現場に即した知識を習得していただきます。
 - ・一般的なVMDの基本はもちろん、人の習性、心理などの周辺の知識についても学んだ上で、実務演習を通じて実現性の高い発想力と提案力を養います。
 - ・本科目ではグループワークを含むアクティブラーニングを実施します。
- 到達目標（学修成果）**
- ・VMDの意味と目的などの基礎知識、初歩的なレベルの実践力&マネジメント力の習得。
 - ・実践演習を通じて、コンセプトシート、イメージMAP、ラフプラン、具体案まで、VMDプラン策定ができるレベルを目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、あらゆるファッションビジネスで活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

仮想店舗でのVMD計画を自身で策定し、演習成果物として提出いただきます。課題用紙はmanabaに掲載予定。希望者には返却。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

指定教科書なし。適宜参考資料を配布。

参考文献

必要に応じて適時ご案内します。

オフィスアワー・研究室

出校日：水曜日 FB研究室：第4校舎 4階3402教室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 寺井	オリエンテーション 自己紹介、半期を通して知ってほしいこと、参考動画視聴	予習：シラバス確認 復習：この講義で学びたいこと整理	30分
2回 寺井	基本編 VMDの歴史、現状、今後 参考動画視聴	予習：「VMD」をweb検索 復習：実際の店舗でVMDの確認	30分
3回 寺井	基本編 基礎知識 / VP、PP、IP 3つの場と役割	予習：「VP、PP、IP」をweb検索 復習：実際の店舗で3つの場を確認	30分
4回 寺井	基本編 ヒトとVMD / 基本モジュールとヒトの習性	予習：演習で用いるメジャーの準備 復習：実際の店舗で寸法の確認	30分
5回 寺井	基本編 客数UPの重要性とそのテクニック	予習：「客数」をweb検索 復習：実際の店舗でのテクニック事例の確認	30分
6回 寺井	基本編 品物に触ってもらえるテクニック	予習：「展開分類」をweb検索 復習：実際の店舗で「展開分類」を確認	30分
7回 寺井	基本編 売場空間の構成要素 / 什器の種類とデザイン面白さ	予習：「什器」をweb検索 復習：実際の店舗で様々な什器を確認	30分
8回 寺井	基本編 売場空間の構成要素 / マネキン、トルソ、モチーフ	予習：「マネキン」をweb検索 復習：実際の店舗で「トルソ」使用例を確認	30分
9回 寺井	実践編 パワーラックを作る / トルソとラックでショーイングの実践	予習：「パワーラック」をweb検索 復習：実際の店舗でパワーラックを確認	30分
10回 寺井	実践編 既存店舗のVMD分析「ABCマート」「ZARA」	予習：ABCマートとZARAを視察 復習：実際の店舗で単品集積売場を確認	60分
11回 寺井	実践編 テーブルプレゼンテーションの実践	予習：テーブルプレゼンテーションをweb検索 復習：実際の店舗でテーブルの使い方を確認	30分
12回 寺井	グループディスカッション 自分の理想のVMDの「魅力」とその「理由」	予習：事前課題 / VMD事例のレポート 復習：ディスカッション内容振り返り	100分
13回 寺井	実践編 演習その1 販売計画からコンセプト策定	予習：「販売計画」をweb検索 復習：イメージビジュアルリサーチ	60分
14回 寺井	実践編 演習その2 コンセプト策定から具体案の立案	予習：事前課題 / イメージビジュアル切り抜き 復習：成果物振り返り	100分
15回 寺井	まとめ 日本のVMD現状と実際の仕事	予習：VMDの仕事への関心喚起 復習：実務への具体的想像	30分

ファッション3Dモデリング

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 モード・インダ

3・4年 前期

選択 (1単位 講義)

授業の方針・概要

ファッション業界でCGを利用した3Dモデリングの活用が増えている。クロスシミュレーションソフト(CLO)を使ったファッション3Dモデリングの基礎的な知識や技術を学修します。ファッション3Dモデリストという新しいクリエイターの育成に向け、デジタルでのファッション造形・表現が可能になるように指導していきます。

到達目標(学修成果)

CLOの基本操作を身に着け、軽衣料(シャツ、スカート)のモデリングができるようになります。フィジカル(現実世界)との違いを理解し、デジタルでのファッション表現の可能性を広げることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で専門選択科目の単位です。服飾関係の専門的職業で活かせるデジタルモデリングの基礎力を培います。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場でコメント、フィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

配布プリント

参考文献

ファッション3Dモデリスト検定3級(CLO編)織研新聞社

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室(第3校舎2F)

備考

3DCGソフトは授業の教室内でしか使えない為、欠席しないようにしてください。
日程及び内容は授業進度により変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 羽・高	モデリング基本操作 画面操作、パターン配置練習 ネットの著作権等について	予習：シラバスを読む 復習：授業で学んだネット情報を確認	30分
2回 羽・高	モデリング基本操作 縫い合わせ設定練習	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
3回 羽・高	モデリング基本操作 着せ付け、生地操作	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
4回 羽・高	モデリング ギャザースカート	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
5回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
6回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
7回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
8回 羽・高	モデリング プリーツスカート(折り曲げ表現)	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
9回 羽・高	ディテール(ファスナー、ステッチ)	予習：副資材について調べる	30分
10回 羽・高	パターン編集(デザイン変更・パターン展開)	予習：パターン展開について調べる	30分
11回 羽・高	コーディネート(レイヤー設定、配色)	予習：着用時の服の重なりについて調べる	30分
12回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
13回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
14回 羽・高	課題製作 レンダリング、提出	予習：ポージングやレイアウトについて調べる	30分
15回 羽・高	プレゼンテーションを行い、アクティブラーニングでお互いに意見交換を行う。講評	予習：プレゼンテーションの練習	30分

ファッション3Dモデリング

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 モード・インダ

3・4年 後期

選択 (1単位 講義)

授業の方針・概要

ファッション3Dモデリング で学んだ基礎から発展させ、服の構造やリアルな表現ができるモデリングの知識と技術を学修します。ポーズ、ライティング、構図を決めて静止画でのレンダリングまでを行い、デジタルでのファッション表現力を高めます。クロスシミュレーションソフトCLOを使用します。

到達目標（学修成果）

CLOの応用操作を身に着け、パンツ、重衣料（ジャケット、コート）のモデリングができるようになります。フィジカル（現実世界）との違いを理解し、デジタルでのファッション表現を広げ、提案できるようになることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で専門選択科目の単位です。服飾関係の専門的職業で活かせるデジタルモデリングの基礎力を培います。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場でコメント、フィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

配布プリント

参考文献

ファッション3Dモデリスト検定3級（CLO編）織研新聞社

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室（第3校舎2F）

備考

前期ファッション3Dモデリング の単位取得者のみ履修できます。
3DCGソフトは授業の教室でしか使えない為、欠席しないようにしてください。
日程及び内容は授業進度により変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 羽・高	モデリング基本操作の復習 モデリング パンツ	予習：シラバスを読む	30分
2回 羽・高	モデリング パンツ	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
3回 羽・高	コーディネート	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
4回 羽・高	モデリング ジャケット	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
5回 羽・高	モデリング ジャケット	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
6回 羽・高	モデリング ダウンコート	予習：ダウンコートについて調べる	30分
7回 羽・高	モデリング ダウンコート	予習：ダウンコートについて調べる	30分
8回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
9回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
10回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
11回 羽・高	課題製作 テクスチャ設定、配色	予習：素材について調べる	30分
12回 羽・高	課題製作 アバター編集、ポージング	予習：ポージングについて調べる	30分
13回 羽・高	課題製作 構図決め、ライティング	予習：写真撮影の構図について調べる	30分
14回 羽・高	課題製作 レンダリング、提出	復習：プレゼンテーション前までに完成させ、提出する。	30分
15回 羽・高	プレゼンテーションにより、学習成果を提示しアクティブラーニングによる意見による改善を目指す。教員講評	予習：プレゼンテーションの練習	30分

食物学（食品学）

外川 恵

服飾学科 3年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

人間が日常利用している食品の主要成分や特徴，加工・調理による成分等の変化を学ぶ。
食の選択に関わる食品の安全性，食品表示，社会環境との関わりについての基礎知識を得て，適切に情報を読み解く力を養う。

到達目標（学修成果）

1. 各食品の栄養素等の特徴，加工・調理による成分の変化を理解し，説明することができる。
2. 食品の安全性や加工食品の食品表示について理解し，適切に判断できる。
3. 食と社会環境の関わりについて理解し，食生活に活用できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり，学位授与の方針として，専門コースに関わらず選択することが可能である。また，教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各講義のはじめに前回ワークシートの回答や解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「新食品成分表FOODS」 編者 新食品成分表編集委員会 東京法令出版株式会社

参考文献

随時紹介する。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

備考

実践栄養学を履修していることが望ましい。

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等を用いる場合は事前に必ず教員に確認をすること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	食と社会環境：日本の食生活の変化，日本の食料事情	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 穀類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 いも及びでん粉類，豆類，種実類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 野菜類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 果実類，藻類，きのこ類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 肉類，卵類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 魚介類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 乳・乳製品	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	食品の分類と特徴：嗜好飲料，調味料，油脂類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	食品の安全と選択：食品表示 食品表示法の概要，生鮮食品，加工食品	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	食品の安全と選択：食品表示 食品添加物，アレルギー表示，遺伝子組み換え表示，栄養や保健機能に関する食品表示	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	食品の安全と選択：食中毒，安全性を確保する制度	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	食品と調理：調理の意義，おいしさを形成する要因	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	食品と調理：調理法の特徴と食品の変化	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	食品の安全と選択：食育とリテラシー，健康・栄養情報の読み取り方	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分

住居学（製図を含む）

萬羽 郁子

服飾学科 3年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

住居学に関する基礎的知識の習得を目指し、まず、住居の役割や機能に説明する。次に、住居の歴史の変遷について概説し、間取り・生活の変化や室内環境について学習する。後半には、住まいの安全や住まいの計画（製図を含む）について学習し、健康・快適・安全な住まいについてまとめる。

到達目標（学修成果）

人間生活の器である住居の役割を理解し、住生活に関して居住者として必要な基礎的知識を身につける。住居の役割と機能、住居の歴史の変遷と生活の変化、室内の環境整備の必要性や維持管理方法について理解する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位であり、教員免許状取得のための教職課程必修科目である。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「住居学」は専門コースに拘らず選択することができ、専門力向上に資する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

質問等はメールで対応します。振り返りテストは解説等をフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示する。

参考文献

授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

前期：なし 後期：土曜日 第3校舎講師控室（第3校舎1階）

備考

2コマ連続（7・8限と9・10限）や一部をオンデマンド形式で行う場合があります。詳細は初回授業で説明します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 萬羽	オリエンテーション：住居とは、授業計画 住居の役割と機能（グループワーク）	予習：シラバスを読む。中・高家庭科教科書の関連内容を確認する。	30分
2回 萬羽	気候風土と住まい（プレゼンテーション）	予習：日本・世界の住まいについて調べる。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
3回 萬羽	住宅・住生活の変遷：古代～中世	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
4回 萬羽	住宅・住生活の変遷：近世の住宅（グループワーク）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
5回 萬羽	住宅・住生活の変遷：近代～現代	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
6回 萬羽	環境と住生活：温熱環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
7回 萬羽	環境と住生活：空気・音・光環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
8回 萬羽	住まいの安全：高齢者を取り巻く環境・バリアフリー	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：自宅バリアフリー調査をする。	90分
9回 萬羽	住まいの安全：家庭内事故の予防・ユニバーサルデザイン	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
10回 萬羽	住まいの安全：防災	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
11回 萬羽	住まいの選択と管理	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：住宅の選択に関する課題に取り組む。	90分
12回 萬羽	住まいの計画：平面図	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：製図課題の続きを行う。	90分
13回 萬羽	住まいの計画：家具配置	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：家具配置課題の続きを行う。	90分
14回 萬羽	住まいの計画（プレゼンテーション）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
15回 萬羽	まとめと振り返り（小テスト・レポート）	予習：これまでの学習内容を確認する。 復習：振り返りレポートを作成する。	90分

保育学（実習及び家庭看護を含む）

川崎 理香

服飾学科 3年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

保育学においては、子どもの発達や子どもの他者への関わりについて、担当教員の幼稚園教諭・保育士の実務経験から具体例を聞き、幼児理解の姿勢を学ぶ。また知識だけでなく、自らが活動を体験することにより保育技術の向上を目指し、グループワークやプレゼンテーションによる学び合いによって保育者の役割や子どもへの理解を一層広げたり深めたりする。

到達目標（学修成果）

- ・乳幼児期の発達を理解できるようになる。
- ・乳幼児期の子どもたちが、出会う身近な存在である人的環境や物的環境との関わりを知ることができる。
- ・教材研究を通して子ども理解を深めることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位となる。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「保育学」は専門コースに拘らず選択することが出来、社会基礎力の向上に資する科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業のはじめに前回の授業の振り返りを行う。授業の終わりに振り返りシートを記入し、授業内容の理解の深まりを確認する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回レジュメを配布する。

参考文献

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育、保育保育要領の各解説書

オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎1階教務課

後期：土曜日（9時00分～10時40分）本校舎1階教務課

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 川崎	オリエンテーション 保育とは何か	予習：シラバスを読む。保育とは何かについて自分なりに考えをまとめる	30分
2回 川崎	乳児の発達の姿と保育	予習：子どもが誕生してから乳児期の発達について調べる	30分
3回 川崎	3～5歳児の成長・発達と保育	予習：幼児期の成長・発達について調べる	30分
4回 川崎	保育者の役割	予習：保育者についてのイメージや役割について考えをまとめる	30分
5回 川崎	5領域の目標とねらい・内容 幼児教育施設の違いについて	予習：子どもの育ちの側面からとらえた5領域について調べる	30分
6回 川崎	遊びを通しての総合的な指導	予習：子どもにとって遊びとはどのような意味を持つのか考えをまとめる	30分
7回 川崎	環境を通して行う保育・教育	予習：社会の状況に応じて変化してきた子どもを取り巻く環境について考える	30分
8回 川崎	一人一人の発達に応じた指導	予習：「個」と「集団」の関係をどのように捉えたらよいのか考える	30分
9回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動	予習：課題について教材研究しておく	30分
10回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動	予習：課題について教材研究しておく	30分
11回 川崎	教材研究 「模擬保育」の展開を考える...グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
12回 川崎	教材研究 「模擬保育」の展開を考える...グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
13回 川崎	教材研究 「模擬保育」...グループ発表・評価・反省	予習：模擬保育の発表が出来るように練習しておく	30分
14回 川崎	事例研究 保育者の援助を考える まとめ	予習：保育者の具体的な役割を事例について分析・考察しておく	30分
15回 川崎	授業内試験	予習：14回目までの授業の内容の確認	30分

食文化論

外川 恵

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

人間にとっての食のとらえ方，食に関する生活様式を自然環境との関わり，歴史的，文化的，社会的な背景，精神的満足感（おいしさ，楽しさなど）の側面から学ぶ。日本の食文化を学んだ上で，他国や他宗教等の多様な食文化を理解し，多様な価値観を受け入れ，尊重する力を養う。

到達目標（学修成果）

1. 日本および他国，他宗教等の食文化の特徴を理解し，多様な価値観を受け入れ，尊重することができる。
2. 日本および他国，他宗教等の日常の食事の特徴を説明できる。
3. 食文化に関して自分の考えを述べるができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり，学位授与の方針として，専門コースに関わらず選択することが可能である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各講義のはじめに前回ワークシートの回答や解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

適宜資料を配布する。

参考文献

日本の食文化 「和食」の継承と食育（新版） 編著者 江原絢子・石川尚子 アイ・ケイ・コーポレーション

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等を用いる場合は事前に必ず教員に確認をすること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	食生活と文化：共食の意義	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
2回 外川	日本の食文化：和食，郷土料理	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
3回 外川	日本の食文化：行事食と儀礼食	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
4回 外川	日本の食文化：日本料理様式の形成	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
5回 外川	日本の食文化：日本料理，食器・食具	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
6回 外川	日本の食文化：菓子	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
7回 外川	食事様式の比較	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
8回 外川	世界の食文化：フランス料理様式の形成	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
9回 外川	世界の食文化：フランス料理，食器・食具	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
10回 外川	世界の食文化：フランスの食材・料理	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
11回 外川	世界の食文化：中国	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
12回 外川	世界の食文化：韓国	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
13回 外川	食の禁忌と忌避：宗教と食文化	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
14回 外川	食の禁忌と忌避：ライフスタイルや価値観と食文化	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
15回 外川	授業内試験及びまとめ	事前学習：これまでの学習を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

食物学（調理実習・実験）

外川 恵

服飾学科 3年 前期 選択（1単位 実験実習）

授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、実習・実験を通して食品の特徴を活かす調理法を学び、調理技術を習得する。基本的な調理操作と献立作成等の知識を複合的に活用し、日常食の調理を習得する。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

到達目標（学修成果）

1. 食品の調理性および調理手法の特徴を理解し、基礎的な調理手法、包丁操作ができる。
2. 栄養、嗜好等に配慮した日常食を理解し、調理を行える。
3. 教員免許取得者においては、安全で科学的な調理実習が運営できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各実習のはじめに前回ワークシートの解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版社

参考文献

随時紹介する。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

備考

食物アレルギーがある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスクを持参すること。実践栄養学を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	オリエンテーション、実習室における衛生管理、食品の計量	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	だしの取り方、米の調理（炊飯）、切り方の基礎	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	食材の基礎調理と献立：卵類 日本茶の淹れ方	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	食材の基礎調理と献立：その他の野菜類（淡色野菜）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	食材の基礎調理と献立：緑黄色野菜類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	食材の基礎調理と献立：いも類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	食材の基礎調理と献立：豆類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	食材の基礎調理と献立：ゲル化剤	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	食材の基礎調理と献立：乳類・小麦粉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	食材の基礎調理と献立：小麦粉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	食材の基礎調理と献立：魚類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	食材の基礎調理と献立：肉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	食材の基礎調理と献立：ひき肉	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	食材の基礎調理と献立：魚類，肉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を復習する	60分

食物学（調理実習・実験）

外川 恵

服飾学科 3年 後期 選択（1単位 実験実習）

授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、実習・実験を通して加熱操作別の調理特性を学ぶ。食物学（調理学実習・実験）で学んだ調理技術を向上させ、対象者や目的に合わせた日常食、行事食の調理に応用させる。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

到達目標（学修成果）

- 調理手法の特徴を理解し、応用した調理手法および包丁操作ができる。
- 栄養、嗜好、季節等に配慮し、対象者に合わせた日常食および行事食の調理を行える。
- 教員免許取得者においては、安全で科学的かつ日常生活に応用可能な調理実習が運営できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各実習のはじめに前回ワークシートの解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版社

参考文献

随時紹介する。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

備考

食物アレルギーがある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスクを持参すること。実践栄養学、食物学（調理学実習・実験）を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	調理法からのアプローチ：汁、減塩の工夫	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	応用調理：和食献立	事前学習：自身の朝食をふりかえる 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	調理法からのアプローチ：煮る	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	調理法からのアプローチ：炒める	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	調理法からのアプローチ：焼く	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	調理法からのアプローチ：揚げる	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	調理法からのアプローチ：魚をおろす	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	応用調理：和風献立	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	調理法からのアプローチ：蒸す	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	応用調理：弁当	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	応用調理：行事食（クリスマス料理）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	応用調理：行事食（正月料理）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	応用調理：洋風料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	応用調理：中国料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を復習する	60分

言語と服飾文化

北澤 茉奈、安部 智子

服飾学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

服飾文化に関する題材を英語で読むことにより、その知識を深めるとともに、英文で書かれた内容を素早く正確に理解するための練習をします。1940～1950年代のパリ・オートクチュール（Christian DiorとCristobal Balenciaga）についてのアカデミックな英語（解説文）を扱い、語学としての英語と服飾文化の両方にフォーカスします。学生それぞれの英文解釈に対するフィードバックおよび解説、服飾に関する講義の形式で進めます。英文解釈は授業内に提出し、プロジェクターに投影する形で皆に共有します。授業毎に復習テストを実施し、前回内容と関連させながら新たな範囲を読み解いていきます。

到達目標（学修成果）

1．英語で書かれた文章の構造を理解し、求められた情報を素早く見つけ正確に理解することができるようになる、2．辞書や検索の結果から得た情報を自分の言葉でまとめ発信することができるようになる、3．パリ・オートクチュールについての知識を増やす、の3点です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての言語と服飾文化は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

復習テスト、英文解釈は授業内で採点・解説を行います。まとめのテストは採点し返却を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Claire Wilcox編 The Golden Age of Couture: Paris and London 1947-57 (V&A Publications)より
第6章 Dior and Balenciaga: A Different Approach to the Body (pp. 138-154)

参考文献

必要があれば指示します。

オフィスアワー・研究室

連絡研究室：英語研究室（研究棟3階6034）・服飾造形研究室（研究棟3階6033）

オフィスアワー：第1回目の授業で提示します。

備考

テキストは、大型本のためコピーを用意します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。復習：授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	ディオールとバレンシアガについて	予習：テキストに目を通す。復習：復習テストに備える。	45分
3回 各自	ディオールの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
4回 各自	バレンシアガの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
5回 各自	ディオールの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
6回 各自	バレンシアガの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
7回 各自	ディオールとバレンシアガのデザイン・スピリット	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
8回 各自	ディオールとバレンシアガの制作プロセス	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
9回 各自	バレンシアガのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
10回 各自	ディオールのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
11回 各自	バレンシアガのフォルム	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
12回 各自	ディオールとバレンシアガの代表的ライン	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
13回 各自	ディオールとバレンシアガのディテール	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
14回 各自	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る。	60分
15回 各自	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る。	45分

日本語表現

伊藤 高広

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじめて、短い文章を書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

到達目標(学修成果)

正確な日本語で短文を書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回ごとに課題を添削します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

大学で学ぶための 日本語ライティング 短文からレポート作成まで
the japan times publishing

参考文献

必要に応じて指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室(研究棟1階)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	授業の方針・概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	質問に対して適切に回答する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	質問に対して適切に回答する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	情報を整理して説明する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	情報を整理して説明する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	状況や理由を説明する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	状況や理由を説明する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	文章の構成を考える	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	文章の構成を考える	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	小まとめ 確認と短い作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
11回 伊藤	報告する文章を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
12回 伊藤	報告する文章を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	前期のまとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語表現

伊藤 高広

服飾学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本語表現 に引き続き、本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。短文からはじまって、レポートレベルの文章が書けるまでの練習をする。翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

到達目標（学修成果）

正確な日本語でレポートを書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回ごとに課題を添削します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

大学で学ぶための 日本語ライティング 短文からレポート作成まで
the japan times publishing

参考文献

必要に応じて指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室（研究棟1階）

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	自己紹介の文章を書く	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	自己紹介の文章を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	レポートに特有の表現に慣れる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	レポートに特有の表現に慣れる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	引用の仕方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	引用の仕方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	引用の仕方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
11回 伊藤	小まとめと確認	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
12回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	まとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語

銭 陶緯、宮下 利江

服飾学科 3年 前期 選択必修 (4単位 講義)

授業の方針・概要

大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Iに関しては、専門用語を学び、初級文法の復習定着及びその運用能力の向上を目指す。また、読解と対話のタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての理解力と思考力を養成する。

到達目標 (学修成果)

専門用語を学び、講義や発表を理解する力を高める。習得した文法事項を使い、自分の意見をまとめ、発表やディスカッションができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『JLPT文法N3ポイント&プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク

『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』 著者：国際基督教大学教養学部日本語教育課程 出版社：スリーエーネットワーク

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】専門用語。スポーツクラブに入会する。	【予習】シラバスを読む。 【復習】授業に必要なものを準備する。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達をお花見に誘う。 【対話】習い事は役に立つ?	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達とお花見を計画する。 【対話】習い事は役に立つ?	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。電車が遅れる。 【対話】習い事は役に立つ?	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。これは雑誌の占いだ。 【対話】漢字・平仮名・片仮名、どれで書く?	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。留学した理由を話す。 【対話】漢字・平仮名・片仮名、どれで書く?	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。インターネットでの買い物 【対話】漢字・平仮名・片仮名、どれで書く?	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。カメラを修理に出します。 【対話】昔話の世界を知ろう	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。カジュアルな表現と敬語 【対話】昔話の世界を知ろう	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達に授業のお願いをする。 【対話】昔話の世界を知ろう	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達を相撲に誘う。 【対話】旅の計画を立ててみよう	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。レトルトカレーを温める。 【対話】旅の計画を立ててみよう	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。職場で休みの希望を言う。 【期末試験の説明・復習】	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】期末試験の準備	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。台風の準備をする。 【対話】旅の計画を立ててみよう	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

日本語

銭 陶緯、宮下 利江

服飾学科 3年 後期 選択必修 (4単位 講義)

授業の方針・概要

日本語IIに引き続き、大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語IIに関しては、専門用語をさらに学び、中級文法の定着及びその運用能力の向上を目指す。また、対話、発表などのタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての思考力と表現力を養成する。

到達目標 (学修成果)

高度な専門用語を学び、講義や発表を理解する力をさらに高める。習得した文法事項を使いこなし、表現力とともにレポートや論文を書くための基礎的な日本語力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『JLPT文法N3ポイント＆プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク

『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』 著者：国際基督教大学教養学部日本語教育課程 出版社：スリーエーネットワーク

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】専門用語。これは化粧品品の宣伝だ。	【予習】シラバスを読む。 【復習】授業に必要なものを準備する。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。電気屋でパソコンを買う 【対話】違いについて考えてみよう。	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。お勧めの観光地を聞く 【対話】違いについて考えてみよう。	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。接続詞と副詞 【対話】違いについて考えてみよう。	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。法律相談所に電話をかける。 【対話】音楽にはどんな力がある？	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。これは映画の広告だ。 【対話】音楽にはどんな力がある？	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。言葉の意味を調べる。 【対話】音楽にはどんな力がある？	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。先生に年賀状を送る。 【対話】日本から世界へ	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。車の事故があったそうだ。 【対話】日本から世界へ	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。新聞社に私の意見を送る。 【対話】日本から世界へ	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。スピーチをする。 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。部屋を借りる。 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。健康診断を受ける。 【期末試験の説明・復習】	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】期末試験の準備	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。お世話になった人にお礼を 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】「文型・表現」練習シート	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

特別活動の指導法

今泉 朝雄

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

学校教育とは単に教科授業だけではなく、学級活動、生徒会活動、運動会や修学旅行などの各学校行事など教科外の集団的な特別活動も重要な教育内容に含まれる。本講義では特別活動の位置付け、目標、意義、内容、方法に関する基礎的な理解を深め、その実践的な計画力、指導力を身に付けることを目指す。講義だけではなく、様々な集団活動の実践も採り入れる。

到達目標（学修成果）

- ・特別活動に関する基本的知識を実践に活用できるようになる。
- ・学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動の指導の計画、実践指導ができるようになる。
- ・生徒自治や生徒の主体的な活動の教育的意義について自身なりの考え方を提示できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は教職課程履修者必修科目であり、卒業要件科目ではない。ただし、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となるものである。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題については、返却後授業内において解説する

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

今泉朝雄『教科外教育の理論と方法』叢書、2024年、1980円（税込）

参考文献

文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』2017年

オフィスアワー・研究室

授業後 30 分程度。あらかじめご連絡下さい。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 今泉	イントロダクション 本時の概要 / 特別活動の定義について	予習：過去の特活動振り返る 復習：特別活動の定義を整理	120分
2回 今泉	特別活動の教育的意義 教科との比較において検討する	予習：過去の教育経験を検討 復習：本時の内容を整理する	120分
3回 今泉	特別活動の歴史と学習指導要領の位置付け 歴史を踏まえ、学習指導要領の位置づけを理解する	予習：日本の近代史を振り返る 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
4回 今泉	学校集団の基礎理論 同調圧力の理論をもとに、望ましい集団の有様を検討する	予習：学級の経験を振り返る 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
5回 今泉	教育的集団をどう構成するか 事例から、学級集団の形成について理解する	予習：過去の学級経営を振り返る 復習：学級の集団形成方法を整理する	120分
6回 今泉	学級活動とは何か 学習指導要領から目標・内容・計画・評価について理解する	予習：学級活動の内容を振り返る 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
7回 今泉	話し合い活動の方法 1 実際に話し合い活動を行う	予習：学校の話し合いを振り返る 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
8回 今泉	話し合い活動の方法 2 話し合いの指導方法を理解する	予習：前回の取組の問題点を検討する 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
9回 今泉	学校行事の指導方法 学習指導要領から目標内容・計画・評価について理解する	予習：修学旅行の意義を検討する 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
10回 今泉	生徒会活動の指導方法 学習指導要領から目標内容・計画・評価について理解する	予習：過去の生徒会の経験を振り返る 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
11回 今泉	生徒自治と教育 事例から生徒自治のあり方について考える	予習：事例について予め検討する 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
12回 今泉	特別活動と学外組織との連携 学外連携の意義とその方法について理解する	予習：校外での取組の大変さを考える 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
13回 今泉	部活動とは何か 課外活動としての問題点について考える	予習：自身の部活動を振り返る 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
14回 今泉	部活動の指導方法 担当を一つ設定し、具体的に検討する	予習：活動計画を検討する 復習：教科書当該箇所を読み整理する	120分
15回 今泉	これまでの総復習 本時の内容が教員にとってどんな意義があるのかを考える	予習：レポートに向けた作業を行う 復習：これまでの内容をまとめる	120分

家庭科教育法（基礎）

鈴木 麻理絵

服飾学科 3年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

教員免許状取得のための教職課程必須科目であることを主眼に、家庭科教員として必要な資質・能力を高めることを目的としている。また、授業担当者の教育現場における実務経験を活かし、現状を把握して対処方法等を探る。

到達目標（学修成果）

家庭科の目標および内容を踏まえ、年間指導計画の立案の仕方、学習指導案の作成の仕方の基礎を学び、作成できるようになる。また、効果的な教材についても知識を得る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。教員免許状取得のための教職課程必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

8回目と15回目に課題・小テストの返却と解説を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・中学校『新しい技術・家庭科「家庭分野」』東京書籍
- ・高等学校『家庭総合 自立・共生・創造』東京書籍
- ・佐藤文子・川上雅子『家庭科教育法』高陵社書店

参考文献

- ・文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編』
- ・文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 家庭編』

オフィスアワー・研究室

連絡研究室：教務課（本校舎1階）

出講日：土曜日

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション ・家庭科の歴史	予習：どのような家庭科教育を受けてきたかを思い出しておく。	30分
2回 鈴木	家庭科教育法とは	復習：授業資料を読み返す。	30分
3回 鈴木	学習指導要領（小学校）	復習：小学校の学習指導要領についてレポートをまとめる。	60分
4回 鈴木	学習指導要領（中学校）	復習：中学校の学習指導要領についてレポートをまとめる。	30分
5回 鈴木	学習指導要領（高等学校）	復習：高等学校の学習指導要領についてレポートをまとめる。	60分
6回 鈴木	学習指導方法の要点1	復習：学習指導方法についてレポートをまとめる。	30分
7回 鈴木	学習指導方法の要点2、小テスト	復習：学習指導方法をまとめた資料を読み返す。	30分
8回 鈴木	年間指導計画の立案1 小テストの返却と解説	復習：配布資料を振り返る。	30分
9回 鈴木	年間指導計画の立案2（中学校）グループディスカッション	復習：中学校の指導計画についてレポートをまとめる。	60分
10回 鈴木	年間指導計画の立案3（高等学校）グループディスカッション	復習：高等学校の指導計画についてレポートをまとめる。	60分
11回 鈴木	効果的な教材の立案・作成（グループワーク）	予習：効果的な教材を調べて来る。	30分
12回 鈴木	学習指導案の立案1（中学校）	復習：学習指導案の立案方法を振り返る。	30分
13回 鈴木	学習指導案の立案2（中学校）	復習：学習指導案（中学校）をまとめる。	60分
14回 鈴木	学習指導案のまとめ、課題提出と小テスト グループディスカッション	復習：他者の学習指導案を参考にし、レポートをまとめる。	30分
15回 鈴木	家庭科教育法・学習指導要領のまとめ、課題と小テストのフィードバック	復習：試験問題を振り返る。	30分

総合的な学習の時間の指導法

今泉 朝雄

服飾学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

学校教育における重要な教育活動である総合的な学習の時間について、教育課程上の位置づけや教育的意義、計画や指導の方法等について学習する。また、それら基礎的知識をもとに、主体的・対話的で深い学びを基盤とした探究的な学習に関わる計画、指導の実践的な資質・能力を身につける。

到達目標（学修成果）

- 総合的学習の教育的意義、教育課程における位置付け、特徴、学習指導要領における目標、内容について説明できる。
- 総合的学習の年間指導計画、指導方法、評価方法を実践的な視点から構成することができる。
- 総合的学習を中心として主体的・対話的で深い学びを実現できる教育課程、及びその単元を構成することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は教職課程履修者必修科目であり、卒業要件科目ではない。ただし、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となるものである。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題については、授業内において解説する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

今泉朝雄『教科外教育の理論と方法』叢書、2024年、1980円（生徒指導論、特別活動の指導法と同じ教科書）

参考文献

文部科学省『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』2017年

オフィスアワー・研究室

授業後 30分程度。あらかじめご連絡下さい。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 今泉	イントロダクション 本時の概要について	予習：教科書の目次を確認する 復習：本時全体計画の概要を整理する	120分
2回 今泉	総合的学習とは何か 自身の過去の経験を振り返り考える	予習：過去の経験を考える 復習：本時の内容を整理する	120分
3回 今泉	歴史からみる総合的学習の理論的背景 ジョン・デューイの理論等を踏まえ、その意義を理解する。	予習：総合学習の意味を調べる 復習：総合的指導理論の基礎を整理	120分
4回 今泉	学習指導要領における総合的学習 学習指導要領からその位置付けを理解する	予習：学習指導要領を読んでおく 復習：その位置付けを整理する	120分
5回 今泉	総合的学習の全体計画 総合的学習の全体計画、年間指導計画の考え方を理解する	予習：全体計画の事例を探す 復習：全体計画の事例を分析する	120分
6回 今泉	総合的学習における探究と主体的対話的深い学び 中心的取り組みである「探究」の基本的考え方を理解する	予習：探究の意味を自身なりに調べる 復習：本時の内容について整理する	120分
7回 今泉	探究と問い 「探究」を深めるための問いの立て方を理解する	予習：探究を取り組む課題を考える 復習：課題について問いを立ててみる	120分
8回 今泉	多面的多角的探究の方法 多様な視点から分析する方法について実践する	予習：多面的多角的、の意味を調査 復習：課題を多面的多角的に検討	120分
9回 今泉	情報収集、整理の方法 探究における情報収集の方法について検討する。	予習：探究について情報を探索 復習：情報を整理し発表を検討	120分
10回 今泉	総合的学習における協働学習の意味と方法 総合的学習における協働学習について理解する	予習：教科書該当箇所を読んでおく 復習：協働の意義について整理する	120分
11回 今泉	総合的学習の事例分析 実際の総合的学習の指導事例について分析する	予習：自身が事例を検索する 復習：分析結果をまとめる	120分
12回 今泉	総合的学習の評価方法 総合的学習の評価方法について理解する	予習：教育評価の意味を調べる 復習：総合的学習の評価の特徴整理	120分
13回 今泉	学生による探究の発表1 学生が行った探究活動を発表し討論する	予習：発表について準備 復習：各発表内容を分析、評価する	120分
14回 今泉	学生による探究の発表2 学生が行った探究活動を発表し討論する	予習：発表について準備 復習：各発表内容を分析、評価する	120分
15回 今泉	これまでの総復習 / 取り組みへのフィードバック 本科目が教員にとってどんな意義があるのかを考える	予習：過去の活動の意味を検討 復習：本時全体の内容を整理する	120分

家庭科教育法

鈴木 麻理絵、北折 貴子

服飾学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

教員免許状取得のための教職課程必須科目であることを主眼に、家庭科教員として必要な資質・能力を高めることを目的としている。また、授業担当者の教育現場における実務経験を活かし、現状を把握して対処方法等を探る。

到達目標(学修成果)

中学校・高等学校家庭科の目標および内容を踏まえ、高等学校学習指導案・試験問題を作成し、効果的な教材を用いて授業を行う力量を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。教員免許状取得のための教職課程必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

5回目と15回目に課題について解説と小テストを返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・中学校『新しい技術・家庭科「家庭分野」』東京書籍
- ・高等学校『家庭総合 自立・共生・創造』東京書籍
- ・佐藤文子・川上雅子『家庭科教育法』高陵社書店

参考文献

- ・文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編』
- ・文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 家庭編』

オフィスアワー・研究室

連絡研究室：教務課(本校舎1階)

出講日：土曜日

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	学習指導案の立案1	復習：学習指導案の立案方法を振り返る。	30分
2回 鈴木	学習指導案の立案2(高等学校)	復習：学習指導案(高等学校)についてレポートをまとめる。	60分
3回 鈴木	学習指導案の立案3(高等学校)	復習：学習指導案(高等学校)についてレポートをまとめる。	60分
4回 鈴木	学習指導案のまとめ・小テスト グループディスカッション	復習：他者の学習指導案を参考にし、まとめる。	30分
5回 鈴木	評価方法1 小テストの解説	復習：教科書をまとめる。	30分
6回 鈴木	評価方法2	復習：教科書をまとめる。	30分
7回 鈴木	評価方法実践 グループディスカッション	復習：テスト問題を作成する	60分
8回 鈴木	効果的な教材の立案・作成1	予習：効果的な教材を調べて来る。	30分
9回 鈴木	効果的な教材の立案・作成2	予習：効果的な教材を調べて来る。	30分
10回 鈴木	効果的な教材の立案・作成3	予習：効果的な教材を調べて来る。	30分
11回 鈴木	実技指導のための教材作成1	復習：実技指導での注意点についてレポートをまとめる。	30分
12回 鈴木	実技指導のための教材作成2	復習：実技指導での注意点についてレポートをまとめる。	30分
13回 鈴木	実技指導のための教材作成3	復習：実技指導での注意点についてレポートをまとめる。	30分
14回 鈴木	実技指導のための教材作成4 8~14回のまとめと小テスト	復習：実技指導での注意点についてレポートをまとめる。	30分
15回 鈴木	まとめ 課題(試験やレポート等)フィードバックを行う	復習：試験(学習指導案)を見直す。	30分

教育法規

白井 勝美

服飾学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

1年生後期から教職課程の履修開始となります。本授業では、「教育」を「学ぶ立場」から、初めて「教える立場」に転換して学ぶ皆さんに、教育制度の仕組みと構造を総括的に講義します。また、教員養成に制度化されている介護等体験準備（評価含む）も本授業内で実施します。

到達目標（学修成果）

教育制度の関連法規である「日本国憲法23条・26条を代表とする教育関連条文」、「学校教育法1条校を代表とする学校教育法内の教育関連条文」、「教育基本法の55のキーワード」「その他制度に関する重要事項」を習得できる。日本の教育制度の基本構造を知る。授業を通して、日本の「学校教育」の現状について知る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、教職課程科目で卒業要件科目ではありません。教職課程履修者必修科目ですが、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となると考えている。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

試験内容についてポイントを解説する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業資料プリントを作成する。

参考文献

授業時に適宜指示する。

オフィスアワー・研究室

前期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課 後期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課

備考

成績表について 定期試験 小レポート（教職ポートフォリオカルテを含む） 授業姿勢（欠席・遅刻も含む）・日常課題を重要視する。その他追加については授業時に指示する。履修便覧の「教職課程について」を必ず読んでおいてください。1年生後期の教職課程3科目の単位修得が2年生以降の教職課程継続条件となります。出席を重視します。誠実に学修してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白井	オリエンテーション 授業計画 本学教職課程の概要 小レポートの作成 ディスカッション	学校教育経験を振り返りレポートを提出する。	60分
2回 白井	学校教育を考える ・前回小レポートの内容紹介を通して、「学校教育」を考える。 教職課程履修申告の締切り	復習 授業資料を振り返り、学校教育の経験値の違いを知る。	30分
3回 白井	学校教育を考える ・教育制度の概要と制度に関わる法規（憲法・基本法他含む）近年の教育政策の動向を知る。	復習 授業資料を振り返り、「教育」のイメージ図を整理する。	30分
4回 白井	4年生「教育実習報告会」聴講	復習 「報告会資料」を読み返す。	30分
5回 白井	我が国の学校制度の特徴を知る。Active Learningディスカッション	復習 各種学校数の確認 日本国憲法23条と26条の内容を理解し暗記する。	30分
6回 白井	公教育制度を構成する教育関係法規を知る。Active Learningディスカッション	復習 学校教育法1条校を理解する。日本国憲法23条と26条を暗記する。	30分
7回 白井	1条校、各種学校、専修学校、大学校等を通して教育行政の仕組みを知る。	復習 日本における学校制度の内容を確認する。資料内のタームを暗記する。	30分
8回 白井	公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解する。Active Learningディスカッション	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重要ワードを暗記する。	30分
9回 白井	教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの重要性を理解する	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重要ワードを暗記する。	30分
10回 白井	学校経営の仕組みを理解する。 学校内外の関係者・関係機関との連携・協働を理解する。	復習 これまでの復習と教育基本法10条までの重要ワードを暗記する。	60分
11回 白井	地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解する。	復習 これまでの復習と教育基本法全文中の重要ワードを暗記する。	60分
12回 白井	地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解する。	復習 授業資料を振り返り、「生きる力」の内容を再度理解する。	30分
13回 白井	事故及び災害の実情を踏まえて、危機管理や事故対応など学校安全の必要性を理解する。	復習 授業資料を振り返り、内容を再度確認する。	30分
14回 白井	介護等体験オリエンテーション 我が国の学校における安全管理・安全教育の両面から具体的な取組を理解する。	復習 授業資料を振り返り、介護等体験の意義と今後の体験方法を理解する。	30分
15回 白井	前期授業のまとめ	復習 試験に備えて復習する。	60分

教育相談（カウンセリングを含む）

手島 陽介

服飾学科 3年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

教育相談は、幼児、児童生徒が集団の中で適応する力を育み、個性や人格の成長を支援する教育活動である。発達に即して心理的特質や課題を捉え、支援に必要な基礎的知識を身につける。

到達目標（学修成果）

教育相談の意義と理論を理解し、教育相談の具体的な進め方や、教育相談の基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的知識）を理解する。さらに、カウンセリングの技術が、教育現場や社会でどのように生かせるかを学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、卒業要件科目ではなく、教員免許状取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題についての解説とテストの返却をし、教育相談のまとめをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

春日井敏之・伊藤美奈子編著、『よくわかる教育相談』、ミネルヴァ書房
その他、進行に合わせてプリントを配布する。

参考文献

必要に応じて授業時に文献を紹介する。

オフィスアワー・研究室

前期：水曜日（12：00-15：00）研究室 後期：水曜日（12：00-15：00）研究室

【連絡研究室】心理学研究室（研究棟1階 6015）

備考

毎時間、プリントと教科書を準備してください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 手島	教育相談の意義と方法について - 教育相談が教育現場で求められる意義 -	予習：過去、自身が相談をして良かった体験、そうでない体験を探してくる	30分
2回 手島	現代社会とメンタルヘルスを考える - 教師に求められる臨床的視点 -	復習：授業プリントから、なぜ教育場に相談が必要なのか振り返る	30分
3回 手島	幼児、児童及び生徒の問題行動と教育相談	復習：授業プリントを復習し、問題行動の事例について振り返り、対応方法を考える	30分
4回 手島	支援体制と教育相談 - チームとしての学校のあり方、支援のための体制づくり -	復習：授業プリント、教科書から、支援体制のあり方を復習する	30分
5回 手島	教育相談の流れを概観する 相談から問題解決までの流れについて	復習：教科書及びプリントを読み返し、相談の流れをイメージする	30分
6回 手島	教育相談の流れを概観する 他職種や専門機関、地域との連携について	復習：教科書及びプリントを読み返し、他職種や専門機関等をインターネットなどで調べる	30分
7回 手島	カウンセリングの基本的態度を学ぶ - 受容、傾聴、共感、カウンセリングマインド -	復習：カウンセリングの基本的態度を復習し、関わり方を実践してみる	30分
8回 手島	カウンセリングの主要な理論と技法 - 精神分析、来談者中心療法、行動療法 -	復習：教科書及びプリントを読み返し、心理療法の考え方を復習する	30分
9回 手島	カウンセリングの主要な理論と技法 - 認知行動療法、日本の心理療法 -	復習：教科書及びプリントを読み返し、心理療法の考え方を復習する	30分
10回 手島	教育相談の事例から学ぶ - 不適応事例と教育相談 -	復習：授業で取り上げた事例について、自分なりの対応方法を考える	30分
11回 手島	教育相談の事例から学ぶ - 保護者への支援と教育相談 -	復習：授業で取り上げた事例について、自分なりの対応方法を考える	30分
12回 手島	発達段階や発達課題に応じた教育相談について	復習：教科書、プリントを読み返す	30分
13回 手島	予防的な取り組みと教育相談について	復習：教科書、プリントを読み返す	30分
14回 手島	本授業でのまとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	まとめ 課題や小テストのフィードバックを行う	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

博物館展示論

横山 昭一

服飾学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

展示は博物館への導入であると同時に、博物館の顔ともいえ、その良し悪しが集客力に大きくかかわってきます。今まで来館者として見ていた「博物館展示」を、学芸員の立場で創造していく皆さんに、長年地域博物館に学芸員として携わってきた実務経験を活かして、博物館展示の意義や歴史、実際の事例等を総合的に講義します。一人でも多くの観覧者を集客し、少しでも長く館に滞留して、興味や好奇心を起こさせる展示の開発や運営ができる学芸員の育成を目指します。

到達目標(学修成果)

博物館における展示の歴史、展示の諸形態から教育活動、展示メディアに関する理論や方法に関する知識・技術が習得できる。ユニバーサルデザインの考え方や展示評価を学び、照明理論やディスプレイ等の今日の課題を主体的に考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。博物館学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。学芸員として必要な展示に関する理論や実践方法を学びながら、社会人としての幅広く深い教養と総合的な判断力の向上をめざします。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の冒頭に前回の振り返り、終わりに感想や質問内容をメモで提出。各小テスト・レポート提出後の講義で内容解説を行なう。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし 課題内容に即した資料プリントを配布します。

参考文献

加藤有次他編 「新編博物館学講座9博物館展示論」雄山閣

青木豊著 「博物館展示の研究」雄山閣

オフィスアワー・研究室

講義日の講義終了後、第三校舎講師控室(第3校舎1階)、もしくは教務課(本校舎1階)を通じて連絡をしてください。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 横山	博物館展示論のガイダンス・展示に関するアンケート実施。「あなたが考える良い博物館像」を各自発表。	予習:シラバスを読む。機会あるごとに多くの博物館施設の展示を見ておく。	40分
2回 横山	展示の原則・理念 展示の基本要素、展示の原則を広義の展示を交えて学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
3回 横山	展示の種類 博物館展示の命題や要件、博物館展示の種類を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
4回 横山	展示と展示論の歴史 博物館展示論の研究の歴史を学ぶ。 小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
5回 横山	常設展示と企画展示 館種や設置目的によって異なる展示の特徴を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
6回 横山	博物館展示の実際 施設見学や学芸員との質疑を通して館の課題を知り評価を行う。 見学レポート作成	予習:事前案内や配付資料を読み返す。 見学レポートをまとめる。	70分
7回 横山	展示業務の実際 構想から施工まで 計画設計、実施設計の流れと各段階での業務を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
8回 横山	展示室の構成 環境・空調・動線・照明・音響・セキュリティ動線計画や照明を中心に学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
9回 横山	展示室の構成 サイン・展示ケース・演具 展示ケースの役割・種類、メンテナンスを学ぶ。 小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
10回 横山	展示の技法 映像・インタラクティブ展示、ハンズオン展示 映像展示の特徴やハンズオン展示の実際を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
11回 横山	展示の技法 展示グラフィック・解説文・展示図録 展示パネルの種類や解説文、図録作成のプロセスを学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
12回 横山	展示の技法 ワークシート・ワークブック・教育プログラム 教育プログラムの事例や利活用のあり方を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
13回 横山	展示の技法 ユニバーサルデザイン・展示評価 ユニバーサルデザインや展示評価について学ぶ。 小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
14回 横山	博物館展示の情報化と広報活動 展示解説の方法、他言語表記、広報活動のあり方を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
15回 横山	まとめ 授業や提出物のフィードバックを行い、これからの展示について討議する。	復習:授業を振り返り、提出物のフィードバックを行なう。	30分

博物館教育論

浪川 幹夫

服飾学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館における教育は、博物館の総体であると考えなければならない。したがって、博物館の基本機能は、すべて博物館教育を目的としている。つまり、収集・保存・研究は展示と教育を目的としているので、博物館教育論は博物館の最終機能となる。

展示は博物館教育の基本であるが、展示論は別途科目として存在するため、ここでは展示及び展示関連事業を基本とした教育諸活動に焦点をあてて理解を求める。

到達目標（学修成果）

- ・博物館教育活動の歴史と概念の理解
- ・博物館における教育諸活動の具体的実践

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき博物館に関する科目の単位の一つ。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業資料プリントを作成する。

参考文献

授業時に適宜指示する。

オフィスアワー・研究室

前期 月曜日（14：00～14：30）

備考

成績表は、課題提出による。課題は、授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出するものとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 浪川	ガイダンス 自己紹介 鎌倉の博物館紹介 授業の進め方	予習：シラバス（学芸員課程部分）をよく確認する	30分
2回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育（講義・前半）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
3回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育（講義・後半）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
4回 浪川	博物館教育の概念と歴史・教育論研究史（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
5回 浪川	博物館教育の具体例 ミュ ジアムワークシート・ミュ ジアムワークショップ（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
6回 浪川	博物館教育の具体例 講演会・講座・出前授業・各種ワークショップ（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
7回 浪川	杉野学園衣袋博物館を見学（博物館教育論の視点から）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
8回 浪川	展示資料の取り扱いと、展示手法について（博物館教育論の観点から・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
9回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法（実技。絵巻物読解）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
10回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法（実技。写真撮影についてと図録作成・概説・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
11回 浪川	ミュ ジアムワークシートの作成のための概念説明及び実技（講義と、対象博物館選定・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り（ワークシート作成準備）	30分
12回 浪川	ミュ ジアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成	30分
13回 浪川	ミュ ジアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成	30分
14回 浪川	ミュ ジアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成および配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
15回 浪川	まとめ（成果物の提出と評価）	復習：14回全体の振り返り	40分

博物館情報・メディア論

丸山 憲子

服飾学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館を「情報」「メディア」という語をキーワードに学んでいく。「情報」「メディア」という用語の理解の上、実際の今日の博物館での資料の情報化他「情報」の諸相、「情報」の伝達手段としての「メディア」の実際について学習していく。

到達目標(学修成果)

博物館における「情報」「メディア」についての基本的知識の習得。
博物館活動における「情報」の本質について考察できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示します。

参考文献

随時、紹介します。
課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。
学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。
普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館情報・メディア論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	データベース化、デジタル・アーカイブについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	博物館における情報管理と情報発信について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館における権利関係について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	技術革新と博物館活動について学習する。資料の情報化・情報管理・情報発信についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	広報と情報について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	博物館における視聴覚メディアの歴史を学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	今日の博物館展示における視聴覚メディアについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
11回 丸山	まとめ(小テスト)及びプレゼンテーションのための説明。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
12回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
13回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	30分
14回 丸山	博物館における映像展示の特性について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分